

3 銀国有化と幣制改革の実施

568 昭和10年9月24日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの対日所感およびハモンドの調査 報告書に関する孔祥熙との会談内容について

南京 9月24日後発 本省 9月24日後着

第一〇一四號

廿三日孔祥熙ハ本官ニ對シ「リースロス」(昨朝來寧)來訪シ一應ノ挨拶ニ過キサリシモ日本滞在中ノ所感ヲ問ヘルニ悲觀的ナリトノミ答ヘ居タルカ何等心當リアリヤト問ヒタルニ付本官ヨリ「リ」ハ何シロ支那ニハ全然素人ニテ先ツ基礎知識ヲ得タル上ナラテハ其ノ考モノニナラサル様子ナリト答ヘ尙此ノ機會ニ「リ」ニ於テ支那貨幣制度等ニ付既ニ具體案ヲ有シ居リ又右立直シ實行ノ上ハ舊債整理ノ考モアルヤニテ「ハモンド」ノ鐵道關係ノ意見モ右ニ關聯シ居ルヤノ話アル處如何ト試問シタルニ孔ハ「リ」ノ考ハ未タ承知シ居ラス又「ハ」ハ鐵道ノ能率ヲ増進スル爲ニハ改善

(一)中國日報(二十日)

「リ」氏ノ來支ヲ機トシ列強ノ壓迫ニ依ル支那民族經濟力ノ破壞ハ結局全世界民族生活上ノ大打撃ナル事實ヲ全世界ニ警告セントス

(二)中央日報(二十日)

支那現在ノ經濟的實情ハ體質虛弱ナル人間力毎日常候ノ激變ニ惱マサレツツアル状態ナリ 之ヲ救済ハ勿論自ラノ養生ニモ依ルヘキモ亦一方環境ヲ支配スル主宰者ノ態度如何モ關係大ナリト云ハサルヘカラス此ノ意味ニ於テ吾人ハ「リ」カ今後如何ナル政策ヲ建言セントスルカ刮目シテ之ヲ見ントス

(三)新民報(二十一、二、三、四日實業部ヲ背景トス)

「リ」ノ來支カ日本トノ間ニ支那市場ノ分割ヲ目的トスルモノナラハ支那ニ取リテハ何等ノ利益無シ故ニ「リ」ノ歡迎ニハ少クトモ下記五點ノ立場ヲ明カニセサルヘカラス

- (一)支那ハ獨立國家トシテ一方ニ厚ク他方ニ薄クスルカ如キ觀念ヲ有セス
- (二)借款、技術合作等ハ平等互惠ヲ原則トスルナラハ何レ

四 中国幣制改革

ヲ要スル點多ク其ノ費用ハ外債ニ依ルノ外ナカルヘキカ力爲ニハ舊債整理カ先ツ先決問題ナル旨ノ提言ヲ爲シ居レリト言ヘルニ付本官ヨリ舊債ノ整理ニ付テハ英國ト共ニ日本モ關心ヲ有スル譯故「ハ」ノ報告差支ナキ限り本官迄内示シテハ如何ト水ヲ向ケタルニ孔ハ自分モ未タ精讀シ居ラス技術問題多ケレハ參考トモナラサルヘシト述ヘ居タリ 支ヘ轉電セリ

569 昭和10年9月25日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

リース・ロス訪中に際する中国紙報道振りに ついて

南京 9月25日後発 本省 9月25日後着

第一〇二〇號

「リースロス」ハ二十三日着京「カドガン」、汪院長及孔祥熙ノ代表等多數ノ出迎ヲ受ケ孔祥熙ノ別荘ニ入りタルカ(往電第一〇一七號參照)其ノ着京前後ニ於ケル新聞論調概要左ノ通り(尙「リ」ハ二十四日赴滬セリ)

ヨリノ申出ニテヲモ歡迎ス

- (三)經濟援助ハ歡迎スルモ分割政策ハ絕對反對ス
- (四)支那ハ自力更生ノ力無キニハアラス
- (五)對日經濟提携ハ門戸開放主義ヲ前提トシ主權獨立ノ資格ハ棄テス

尙「リ」ハ上海着ト同時ニ借款ノ可能ナルヲ放言セル趣ナルモ實情ニ照セハ到底實現ノ望ナカルヘク要スルニ總テノ點ニ於テ日本カ勝利者ノ立場ニアル今日ニ於テハ「リ」ノ來華ハ結局言フヘキ程ノ成績ヲ擧ゲ得サルヘク之ヲ重要視スル必要ナカルヘシ 支ヘ轉電セリ

570 昭和10年9月27日 在中国有吉大使より 広田外務大臣宛(電報)

中国財政經濟問題に関するリース・ロスとの 意見交換について

上海 9月27日後発 本省 9月28日前着

第七四四號(極秘)

(1) 二十六日「カドガン」大使「リースロス」同伴挨拶ノ爲本使ヲ來訪本使(堀内同席)主トシテ支那經濟財政ノ特異ナル點ニ付話合ヒタル要領左ノ通り(差當リ發表セサルコトト致度シ)

一、「リ」ヨリ支那ニ對スル經濟援助ハ政情ノ安定ヲ前提トスル旨ヲ述ヘ本使ハ政治關係ニ付テハ東京ニ於テ日本側ノ意見ヲ承知セラレタルヘシト述ヘタルニ「リ」ハ東京ニテハ自分カ支那ノ事情ヲ知ラサル爲果シテ事態ニ即スル成案ヲ得ルヤ否ヤ懸念シ居リ成案ヲ得タル上ハ更ニ意見ヲ述フヘシトノコトナリキト述ヘタリ

二、本使ヨリ支那ノ經濟ハ極メテ複雑ニシテ先進國ニ於ケル法則ヲ以テ律シ難キコト支那財政ノ破綻、經濟恐慌等ハ本使二十數年以前上海在住當時ヨリ常ニ傳ヘラレタルモ未タ一度モ破綻ヲ見ス即チ支那ハ經濟上異常ナル耐久力ヲ有スルモノニシテ昨年來支那ノ經濟危機ヲ傳フルモ上海及各地ノ實情ニ觀テ

必スシモ恐慌迄ハ至ラサルヘシト述ヘタルニ「リ」ハ其ノ點ハ尤モナルカ如何ナル國モ經濟財政ノ一般的破綻ヲ來スコトハ無之唯經濟恐慌ノ結果個々ノ會社、銀行カ例

問題ナリ今日南京政府ハ政權ノ不安定、財政窮迫、巨額ナル債務不履行、財政當局ノ不信用等ノ爲國民ニ對スル財的信用ヲ缺如シ居ルヲ以テ假ニ貴下ノ考案ノ如キ強力ナル「ガバメント、バンク」ヲ建テルトモ政府ハ銀行ノ資金ヲ費費ニ濫用スルモノナリトノ不信用ノ爲中央銀行ハ國民ノ信用ヲ繋キ難ク支那人ハ政府銀行ヨリモ寧口堅實ナル民間銀行ヲ信用スル状態ナリト述ヘタルニ

「リ」ハ右ニ對シテハ政府ニ於テ銀行ノ資金ヲ自由ニシ難キ様ノ方法例ヘハ公債ヲ以テ資金トシ右公債ノ信用ヲ政府ノ自由ニナラサル資金ニテ支持スルカ如キ方法ヲ採用スルコトモ一案ナルヘシト述ヘ居タリ

五、尙前記談話ニ先立チ「リ」ヨリ秦皇島ニ於テ支那稅關ノ密輸監視船カ二隻日本軍ノ爲ニ武装解除セラレタル趣ヲ指摘シ右ハ支那稅關ノ稅收保全上遺憾ナリト述ヘタルニ付本使ヨリ右ハ塘沽協定ノ規定ニ基クモノナルカ軍ヲ含ム日本官憲ハ決シテ密輸ヲ獎勵スルモノニアラサルハ素ヨリ密輸防止ニ付テハ出來得ル限り協力シ居ル旨ヲ説明シ(軍當局ニ於テモ此ノ點ハ在留民ニ對シ屢警告シ居ル旨ヲ説明セルニ東京ニテモ大藏當局ヨリ之ヲ承知セリト

レ其ノ投資者カ困難シ之カ爲一般のニ産業及貿易ノ不振ヲ來スモノナリ支那ニ於テモ此ノ儘ニテハ産業、貿易ノ恢復ヲ期シ難キヲ以テ之カ恢復ヲ計ル爲何トカ方法ヲ講スル要アル譯ニテ自分ハ各種ノ事情ヲ究メ具體案ヲ得度シト考ヘ居レリト答ヘタリ

三、次テ本使ヨリ右具體案ヲ立テルニハ前記經濟的特徴ノ外支那人ノ特異性ヲ充分考量ニ入レル要アリトテ支那人カ其ノ國民性トシテ利己の精神ニ立脚スル爲政府、會社其ノ他ノ公共機關ヲ組織シ運用スル能力無キコト官吏ノ中飽、會社經理者カ自己ノ懷ヲ肥ヤス爲會社ヲ犠牲ニスルコトカ一般のノ通弊ニシテ國民ハ敢テ之ヲ非難セサル事情ニアリ

從テ支那ニ於テ相當成績ヲ舉ケ居ル公共機關ハ稅關ノミナル旨例ヲ舉ケテ詳述シタル後對支經濟援助ヲ有效ニ行フ爲ニハ外國ノ管理ヲ要件トスル處右ハ直ニ政治的色彩ヲ有スル次第ナレハ此ノ點ニ於テ困難ニ逢着スル旨ヲ指摘シタルニ「リ」ハ右ニ對シテハ支那側ノ強キ反對アリ是等ノ困難ヲ除クコトハ難問題ナリト答ヘタリ

四、次テ本使ヨリ更ニ考量ヲ要スルハ支那政府ノ信用缺如ノ

述ヘ居タリ)

斯ク支那ノ密輸防止ノ爲ニハ高關稅ヲ低クスル必要アル外西南方面特ニ廣東ニ於テ地方政府當局カ公然行ヒ居ル密輸(詳細説明セリ)ヲ取締ルコトカ先決問題ニテ其ノ上ニテ各國トノ間ニ協力シ得ル様取極ヲ結フコト必要ナリト述ヘ置キタルカ其ノ節「リ」ハ天津軍ノ聲明ニハ驚キタリト述ヘ居タルニ付本使ヨリ右カ事實ナリヤハ報告ナキモ或ハ軍ノ一部ノ者ノ意見カ新聞ニ現ハレタルモノニアラスヤト思フ旨ヲ述ヘ置キタリ

六、尙「リ」ハ五、六週間滞在ノ豫定ニテ其ノ間天津、北平、廣東等ニモ旅行シ度ク滞在中成ルヘク頻繁ニ意見交換ヲ行ヒ度キ旨ヲ述ヘ居タルニ付本使ヨリモ同様希望ナル旨ヲ答ヘ置ケリ(「カ」ハ來週初メ歸平シ更ニ南下スルヤモ知レス又大使館南京事務所ハ來年一月ヨリ開キ度キ積リナリト述ヘ居タリ)

北平、南京、天津へ轉電セリ

571 昭和10年10月2日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国通貨をポンドにリンクするリース・ロスの改革案には中国実業家の大多数が反対の旨
唐有壬内話について

南京 10月2日後発
本省 10月2日後着

第一〇五六號
支發閣下宛電報第七五二號ニ關シ

一日會見ノ際唐有壬ハ本官ニ對シ最近支那幣制改革案トシテ「リースロス」ノ渡來ヲ機トシ支那貨ヲ英貨磅ニ「リンク」セシムル案論議セラレ居ル處上海方面支那側實業家ハ大多數右ニ反對シ居リ支那ハ銀本位ヲ金本位ニ替フルコトサヘ危険ナルニ外貨トノ「リンク」即チ爲替關係ヲ外貨ニ依存セシムルカ如キハ支那財界ヲ破産ニ導クモノナリトノ論強ク特ニ吳鼎昌等之ヲ提唱シ居レリト述ヘタルニ付本官ヨリ冒頭電報「モネー」ニ申聞ケタルト同様ノ趣旨ヲハ強調シ置キタリ

支、北平へ轉電セリ



四 中国幣制改革

テモ昨日會談シタルカ「リ」ハ未タ支那側等ト具体的ノ話ヲ爲シ居ラサル旨申シ居タリ自分ノ考ニテハ「リ」カ支那ニ來レル目的ハ支那ニ於ケル英國ノ利益ヲ保持シ且ツ支那ニ對シ財政經濟上ノ「フェヴァー」ヲ與ヘル爲ニ支那ノ形勢ヲ研究スルコトニシテ其ノ研究ニ基キ英國側トシテハ將來事態ノ推移ニ應シ隨時適當ノ處置ヲ講セントスルモノナルヘク「リ」カ在支中特ニ具体的計畫ヲ實現スルト云フ程ノモノニアラスト思ハル又支那側ニ於テモ宋子文、孔部長等ハ「リ」ニ依リ何事カラ爲サント考ヘ居ルカ如キモ之ヲ喜ハサル反對モ尠カラサルヲ以テ結局大シタコトハ出來サルヘシト述ヘ本使ヨリ米國側専門家デモ派遣セララルヤト尋ネタルニ「ジヨ」ハ之ヲ否定シタル上孔部長ヨリハ南京ニテ自分ニ對シ専門家派遣方ヲ申出テ之ヲ本國ニ傳ヘタルモ何等返事無ク孔ノ申出モ明白ニ諾否ヲ期待シ居ルモノニモアラス結局「リ」ノ「ミッシェン」ニ付テモ日本ハ大ナル關心ヲ有セララル譯ナルモ米國側トシテモ充分注意シ居ル次第ナリト述ヘ本使ヨリ往電第七四四號「リ」ト會談中ノ支那經濟ノ特異性ノ點ノ概要ヲ話シ置ケリ

572 昭和10年10月3日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの活動や多田司令官の談話問題に
関する在中國米國大使との意見交換について

上海 10月3日後発
本省 10月3日後着

*第七七六號

三日「ジヨンソン」來訪要領左ノ通り會談セリ
「ジヨ」ハ北支ノ事態ハ如何ニ成行クヘキヤト尋ネタルニ付本使ヨリ各種案件モ弗々片付キ居リ漸次安定ニ向フヘシト述ヘタル處「ジヨ」ハ多田聲明モアリ「ジヨ」ハ司令官ト面談シ穩健ナル人ト思ヒ居タレハ此ノ種聲明ハ意外ナリト述ヘ居タリ前途捕捉シ難シト言ヘルニ付本使ヨリ往電第七五〇號「カドガン」ニ對スルト同様ノ説明ヲ爲シタル上北支ニ於テハ支那側失意政客等カ恰モ軍ノ後援アルカ如ク言ヒ觸ラシ盛ニ策動シ居ルコトカ事態不安ヲ思ハシムル原因ノ一ナルヘキモ漸次ニ安定スルコトト思フ旨述ヘ置キタリ

ニ「ジヨ」ヨリ「リースロス」トハ南京ニテ會談シ當地ニ

尙「ジヨ」ハ四日北平ニ出發シ米國副大統領ノ渡支モアレ
八十月末南下スル豫定ノ由

573 昭和10年10月(4)日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

國際借款に関する宋子文の悲觀的見通しについて

上海 發
本省 10月4日後着

◎第七八〇號

二日宋子文ト會談セル三菱吉田ノ得タル印象ニ依レハ宋ハ何時ニナク悲觀シ居リ「リースロス」トノ會談内容ハ打明ケサリシモ借款ハ共同單獨共ニ全ク望無ク秘密ニ英國一國ヨリ融通ヲ受クルカ如キコトハ全然問題トナラストテ借款ノ希望ハ拋棄セルカ如ク觀取セラレタル趣ニシテ又支那通貨ヲ磅ニ「リンク」スル案ノ如キハ米國及日本其ノ他磅「ブロック」ニ屬セサル諸國ニ對スル openly challenge ニシテ支那ノ爲ニモ面白カラズ支那自身トシテモ面上上採用シ得スト述ヘ結局何等具体的ノ案ヲ樹テ得サル様子ニテ種々吉田ノ意見ヲ求メタルカ吉田ハ例ニ依リ通貨ノ安定ヲ

計ルヲ第一義トシテ緩漫ナル合理的「インフレ」ヲナス要アリ「リースロス」ヨリハ右ニ必要ナル純技術的ノ「アドバイズ」ヲ求ムルニ止ムルヲ可トスヘキ旨ヲ述ヘ(宋ハ全く同感ノ意ヲ表シタル由)且ツ通貨及市場ノ安定ノ前提ハ結局日支關係ノ根本的調整ニアリト述ヘタルニ對シ其ノ通ナルモ日本軍人ノ一部カ勝手ニ行動スル現状ニ於テハ何人モ進ンテ日本トノ協調ニ乘リ出シ得サルヘシト答ヘ居タル趣ナリ

(本件發表セサルコトト致度シ)
南京へ轉電セリ

574 昭和10年10月7日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革のための外国通貨とのリンク問題に関する唐有壬との意見交換について

南京 10月7日後発
本省 10月7日後着

第一〇八四號
往電第一〇五六號ニ關シ

意見ニテ所詮「リ」ノ案ハ不得策ナリトシ孔、宋等ノ反省ヲ求メ居ル次第アル處之ト同時ニ右銀行家等モ加ハリ金銀兩本位制ヲ採用シ出來得ル限り海外ノ金ヲ買占メ銀二弗ニ當ル現實ノ金單位ヲ設ケントスル説モ出テ居ルカ日本側ハ右ニモ反對ナルヘキヤト問ヘルニ付本官ヨリ日本ハ執レニモ反對セス偏ニ支那ノ爲トナルヘキ案ヲ考慮スルコトヲ主張シ之カ爲ニハ何ハ借措キ政治上ノ安定ヲ遂ケタル上適宜日本ニ相談アルヘキヲ主張スルモノナリト應酬シ置キタリ支、北平へ轉電セリ

575 昭和10年10月15日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスを通じた中英借款交渉説に關し
財政部独断専行のため外交部では真否不明と
唐有壬内話について

上海 10月15日後発
本省 10月15日後着

第八一七號
十二日許卓然ハ有野ニ對シ最近支那側ヨリ「リースロス」

七日唐有壬ハ本官ニ對シ非公式ニ相談シ度シト前提シ「リースロス」ハ大體磅ニ「リンク」セシムル幣制改革ヲ目論見タル様子ナル處日本側ハ之ニ反對ナルハ圓ニ「リンク」セシムル爲ナルカ如ク認メラルトテ「リ」其ノ後ノ孔祥熙及宋子文トノ接觸振ヲ本官ニ内報旁質問ニ及ヒタルニ付本官ヨリ支發閣下宛電報第七五二號「モネー」ニ對スルト同様ノ趣旨ヲ述ヘタル後何レ日本ハ圓ニ「リンク」スル貨幣制度等自分ノコトヲ考ヘ居ルニアラス偏ニ支那ノ財政状態延イテハ政治状態ヲ混亂ニ陥ルルカ如キ幣制改革ハ不可ナリト主張シ居ルニ過キス英國側カ磅ヲ基礎トスル改革ヲ企テタルハ「ビール」商務官及「ヘンチマン」等カ數年前ヨリ計畫セル所ニシテ現ニ香港弗ヲ仲介トスル以外ニ廣東毫銀ト支那貨幣トノ相場無キカ如ク又ハ嘗テ海關兩ヲ設定セルカ如ク要スルニ香上「チャータード」等ノ所持スル一億二千萬香港弗ヲ元トシ全支ヲ

英貨ノ「マーケツト」トセンコトヲ期シ漢練ノ完成ト相俟ツテ支那金融界ヲ壟斷スルノ自利の見地ヨリ出テタル案トモ考ヘ得ヘキ點ハ支那側ノ猛省ヲ望マサルヲ得スト述ヘ(タル)ニ唐ハ實ハ張公權ヲ含ム有力財界人モ貴官ト同様ノ

ニ對シ英國ニ二千萬磅ノ「クレヂツト」ヲ設定シテ海關金單位貨幣ヲ發行シ擔保ハ庚子賠款ノ一部及鐵道收益(最近ノ債務整理ニ依ル支拂ヲモ控除シ尙年額純益三千萬元位アル由)ヲ充ツル案ニテ相談ヲ持掛ケ居レリトノ聞込アル旨内話シタル趣(此ノ種單獨借款説ハ新聞記者ノ間ニモ傳ヘラレ居レリ)ナルカ十三日有野唐有壬ト他用會見ノ際右ニ付質シタルニ(出所ハ言ハス)唐ハ實ハ此ノ種ノ問題ニ付テ關係當局ハ少シモ外交部ニ相談モ報告モ爲サス極力外交部側ニ洩ラサヌ様努メ居ル爲右ノ如キ事實アリヤ否ヤ否定モ肯定モ出來サルカ右ノ内庚子賠款ハ既ニ用途夫々決定シ居ルニ付之ヲ利用スル餘裕等アル筈無シト答ヘタル趣ナリ御參考迄

576 昭和10年10月16日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

國際借款問題に關する孔祥熙意向を唐有壬内話について

第一一四三號

往電第一〇八四號ニ關シ

本十六日唐有壬ハ本官ニ對シ昨日孔祥熙ノ求ニ依リ面會セルニ孔ハ最近本官ヨリ得タル印象ニ依レハ日本ハ外國ヨリノ單獨借款ニハ反對ナル如キ處日本側ノ空氣ハ右ニ了解スヘキヤト尋ネタルニ付唐ヨリ冒頭往電本官談話ノ次第ヲ話シタルニ日本ハ自分ハ金ヲ出サス且ツ他人ノ貸スコトニモ反對ナルニ於テハ支那ハ餓死スルノ外無カルヘキ處左リトテ滿洲事件以來ノ日本ノ遣口ニ顧ミレハ其ノ意嚮ヲ無視スルコトハ結果重大ナルヘキニモ鑑ミ支那貨ヲ圓ニ「リンク」セシメテハトモ考フルカ如何ト相談アリタルニ付唐ヨリ詳シク孔ノ意嚮ヲ確メ見タルニ要スルニ孔ハ日本ヲ宥メツツ英國邊ト關係ヲ作ル方法發見ニ苦慮シ居リ日本トノ關係ノ調整ノ如キハ飽迄之ヲ手段視シ居ルニ過キストノ印象ヲ得タルカ同時二年關モ近付キ苦シ紛レニ英國邊ニ繼リ着カントスル傾向モ濃厚ナリシト語レルニ付本官ヨリ日本側ノ意嚮ヲ無視スル借款ハ恐ラク夫レ以上ノ失費ヲ要スル大

事件ヲ發生スルコトトモナルヘク先ツ日本ニ對スル政策ヲ決定スルコト必要ナル旨篤ト申聞ケ置キタリ
支、北平ハ轉電セリ

577 昭和10年10月18日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

通貨問題等に関するリス・ロスと三菱銀行
上海支店長との意見交換について

付記 十月二十四日

右会谈に関する同支店長の談話要領

上海 10月18日後発
本省 10月18日後着

第八二九號

「リスロス」ハ本使トノ會談以外今日迄全然日本側銀行家等ト接觸ヲ求メサリシカ十七日吉田三菱銀行支店長求ニ依リ「リ」ト會談セル趣ニシテ要領左ノ通(當方ヨリ豫メ政治的方面ニ巨ル會談ハ避クル様申聞ケ置キタリ)

(一)通貨問題ニ付吉田カ

(イ)金爲替制度

(ロ)外貨ニ「リンク」スル案

(ハ)客年夏以前ノ如キ「ダスパリテイ」無キ眞ノ銀本位制度ニ復歸スヘシトノ案

等種々ノ改革意見アルモ何レモ不可能ナリ左レハトテ現在ノ pseudo silver standard トモ謂フヘキ現狀ヲ繼續スルハ危険ナリ北支ニ於テハ銀貨ト銀行券トノ間ニ打歩ヲ生シ居ルカ之ハ各地ニ傳染スル危険アリト述ヘタルニ對シ「リ」ハ全然同感ノ意ヲ表シ(但シ(ロ)カ不可能ナリトノ點ニハ意見ヲ表示セス)右打歩ノ話ニハ非常ニ驚キタル由次テ吉田ヨリ若シ何等カ對策アリトセハ銀行券準備率引下、外國銀行ノ協力等ニ依ル sound and gradual in-tation ノ外無カルヘシト述ヘタルニ準備率引下ハ不安ニシテ漸進的「インフレーション」ノ可能性ハ疑問ナリト言ヒ居タルモ通貨問題ニ關スル吉田ノ意見ハ大体肯首シ居タル由

四 中国幣制改革

(二)²⁾一般經濟恢復策トシテハ國內ノ和平統一、通貨不安ノ除去等ノ外各自ノ自力更生策必要ナリトノ吉田ノ意見ニ對シ「リ」ハ自力更生策ノ必要ハ勿論ナルモ之ト併行シ外力援助カ必要ナリト述ヘ吉田カ支那ノ實狀ヲ説明シ國民

經濟ノ救済ヲ主眼トスル要アリト述ヘタルニ對シ「リ」ハ國民政府ヲシテ之ヲ爲サシムル外無ク政府ヲ援助救済スル外無キニアラスヤト言ヒタル由ニシテ何人ト主トシテ折衝シ居ラルヤトノ質問ニ對シテハ宋子文二期待シ之ト折衝シ居ル旨ヲ答ヘタル由

(三)「リ」ハ自分ノ計畫ニ對シ日米ノ協力ヲ得サレハ遺憾ナリ東京ニ於テハ(上海ニ着キテ以來モ同様ナルモ)全ク「デイスアポイント」セラレタリ日本ニ取り支那ノ經濟的安定カ利益ナルニモ拘ラス日本カ支那ノ破壊セラルルヲ望ミ居ルハ不思議ナリト述ヘタルニ付吉田ヨリ破壊ヲ望ミ居ルニアラス眞ニ支那カ反省シ日支提携スルニ至ルコト先決問題ナリト言ヒタルニ對シ強國タル日本ヨリ手ヲ延ハスヘキナリト述ヘ(宋子文ノ意見ノ影響ヲ受ケ居ルコト看取セラレタル由)

(3)³⁾吉田ヨリ假ニ日本カ協力セハ何等カ成功スヘキ計畫アリヤト質問セルニ非常ニ困難ナルモ成功セシムル見込アリ但シ之カ爲ニハ日本カ英國ノ爲スヘキ援助ニ参加セサル迄モ日本ノ「モーターサポート」ヲ與フルコト絶對必要ナリ此ノ點ハ充分了解セリト答ヘ案ノ内容ハ明カニセサ

リシモ吉田ハ鐵道ヲ主トスル案ナルヤノ印象ヲ得タル由
(前記)通貨問題ニ關スル話ノ際モ吉田カ借款ハ適當ノ
擔保無カルヘシト言ヘルニ對シ鑛山ハ問題トナラス鐵道
位ナルヘシト言ヒタル由)

(四)尙雜談中「リ」ハ支那側ニハ種々ノ噂アリ日本カ北支ニ
陸軍、南支ニ海軍ヲ集中シ居ルハ英國カ自分ヲ派遣シ居
ルニ對スル牽制策ト云フ噂サヘアリ上海日報ノ如キモ自
分ニ早ク引揚クヘシト云ハン計リノ筆致ヲ以テ自分ニ
「チャレンジ」シ居ルモ自分ハ日本ニ「チャレンジ」シ
ニ來リタル譯ニアラス等言ヒタル由

吉田ハ十八日一時歸朝セルニ付本省ニ於テ御呼出ノ上委細
御聽取相成度シ當方ニ於テモ先般御來示ノ次第ヲ體シ充分
指導シ居ルモ適宜本省ノ御意嚮モ御傳ヘ置キヲ請フ
北平、南京ヘ轉電セリ

(付記)

吉田三菱支店長談(昭和十年十月二十四日)

吉田支店長ニ來省ヲ求メ桑島局長ヨリ「リースロス」トノ
會談ヲ中心トシ對支財政援助問題ニ付聽取スル所アリタル

有效ナル管理ナケレハ確實ト云フヲ得スト述ヘ吉田ヨ
リ我方始メ多額ノ對支債權ヲ有スル國ハ鐵道收入等カ
一國ノ借款ノ擔保ニ供セラルルコトニ絶對不贊成ナル
ヘシト言ヒ置ケリ

(三)通貨問題

「リ」ハ支那ノ經濟狀態殊ニ財政狀態ハ恰モ破損セル
老家屋ニシテ手當ノ施シ様ナシト云ヒ新家屋ノ建設ヲ
主張セルカ吉田ハ之ニ對シ家屋ハ修繕スル餘地アリ現
在ノ通貨逼迫ヲ緩和スルカ爲ニハ漸進的且健全ナル
「インフレーション」政策ニ出ツヘク必要ナラハ金ハ
有セサルモ支那財政ニ勢力アル外國銀行ヲ糾合シテ通
貨調節ニ當ル如キ機關ヲ設クルモ一策ナルヘキコトヲ
暗示シ置ケリ北支方面ニ於ケル銀紙ノ間ニ打歩ヲ生シ
居ルコトニ付「リ」ハ右ハ日本人ノ密輸旺盛ナルニ依
ルモノナルヘク、銀密輸出問題ハ何トカ解決セサルヘ
カラスト述ヘ居タリ、

三、上海財界ハ外國銀行側ノ「モーラル、サポート」ヲ得テ
ヨリ在銀高モ三億邊ヲ維持シ居リ表面金融狀態ノ變化ハ
看取セラレサルモ實ハ右在銀ハ營業上ノ必要ヨリ各銀行

カ要領左ノ如シ

一、「リースロス」トノ會談内容ハ既ニ要領在支大使ヨリノ
電報ニテ御承知ト存スル處

(一)對支借款

「リ」ハ支那側ノ自力更生ハ固ヨリ必要ナルモ之ト並
行シテ外國ノ財政援助モ亦行ハレサルヘカラスト考ヘ
居リ此ノ點ニ付列國ノ協調カ得ラレレハ結構ナルモ
(吉田カ借款團カ死物ナリト云ヘルニ反對シ「リ」ハ
Very Alive ナリト云ヒ居タル由ナリ)日本ニ於ケル自
分ノ受ケタル印象ニ依レハ右モ望ミナカルヘク已ムヲ
得サレハ英國ヨリ資金ヲ供給スヘキニ付日本ハ「モー
ラル、サポート」ヲ與ヘ呉レサルカ、(吉田ニ於テ右
ハ相當心中ヲ打開ケタル談話ナリトノ印象ヲ得タル
由)

(二)擔保ノ問題

「リ」ヨリ擔保ハ絶對必要ニシテ之無ケレハ英國ハ借
款ニ應セサルヘシ關稅收入ニ剩餘少ナキ今日之ヲ發見
スルコト極メテ困難ニシテ鑛山等モ確實ト云フヲ得ス
唯一ノ可能性アルハ鐵道收入ナルモ之モ外國人ニ依ル

等ニ依リ集メラレ居リ銀行間ノ銀流通極メテ自由活潑ヲ
缺キ居ル現狀ニシテ金融的機能ヨリ云ヘハ上海財界ハ近
來頓ニ惡化セリ

三、尙「リ」ハ今般吉田支店長ニ對シ津島大藏次官等ニ自分
(「リ」ハ恐ラク歸國ノ途上日本ニハ立寄ラサルコト相
成ルヘキヲ以テ宜敷傳言アリ度旨依頼セル趣ナリ)之ヨ
リ見レハ「リ」ハ最早日本側ト協議ノ必要之ナキヤヲ感
シ居ルニ非ルヤト認メラル

578

昭和十年10月29日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロス提案の一千萬ポンド借款計画に

對する回答振り請願

付記

十月三十日付在中國有吉大使より広田外務大

臣宛公信機密大第七九八号

右借款計画に関するリース・ロス書簡転送に

ついて

上海 10月29日後発

本省 10月29日後着

第八七四號(極秘)

(1) 二十八日「リースロス」及「ガドガン」同道シテ本使ヲ來訪シ「リ」ヨリ最近ノ爲替及標金等ノ市況ヨリ考へ至急何等カノ對策ヲ講スル要アル處日本ハ協力ノ意思アリヤ日本政府ノ意見ヲ承り度ク往電第八四七號ノ書翰ニ對スル回答ヲ得ラレ問敷キヤト述ヘタルニ付本使ヨリ日本トシテハ日本ノ利益ヲ害セス支那ニ禍セス東亞ノ靜謐ヲ害セサルカ如キ方法ニ依リ援助ナラハ反對ノ限リニアラサルモ具體的ノ案ヲ見サル限リ抽象的ニ贊否ヲ表明シ得サルヘシト應酬セル處「リ」ハ差當リノ考ナレハ特ニ極秘ニ願度シトテ一千万磅借款計畫ニ關シ大要ノ話ヲ爲シ委細文書ヲ以テ申出ツヘシト約シタルカ二十九日約ニ從ヒ「リ」及「カ」ヲ答訪セル際別電第八七五號^{編註}ノ如キ「リ」ノ書翰ヲ本使ニ手交シ豫テ成案ヲ得タル上ハ日本ニ行キ相談セヨトノ御話アリタルモ今ハ事情自分ノ渡日ヲ許ササルニ付本使ヲ通シ日本政府ノ意嚮ヲ承知致度シト申出テタリ就テハ本件ニ關シ本使ヨリ「リ」ニ回答スヘキ事項成ルヘク速ニ御回電ヲ請フ尙兩日ノ會談ニ於テ本使ヨリ注意セル點及「リ」ノ説明セル點左ノ通(以下ノ番號ハ別電第八七五號ノ番號ニ符合セ

ルニハ上海ノ方容易ナリト付言セリ

(二)擔保

(A)關稅收入

prior charge 以下ハ現在第一ニ外債次ニ内債ノ順ナルヲ新借款ニ第二位ヲ與ヘ内債ハ第三位トセントスル考ナルカ如シ本使ヨリ既ニ相當ノ年月ニ亘リ關稅擔保後内債濫發セラレ居リ今更之カ順位ヲ變更スルカ如キハ困難ナルヘク或ハ内債ノ下落ニ依リ「パニツク」ヲ生スル惧アルヘシト言ヘルニ「リ」ハ自分ニモ成算アル譯ニアラサルカ他ニ適當ノ考無キニ付之ニ依ル外無シ新借款ヲ三十五年位ノ長期且ツ五分位ノ低利トセハ年々ノ「サービス」ハ左迄多額ヲ要セス現在ノ關稅剩餘ニテモ充分カト考フル程ナレハ之ニ「プリアー、チャージ」ヲ與フルモ内債ノ信用ニハ關係セサルヘク市場ノ安定ニ依リ却テ値上リヲ示スヤモ知レス但シ公債市場ヘノ影響ヨリスルモ右ノ自分ノ考ハ確定的ノ計畫ヲ得ル迄極秘トセラレ度シト言ヒタリ

(B)⁽⁴⁾ other taxes ノ意味ニ付本使ヨリ如何ナル程度ノ意

シム)

(一)、(二)ナシ

(三)末段支那側トノ交渉ニ付本使ノ質問ニ對シ「リ」ハ支那政府全体カ自分トノ交渉ニ贊成シ居ルカ政府内ノ一部ノミカ贊成シ居ルカハ判ラス但シ自分ハ宋及孔ノ如キ責任アルモノヲ相手トシ話シ居レリト述ヘ後出(八)ノ(四)末段等ヨリスルモ相等^{當々}話合進ミ居ルヤノ印象ヲ得タリ

(四)投機云々ノ點ハ二十八日本使ヨリ現在ノ爲替不安ハ主トシテ投機者ノ策動ニ依ルモノナルヘキ處一千万磅位ノ借款ニテハ投機者ヲ抑フルコトサヘ出來サルニアラスヤト述ヘタルニ「リ」ハ投機者ハ左迄巨額ノ資金ヲ活用シ居ル譯ニアラス遠キ將來ハ別トシ一千万磅ニテモ二、三年ハ遣繰リシ行キ得ヘシ世界ノ現狀ヨリ考ヘ長期ニ亘ル救濟ノ如キハ何國ト雖樹テ得サルヘシト言ヒ居タリ

(五)、(六)無シ

(七)及(八)一千万磅借款計畫ノ詳細左ノ通

(イ)期限 少クトモ三十五年成ルヘク長期ヲ可トス

(ロ)利率 五分位

(ハ)起債地 目下ノ狀況ニテハ「マネー」ヲ「リーズ」ス

ナリヤ關稅率ノ引上ノ如キハ絕對ニ反對ニシテ其ノ他ノ稅ニテモ種類ニ依リテハ反對セサルヲ得スト述ヘタル處煙草專賣ヲ行ヒ之ヲ海關ノ管轄ノ下ニ行フカ如キモ一案ナルヘシト述ヘ居タリ

(ホ)中央銀行ノ強化

「リ」ハ現在ノ中央銀行ノ無力ト無智ニハ呆レタリ之ヲ新タナモノニ改造スル要アリ即チ總副經理ハ政府ノ任命スルモノトスルモ理事會ハ株主ノ互選トシ別ニ Supervisory council ニ外國銀行家ヲ入レテ監督セシメ且ツ外人顧問ヲ入レテ現當局者ノ無智ヲ是正スル必要アリ但シ右監査會及顧問ノ件ハ支那側ニ話ハ爲シタルモ之ヲ好マサル模様ナリト語レリ

(九)、(十)ナシ

(十一)別ニ電報ス

尙「リ」ノ書翰ニハ

(十二)頗ル不安ナル現狀ニ鑑ミ本書翰ノ内容ハ嚴重極秘トセラレ度キ旨及

(十三)今ハ日本ニ行キ得サルモ後ニハ成ルヘク渡日シ度キ旨附言シアリ爲念

別電ト共ニ北平、南京へ轉電セリ

SHANGHAI.

October 28th, 1935.

662

編注 別電第八七五号は、本文書付記公信機密大第七九八号

の別紙リース・ロス書簡を若干削除して發電したものであるため採録を省略した。

(付記)

機密大第七九八號

(接受日不明)

昭和十年十月三十日

在中華民國

特命全權大使 有吉 明

外務大臣 廣田 弘毅殿

「カドガン」大使及「リースロス」本使來訪ノ件

本件ニ關シテハ曩ニ電報ニテ報告濟ナル處會談ノ節「リースロス」ノ本使ニ手交セル書翰寫別紙ノ通送付ス

本信寫送付先 北平 南京

(別紙)

Secret.

CATHAY HOTEL,

My dear Ambassador,

I promised to give you a note of the points in our conversation of this morning.

I have not yet been able to complete my study of the many factors which have contributed to the present depression in China but the question which calls most urgently for a solution seems to me to be that of the currency. This fundamental issue, in my view, must be dealt with before anything else can usefully be done.

As a consequence of the increase in the value of silver, the Chinese currency has been over-valued, with serious effects on the balance of trade, the banking and the Budgetary position. The Chinese Government have alleviated the inevitable deflation by imposing a tax on silver exports, but this has not proved adequate or effective and it is becoming every day clearer that some more constructive policy is necessary.

The Chinese Government have prepared plans for dealing with the situation, which appear to me to afford a satisfactory basis of action, provided that certain necessary reforms, particularly in regard to the note issue system, the

very serious effects not only on China, but on the countries trading with China, and particularly Japan.

Central Bank administration and the Budget, are included. These are the subject of discussion with the Chinese Government and good progress is being made in preparing a definite programme.

Action, therefore, requires to be expedited. This involves, on the one hand, completion of a well thought out programme of currency reform by the Chinese Government and, on the other hand, the arrangement of a foreign loan to support the exchange and to maintain confidence.

I had intended to return to Tokyo in accordance with the

You asked me to give you concrete details as to the

invitation extended to me, when this programme was completed. But the situation has become so critical that this is not now practicable. As you know, the exchanges are very weak and there seems serious risk of a collapse. It is true that

suggested foreign loan. It is not easy to do so, as I have not yet been able to submit a definite scheme to my Government, but in view of the urgency of early action, I think it well to communicate to you, in confidence, the general outline of the proposal which I, personally, have in mind.

the movement is largely speculative but the speculators base themselves on the fact that, in the absence of any remedial action, inflation in some form seems inevitable here. If I were to leave at this stage, a run on the exchange might develop which the Chinese Government, with the limited resources at its disposal, might not be able to control. This would have

In order to provide a solid basis, the loan should be as large as possible. But £10 millions net seems as much as can be raised in present conditions and I believe that a loan of this amount (in addition to the other resources at the disposal of the Chinese Government) should be adequate. Accordingly, subject to the completion of the scheme on the lines now under

discussion, I am prepared to recommend to my Government that they should approve the issue of a loan of that magnitude in Shanghai and the grant of a quotation for it on the London Stock Exchange.

It would be provided that the foreign exchange proceeds of the loan would be paid to the Central Bank and utilised for the purpose of maintaining the exchange. It would have to be secured on the Customs revenues, and for this purpose the Chinese Government would have to arrange that its service should be given a prior charge on the Customs and/or that other taxes should be placed under the administration of the Customs. (I do not favour an increase in the Customs tariff; indeed, I believe that a reduction in the present tariffs would be advisable.)

I believe that subject to the approval of His Majesty's Government the British banks in Shanghai would be ready to negotiate a loan on these lines, but any loan would, of course, be open to participation by Banks of other nationalities and it would be our desire to obtain as wide a participation as

possible.

I should be glad to know whether, if the above proposals can be satisfactorily completed, the Japanese Government would be willing to authorise their Banks to participate in such a loan. As I have said above, the present exchange position is exceedingly precarious and I believe that it is in the interests of Japan to co-operate with us in a properly considered scheme to maintain it.

There is one other point which I also mentioned to you. In order to assure the success of a new loan in London, it would be necessary to be assured that the present system of Customs administration, under a British Inspector-General, will be maintained and that the recruitment of foreign personnel for the Customs Service would be resumed. I understood that you fully agreed to both these desiderata and I should be obliged if you would confirm this.

In view of the uncertainties of the position, and the risk of leakages, I would beg you to see that the contents of this letter are treated as strictly confidential.

I may add that although for the reasons explained, I cannot return to Japan at present, I shall gladly arrange to do so later on if a further visit would be welcome.

Yours sincerely,
(sd.) F. Leith-Ross

His Excellency
Mr. A. Ariyoshi.

579 昭和10年11月1日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国政府が近く通貨問題に関する何らかの措置をとる旨の観測のごとく

上海 11月1日午後
本省 11月1日後着

第八八四號

^(ロ)三十日矢吹正金支店長宋子文二面會シ(在上海日本各銀行家打合せノ上ナルヤノ趣ナリ)爲替ノ變動、市場ノ不安著シク此ノ儘放任セハ「ビジネス」ヲ「デロゲート」スル惧アルカ如何ト質問セル處現在ノ市場ハ「スペキュレータ

ー」ノ活動ニ手ヲ着ケラレサル状態ニアリ恰モ一九三一年末ノ貴國ニ於ケルト同様ナリ健全通貨策ヲ抛棄シタル譯ニハアラサルモ全ク手ヲ着ケラレサルニ付放任シ居ル譯ナリ政府ニ於テ對策ヲ攻究中ナルモ未タ斷行スル迄ニ至ラス決定ノ上ハ中國銀行モ善處スル所存ナリト述ヘ矢吹ヨリ「モーラル、サポート」モ平衡税ノ維持及健全通貨策ヲ條件トシテ外國銀行ノ同意セルモノナルカ銀行トシテハ自分ノ利益ヲ無視スル譯ニハ行カス今「モーラル、サポート」ヲ破ツテ銀ヲ積出ス銀行アラハ如何ナル措置ニ出ツルヤト質問セルニ外國銀行カ銀ヲ積出サハ政府ノ「プレベンティブ、メージュア」ヲ「インバイト」スヘシ自分ハ財政部長ニアラサレハ如何ナル措置ヲ執ルヤハ言ヒ得サルカ例ヘハ平衡税ノ如キモ引上ケラルヘシト述ヘタル趣ニシテ一九三一年末ノ日本ノ状態ヲ云々セル點ノ如キ投機業者ノ外貨買持ニ押サレ行詰レハ何等カノ措置ヲ執ルヘシトノ意ニモ解セラレ會談全體ノ結果ハ支那側ニテ近ク何等カノ措置ヲ執ルヘシトノ印象ヲ得タル趣ナリ

^(二)三十一日「エドワード、カーン」ハ矢吹ニ對シ自分トシテハ支那側ノ對策トシテハ

四 中国幣制改革

第八八七號
 往電第八七四號ニ關シ
 一日「カドガン」本使ヲ來訪(同人ハ二日夜出發赴寧ノ豫定ノ由)先日呈示セル「リ」ノ書翰ニ關シ政府ヨリ何等返事アリタルヤト尋ネタルニ付本使ヨリ本件ニ對スル政府ノ意嚮ハ左程急速ニ接到シ得サルモノト思ハルト述ヘ置キタルモ成ルヘク至急何分ノ儀御回電ヲ請フ尙其ノ節本使ヨリ

上海 11月2日後發
 本省 11月2日後着

580 昭和10年11月2日
 在中国有吉大使より
 広田外務大臣宛(電報)

一千万ポンド借款計画に對する我が方回答を
 在中国英國大使が督促について

同意見ナリ)
 (六)尙市場ニハ對英一千萬磅借款成立セリトノ噂專ラニシテ同時ニ銀ヲ米國ニ買入レテ貰フ話既ニ纏マリタリトノ説盛ナル趣ナリ(往電第八七四號ノ關係モアリ爲念)
 北平、南京へ轉電セリ

(三)⁽³⁾朝鮮銀行服部支店長本三十一日館員ニ語ル所ニ依レハ「カーン」ハ服部ニ對シテモ前記(二)ト同様ノ趣旨ヲ述ヘタル趣ニシテ金城銀行副支配人毛服部ニ對シ支那政府ハ十一月四日ヲ期シテ平價切下(一弗一志二片乃至二片半)

(イ)滿洲國幣ノ如ク兌換性無キ通貨トスルカ
 (ロ)通貨切下(純分ノ低下)ヲ爲スカ
 (ハ)「ケメラ」報告ニ依ル金爲替制度ヲ採用スルカ
 ノ三アルヘキ處(イ)ハ滿洲ト異リ現銀ノ流通ニ慣レ居ル支那ニハ適セス(ロ)ハ自分ハ關係セサルモ新平價ニ依リ銀ニ兌換セラルルモノナレハ支那人ハ之ヲ好ムヘク(ハ)ハ例ヘハ倫敦向^{London}ヲ受取リテモ支那人ニ何ノコトヤラ分ラズ支那ニハ適セスト思フモ支那政府力最モ色氣ヲ有シ從テ「ポシブル」ナル對策成リ之ヲ採用スレハ目下「スペキユレーター」筋ノ買持(先物)ヲ政府カ肩替リスルコトトナリ紙幣ヲ「スペキユレーター」ニ渡シテ海外ニ外貨ヲ持ツコトトナルヘシ何レノ途近キ將來ニ於テ必ス何等カノ措置ニ出ツルハ必至ノ勢ナリト述ヘタル趣ナリ(「カ」ハ最近歐洲ヨリ歸來セルモノニシテ支那政府筋トノ聯絡ノ有無ハ不明ナリ)

ヲ爲スヘシトノ噂アリ支那銀行トシテハ外國銀行ニ銀ヲ預ケ置ケハ切下ヲ免ルルニ付實行ニテ預リ戴ケ間數キヤト述ヘタル趣ナリ又「チャヤード、バンク」支配人毛服部ニ對シ支那側ハ爲替維持策ヲ拋棄シタルモノノ如ク今ノ儘ニテハ早晚何等カノ措置ヲ執ル外無カルヘシト述ヘタル趣ナリ

(四)尙服部ノ談ニ依レハ最近香上銀行支配人ニ會ヒタル際同支配人ハ何時ニ無ク物ノ挾マリタル様ナ口振ニテ樂觀說ヲ述ヘ日本ヨリ歸來セル陳光甫カ財政部長ト會談シタリト言ヒ乍ラ其ノ内容ニ付一切口外セス是等ノ方面ニテハ政府側ノ執ルヘキ措置ヲ承知シ居ルカ如キ印象ヲ得タリト云フ

(五)是等ハ一例ニ過キサルモ市場ニハ何等カ幣制改革ヲ爲スヘシトノ噂專ラニシテ一弗一志一片説、一海關金單位二弗五十仙(百弗二十七米弗、標金二二七〇弗)説、四割切下説等種々アルモ大體百弗百數圓見當ニ一致シ居リ本卅一日爲替カ大體其ノ程度トナリテ利喰カ續出シ稍落着キヲ見セタルカ如キモ「スペキユレーター」ノ觀測ト一致スル所迄爲替カ下落セル爲ナリト見ルモノ多シ(矢吹モ

581 昭和10年11月3日
 在中国有吉大使より
 広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙が張公權を派遣して幣制改革実施を通
 報し我が方の協力を要請について

第八九三號

一、二日張公權本使ヲ來訪シ孔祥熙ノ依頼ニ依ル趣ヲ以テ先日吳鼎昌及陳光甫等カ高橋藏相及兒玉頭取ヨリ支那ハ自力更生ヲ第一トスル旨説示セラレタル次第ニ鑑ミ今回政府ニ於テハ市面救済ノ爲中央、中國、交通ノ三銀行ニ紙幣發行權ヲ集中スルコトトシ(是等銀行ノ紙幣ヲ法貨

上海 11月3日前發
 本省 11月3日前着

往電第八八四號ノ次第等ヲモ含ミ「リ」ノ借款案ニ付テハ支那側トノ話合相當進捗シ居ルニアラスヤト尋ネタルニ「カ」ハ目下支那側ニ對シ必要ナル資料ノ提供ヲ求メ居ル程度ニテ話ハ其ノ後左迄具体的ニ進ミ居ル次第トハ見受ケ居ラスト答ヘ居タリ
 北平、南京へ轉電セリ

トシ且ツ其ノ兌換ヲ停止スル由之カ爲外國銀行(支那銀行モ同様ナル趣ニテ右ニ對シ後刻矢吹ヨリ上海ニテハ強制買上可能ナルヘキモ地方銀行ハ之ニ從ハサルヘシト言ヘルニ張ハ兎ニ角強制スルナルヘシト言ヘリ)ノ保有スル現銀ヲ前三銀行ニテ買上ケ之カ代價ハ三銀行ノ紙幣ヲ以テ支拂ヒ(一定ノ爲替相場ニテ買上ケヘク又右紙幣ノ提供ニ對シ外國宛T、T、(脱)交付スト言ヘルモ其ノ標準明カナラス恐ラク時ノ爲替相場ニ依ルモノナルヘシ)且ツ平衡稅ヲ引上ケルコト(率ハ銀ノ輸出ヲ不可能ナラシムル様ニ定ムル由)トシ度キ處日本以外ノ外國銀行ハ大体右ニ贊成ナルニ付日本側ノ贊成ヲ得ル様斡旋セラレ度キ旨ヲ述ヘタリ

三、右ニ對シ本使ハ遽ニ贊成シ難シトテ直ニ正金矢吹ヲ招致同席セシメ矢吹ヨリ右ノ案ニハ絕對反對ナル旨ヲ述ヘ且ツ曩ニ宋子文カ外國銀行ニ對シ銀ノ輸出差控方「モートル、サポート」ヲ依頼シタル際ニハ平衡稅ハ引上ケサルコト及健全通貨策ヲ採ルヘキ旨ヲ言明シ外銀側ハ之ニ信賴シテ「サポート」ヲ與ヘ居ル矢先斯様ノコトヲ爲スハ明カニ背信行爲ナリト責メ更ニ支那ニ於テ紙幣ノ兌換ヲ

北平、在支各總領事、厦門へ轉電シ上海へ轉報セリ

582 昭和10年11月4日 在中国有吉大使より 広田外務大臣宛(電報)

中国政府の銀国有令発表について

付記一 十一月四日付中国財政部布告訳文

二 「支那幣制改革協議會(昭和十年十一月四日於 東亞局長室)」

上海 11月4日前發 本省 11月4日前着

第八九七號

中國政府ハ本四日ヨリ銀ノ國有ヲ斷行スル旨ニ日夜財政部ヨリ發表セリ右ニ關スル財政部命令並ニ孔部長ノ聲明全文聯合ヨリ打電セリ

南京、北平、天津、廣東へ轉電セリ

(付記一)

十一月四日財政部布告

一九三五年十一月四日以降中央、中國、交通三銀行發行

停止セハ其ノ流通不可能ナル旨ヲ示シ本使ヨリモ其ノ不可ナルコトヲ説明セル處張ハ右ノ趣ハ其ノ儘孔部長ニ傳フヘシト述ヘタリ

三、其ノ節本使ヨリ(矢吹同席)「リースロス」トノ間ニ一千萬磅借款談進行セル趣ノ噂アル處本計畫ハ右ト關聯スルモノト思ハルルカ如何ト尋ネタルニ張ハ借款問題ニ付テハ宋子文孔明祥熙モ自分ニハ何等ノ話ヲ爲ササルモ孔カ突然斯様ノコトヲ云ヒ出スハ借款カ早急ニ成立スル見込無ク左リトテ此ノ儘放任セハ市面ハ恐慌ヲ來ス惧アルヲ以テナルヘシトモ思ハルト述ヘ居タルカ後刻矢吹ヨリ此ノ種計畫ヲ實行スルモ外國ニ資金ヲ有セサル限り運用ノ圓滑ヲ期シ難キ旨ヲ述ヘタルニ對シ張ハ本計畫ハ或ハ借款ニ關係アルヤモ知レスト言葉ヲ濁シタル次第モアリ兩者ノ關係充分明カナラス

四、尙張ノ説明ニ依レハ本件計畫ハ必スシモ平價切下ヲ前提トスル次第ニアラサル趣ナルモ目下市場一般ニハ往電第八八四號本月四日ヲ期シテ切下ヲ行フモノトノ期待ノ下ニ各種ノ取引行ハレ居リ此ノ儘放置セハ恐慌ヲ招ク惧濃厚ナリト觀測セラレ居レリ

ノ紙幣ヲ以テ法定通貨トシ、租稅ノ納入及公私一切ノ金錢收支ハ法定通貨紙幣ノミヲ以テ之ヲ行ヒ現銀行使ヲ許サス右ニ違反スル時ハ其全額ヲ沒收シ以テ現銀ノ偷漏ヲ防止スルトトモニ故意ニ之カ隱匿又ハ偷漏ヲ企圖スルモノハ危害民國緊急治罪法ニ准照シ之ヲ處罰ス

三、中央、中國、交通三銀行以外財政部ノ認可ヲ經テ發行セル銀行紙幣ニシテ現在流通シ居ルモノハソノ儘流通セシムルモ其發券額ハ十一月三日迄ノ流通總額ヲ限度トシ増發ヲ許サス。右紙幣ハ財政部ヨリ追ツテ期間ヲ限定シ漸次中央紙幣ト引換ヘ回收シ且現在ノ流通總額ニ對スル法定準備金及印刷費ニシテ未發行ノ新紙幣竝ニ回收済ノ舊紙幣ト共ニ悉ク之ヲ發行準備管理委員會ニ交付移管セシム。又既ニ認可ヲ得テ印刷中ノ新紙幣ハ印刷終了後直チニ右委員會ニ引渡スヘキモノトス

三、法定通貨準備金ノ保管及其發行引換事務ハ其確實ト信用保全ヲ期スル爲發行準備管理委員會ヲ創設シテ之ヲ辦理セシメ該委員會ノ章程ハ別ニ公布ス

四、凡ク銀行銀號商店及ヒ其他公私各機關或ハ個人ニシテ銀本位貨幣及ソノ他ノ銀貨又ハ銀塊等ノ類ヲ保有スル者ハ

十一月四日以降之ヲ發行準備管理委員會若クハ其指定銀行ニ交付シ法定紙幣トノ引換ヲナス事ヲ要シ其ノ際銀本位貨幣ハ其ノ額面價格ニ於テ其他ノ銀類ハ含有純銀量ニヨリ法定紙幣ト引換ヲナスモノトス

五、銀幣單位ニヨリ締結セル從來ノ契約ハ期限満了ノ際已定額通りノ法定紙幣ヲ以テ決済ヲ行フヘキモノトス

六、法定紙幣ノ對外爲替價格ヲ現在ノ價格ニ安定セシムル爲中央、中國、交通三銀行ヲシテ無制限ニ外貨ヲ賣買セシム

(付記二)

支那幣制改革協議會

(昭和十年十一月四日 於東亞局長室)

十一月四日突如發表セラレタル支那幣制改革ニ付テハ正金上海支店ニ於テモ在支大使館ト聯絡シ支那側トノ話合ニ參加シ居リタル關係モアリ本件ニ關スル正金側情報ヲ得ルト共ニ専門家トシテノ意見ヲモ聽取スヘク正金有馬爲替課長ニ來省ヲ求メ本會議ヲ開催セリ

外務省側ハ重光次官、桑島東亞局長、來栖通商局長、松島

(ロ)英國政府ハ在支英人ニ對シ現銀ヲ以テ支拂フコトヲ禁止スヘキ勅令ヲ出シタル趣ノ情報正金側ニ入リタルカ

(後刻ニ至リタ刊ハ在支英國大使ニ於テ罰則ヲ附シ右ノ趣命令ヲ發シタル旨報道セリ)果シテ然リトセハ英國側ハ相當ノ覺悟ヲ以テ對支援助ニ乗出シ居ルモノト見ルヘク之亦英支間ニ略完全ナル諒解ヲ遂ケタル結果ナルヤニ認メラル、尙英國側ニ於テ現銀支拂停止ヲ支那側ト協調シテ實行スル曉ハ本邦銀行竝ニ外國銀行モ結局之ニ倣フニ至ルヘキハ自然ノ勢ニシテ止ムヲ得サルヘシ

(ハ)本日ノ爲替市場ノ情勢ヨリスルモ中央銀行ノ爲替無制限賣買(買一志二片八分ノ三、買一志二片八分ノ五)ノ態度闡明ニ對シ第三國銀行側カ見透シ着カス(資本逃避ヲ恐ル)躊躇シ居リタルニ獨リ英國系銀行ノミハ中央銀行ニ追隨シ賣一志二片十六分ノ五ノ相場ヲ出シタリ市場ハ資本逃避ヲ恐レ居ルヲ以テ相場ハ軟弱トナルヘキナルニ前記英國系銀行ノ協調的態度カ市場ニ好影響ヲ與ヘタルモノノ如ク相場ハ強含ミトナリ中央銀行カ依然トシテ一志二片八分ノ三ヲ維持シ居ルニ市中ハ

課長、上村課長代理出席シ大藏省側ヨリ青木理財局長、湯本國庫課長及係官出席セリ會議要領左ノ通

一、支那側幣制改革ト英支一千萬磅借款トノ關係
本日ノ財政部布告竝部長公表ハ支那通貨改革ニ關スルモノニシテ表面上何等英支借款成立ヲ肯定セルモノニ非ルモ諸種ノ點ヨリ見テ英支間ニハ豫メ相當ノ諒解アリタルコトト思考セラル、

(イ)二日ノ張公權有吉大使會談中ニ於テ正金側情報ニ依レハ支那側ハ英支借款成立ハ略確實ナリトノ見込ヲ付ケ居ルモノノ如ク若シ右不成立トナラハ支那ハ政府ノ蒐集シ得ル現銀ヲ引當ニ海外ニ於テ「クレヂツト」ヲ設定スル意向ナリト云フ、財政部長公表中ニアルカ如ク中央銀行ニ於テ無制限ニ爲替ヲ賣應スルコトトナレリトセハ必スヤ在外資金設置ノ見込付キタルモノナルヘク而テ政府所有ノ國內銀ヲ引當ニ「クレヂツト」ヲ獲得スルハ萬策盡キタル窮餘ノ措置ナルニ於テハ首肯セラルルモ現在ニ於テハ一應英支借款ニ望ミヲ懸ケ居ルモノト觀ルヲ妥當トスヘク又支那ヲシテスル希望ヲ抱カシムル理由存スルモノト思考セラル

同十六分ノ九ニテモ賣應スヘシト云フ樂觀的情勢トナレリ正金側ニテハ英支協調ハ市中爲替相場ニモ顯レ來レリト觀測シ居ル由

二、平衡稅ノ引上及銀密輸出

支那側ハ平衡稅ヲ六、四分ノ三ヨリ五七、四分ノ一ニ引上ケタル結果銀輸出ニハ銀塊六七、四分一銀貨六五%ヲ課稅セラルルコトトナリ銀ノ合法的輸出ハ全ク望ミナキニ至レリ(銀現送ニ依ルヨリモ爲替ヲ買フ方カ有利トナル)蓋シ支那側ハ今回ノ斷然タル措置ニ依リ外銀側ノ「モーラルサポート」ハ最早期待スヘカラサルモノトノ見極メヲ付ケ右禁止的課稅ヲナスニ至レルモノナルヘシ

斯クテ銀密輸出ニ對スル衝動ハ益々強メラルル結果トナリ銀國有令ニ依リ誘發セラルヘキ銀私藏ト相俟ツテ密輸ハ以前ニ倍シテ旺盛ヲ極ムルコトト豫期セラレ延イテハ密輸ニ從事シ居ルモノノ大部分カ本邦人ナル關係ヨリ右本邦關係者ト支那側官憲トノ間ニ面白カラサル事端ヲ發生スル惧濃厚トナルヘシト察セラル

三、幣制改革ノ效果及影響

昭和10年11月4日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

抑々外國カ治外法權ヲ有シ居ル關係モアリ近代の國家カ
採リ居ルカ如キ貨幣制度ヲトリ得サル支那トシテハ從來
ノ如キ現銀ニ執着シ居タルニ付テハ相當ノ理由アリタル
次第ナリ然ルニ今回現銀ヲ總テ國有トシ貨幣ノミヲ流通
セシメントスル完全ナル管理通貨制度ヲ採用スルコトト
ナレリ之ニ對シ豫想セラルル難點ハ

(イ)紙幣カ圓滿ニ流通スルヤ否ヤ、紙幣流通ニ付テハ滿洲
國ノ例ヲ見テ樂觀スルハ穩當ナラスト雖現銀ナラサレ
ハ經濟活動不能ナリト迄云フハ不當ナリ蓋シ北支(銀
紙間ニ打歩生シタルモ)四川(中央ノ強制ニ依ルモ)等

ニ於テモ紙幣ハ日常取引ニ使用セラレ居リ而モ三銀行
ノ紙幣流通力漸次増加シ居ル實情ナレハ今回ノ改革モ
全支ニ亘リ或程度迄實施セラルヘシト思考セラル

(ロ)物價カ昂騰スヘキヤ否ヤハ「インフレーション」ノ行
ハルル程度如何ニ依ルヘキカ上海ハ爲替相場ニ敏感ナ
ル地ナレハ何レカト云ヘハ爲替低落ハ物價騰貴ヲ助成
スヘシト思考セラル

(ハ)若シ今回ノ幣制改革カ英支間ノ一千萬磅借款成立ニ基
クモノトセハ其ノ效果モ右借款ヨリ得タル資金ノ存續

輸出ニ於テ或ハ第三國市場ニ對スル輸出ニ於テ支那品
ノ競争ヲ蒙ルコトアルヘキナリ

(ロ)英支借款成立セリトシテ我方ノ關心スヘキ點左ノ通

- (一) 専門家ノ意見ニ依レハ英國ノ意圖スル如キ借款ヲ實
現セントセハ債權者側ニ於テ借款資金ノ使途ニ付嚴
重監督ノ要アルノミナラス幣制維持ト關聯シテ財政
上或程度ノ管理ヲモ必要トスルコトナキヲ保セス
- (二) 支那側カ英國ヨリ救済ヲ得タル結果日英ヲ差別待遇
スルコトアルヤモ測リ難シ(特ニ借款資金カ急激ニ
減少スル如キ場合ニ於テハ日英銀行ニ對シ爲替買賣
等ニ付差別待遇スルコト極メテ有リ得ヘキナリ)尤
モ我方ニ對シ差別待遇ヲ爲シタルヤ否ヤハ比較の容
易ニ探知シ得ラル如シ
- (三) 借款手取ノ保管活用ノ如何ニ依リテハ爲替平衡資金
トシテノミナラス支那ノ政費ニ利用セラルルコト無
シトセス

スル期限内ニ限り而モ其ノ後ニ於テハ同様借款ヲ繼續
セサル限り借款ナカリシ場合ヨリモ一層險惡ナル事態
ヲ招來スヘシト思考セラルルヲ以テ英國側ニ於テモ更
ニ第二段ノ乃至ハ根本的ノ計畫ヲナシ居ルヤモ知レス
右借款資金カ如何程存續スヘキヤニ付テハ若シ資本逃
避カ行ハルルニ至ラハ恐ラク數ヶ月ヲ出テサルヘク若
シ人心安定シ資本ノ逃避ナシトセハ比較の長期間持チ
應ヘ得ルモ客年度貿易入超カ五億元ニモ上ル事實ヨリ
見ルニ左迄長キヲ得サルヘシ

四、本邦ノ利害關係

(イ) 英支借款成立セルト否トニ拘ラス今次ノ改革ニ依リ支
那爲替カ安定セハ日支貿易上惡影響アルヘキ理ナク又
支那弗カ磅ニ對シ釘付ケサルコトハ同シク磅ニ釘付
ケシ居ル圓ニトリテハ米弗(英米「クロス」變動二件
ヒ米支爲替相場ニ「フラクチュエーション」起ルヘ
シ)ニ比シ有利ナルヘシ唯爲替ヲ從來ヨリ比較的低度
ニ安定スルモノノ如キヲ以テ(尤モ對英一志二片半ノ
爲替相場ハ最近ノ相場ニ比シ低落ノ程度少ナク從テ左
シタル反動ナカルヘシ)或種商品ニ付テハ我方ノ對支

銀国有令に対する本邦銀行業者の対応方針に
ついて

上海 11月4日後発
本省 11月4日後着

第八九八號

往電第八九三號ニ關シ

三日夜往電第八九七號發令ノ旨「リリース」サレタルニ付
當地邦人銀行業者ハ協議ヲ開キタル結果(堀内同席)日本ノ
銀行トシテハ治外法權ノ關係上新法令ニ從フ必要無キモ今
後「ペーパー、ベース」ニテ取引ヲ行ハサルニ於テハ營
業ヲ休止スルヨリ外無キニ付此ノ點ハ事實上新法令ト同様
ノ取引ニ依ルヨリ外無キ所現在保有ノ現銀ヲ一弗對一弗ニ
テ紙幣ニ依リ買上ケラルルコトハ財産ノ沒收トナル故之ニ
從フヲ得ス從テ後者ニ對スル外交々涉上ノ立場ヲ作ル爲及
新制度ニ依リ取引方法準備ノ爲四日一日(四日ヨリ六日迄
ハ秋期半日休業)丈ケ休業シテハ如何トノ意見ニテ(右ニ對
シ堀内ヨリ準備ノ爲ナラハ格別外交々涉上ノ必要ヨリ言ヘ
ハ休業ハ左迄必要ナラサルヘシトノ旨ヲ説明セリ)右ニ基
キ四日早朝外國銀行側ト打合せタル所何レモ保有銀ノ強制

買上ケニハ反對ナルモ「ペーパー、ペーシス」ニテ取引ヲ
スルニハ異存無ク又此ノ際臨時休業スルハ外國銀行ノ信用
ヲ害スル故面白カラストノ意見ナリシニ付之ト同一歩調ヲ
取ルコトトシ近ク當該國官憲ノ意嚮ヲ確メタル上全体ノ協
議ヲ行フ筈ナリ(總領事ト打合濟)
在支各總領事、香港、北平、厦門へ轉電セリ

584 昭和10年11月4日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

孔祥熙より広田外相・高橋蔵相宛伝言について

付記 十一月四日付在中国有吉大使より広田外務大

臣宛公信機密大第八一二号
右伝言原文転送について

上海 11月4日後発
本省 11月4日後着

第八九九號

往電第八九三號ニ關シ

孔祥熙ヨリ本使ニ對シ三日附書面ヲ以テ御面談ノ暇ナカリ
シニ付張公權ヲ派シタル次第ナルカ張ヨリ御傳言承レリ廣

旨回答シ置キタル由

藏相ト蔣作賓トノ會談及兒玉ノ視察團トノ會談内容當方參
考迄(ニ至急電報アリタシ

北平、南京、天津、青島、廣東、漢口へ轉電セリ

(付記)

機密大第八一二號 (11月8日接授)

昭和十年十一月四日

在中華民國

特命全權大使 有吉 明(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

幣制改革ニ關スル財政部長來翰ニ關スル件

本件ニ關シテハ既ニ概要電報濟ナル處財政部長來翰寫茲ニ
送付ス御查收相成度

本信寫送付先 北平 南京

(別紙)

MINISTRY OF FINANCE
SHANGHAI OFFICE

四 中国幣制改革

田、高橋兩大臣宛電報(英文、概要左ノ通)御轉達アリタシ
トノ趣旨ヲ申越セリ

一、廣田大臣宛

視察團ニ對スル歡迎ヲ拜謝ス同團ノ訪問ニ依リ兩國雙方ニ
利益アル具體的結果ヲ招來センコトヲ希望ス

二、高橋大臣宛

視察團貴國ヨリ歸來シ貴大臣往訪ノ次第及貴大臣ノ歡待ノ
次第ノ報告ヲ受ケ感謝セリ又蔣大使ニ傳言セラレタル財政
問題ニ關スル有益ナル貴見ヲ承リ感謝セリ自分ハ今回大體
ニ於テ貴大臣ノ御意見ニ基キ幣制改革計畫ヲ實施スルコト
トセルカ貴國銀行カ右計畫ノ實施ニ充分協力セラルヘキコ
トヲ信ス

右ハ恐ラク往電第八九三號ニ對スル回答ニ依リ我方ノ態度
ニ驚キテ孔ノ考付キタル措置ナルヘク本四日中ニ孔ト會見
ノ筈ナルモ不取敢尙四日朝張公權矢吹ヲ來訪シ孔祥熙ヨリ
兒玉宛ニ右高橋蔵相宛ト同趣旨ノ電報ノ打電方ヲ依頼セル
モ矢吹ハ頭取カ視察團ニ如何ナル話ヲ爲サレタリヤ自分ニ
於テ承知スル筈ナク右打電ニ依リ自分ノ態度ヲ「コムミツ
ト」セラレタルカ如ク解セラルル惧アルニ付取次キ兼ヌル

November 3, 1935.

His Excellency Ambassador A. Ariyoshi,
Japanese Embassy, Shanghai.

Your Excellency:

I am sorry that the pressure of business prevented my
seeing you myself yesterday so that I had to ask Mr. Chang
Kiangau to see you for me. I wish to thank you for your
message which Mr. Chang has duly conveyed to me and which
I heartily appreciate. Yesterday at the reception I was kept
busy all the time, and when I looked for you I found you had
left already.

May I ask you to do me a favor? Herewith enclosed I am
sending you two cablegrams addressed to your Minister of
Finance and Minister of Foreign Affairs. I shall be much
obliged if you will be so kind as to forward them to Tokyo.

Faithfully yours,
(Signed)
H. H. Kung.

Minister of Finance.

Enclosures :

1 cablegram to Minister Hirota.

1 cablegram to Minister Takahashi.

His Excellency Minister Hirota

Tokyo

Allow me to thank you for entertaining the Chinese Economic Mission to your country. I hope their visit will bring forth concrete results mutually beneficial to our two countries.

(Signed)

H. H. Kung

Minister of Finance

November 3, 1935.

His Excellency Minister Takahashi

Tokyo

Upon their return the Chinese Economic Mission to your

country have reported to me of their visit with you and of your courtesy to them for which I wish to thank you. I wish to thank you again for your message conveyed to me through our

Ambassador Chiang Tso-ping concerning our financial problems which I have found very helpful. We have now decided to carry out a scheme for currency reform based substantially on your opinion and we trust that your banks in China will give us full cooperation in its enforcement.

(Signed)

H. H. Kung

Minister of Finance

585 昭和10年11月4日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

在中国英国大使が自国居留民に対し銀取引禁

止方命令について

上海 11月4日後発
本省 11月4日後着

第九〇〇號

英國側ニテ銀ノ保有ヲ禁止セルヤノ噂アリタルニ付當地英國總領事館ニ確メタル處銀ニ依ル取引ヲ禁止スル命令ヲ發シタルノミニシテ右命令ハ一九二五年「チャイナ、オーダー、イン、カウンシル」第二百九條ニ基ク「キングス、レギュレーション」トシテ「カドガン」ノ名ニ於テ本四日公布セルモノナリ

前文ニ於テ支那ハ銀ニ依ル支拂ヲ禁止スル「ナシヨナル、ダイクリー」ヲ公布セル處駐支英國大使ハ前記一八九〇年及一九一三年ノ「フォーレイン、ジュリスディクシヨン、アクト」及一九二五年「チャイナ、オーダー、イン、カウンシル」ニ基キ右「オーダー」ニ定義セラルル英國臣民ニ對シ平和秩序及良好ナル統治ノ爲必要ナル規則ヲ制定スル權限ヲ有シ「サブリーム、コート、フォア、チャイナ」ノ管轄下ノモノニ對シ前記支那側禁止ヲ「エキステンド」スルコト必要ナリト認ムル旨ヲ記載シタル後左記三條ヲ擧ク「一九二五年「チャイナ、オーダー、イン、カウンシル」ノ適用範圍内ニ在任、營業又ハ存在スル英國人、商社及會社ニ適用ス

四 中国幣制改革

三、右ノ者カ單獨又ハ他ノ者(英國人ト否トヲ問ハス)ト共同

シ債務ノ一部又ハ全部ヲ銀ニテ支拂フトキハ Guilty of an offence ト認メ(イ)三箇月ヲ越エサル期間ノ禁錮又ハ懲役若ハ(ロ)五十磅ヲ越エサル罰金若ハ(ハ)兩者ヲ併課ス
三、本令ハ一九三五年銀支拂禁止令ト稱ス
在支各總領事、北平、厦門、へ轉電シ上海へ轉報セリ

586 昭和10年11月4日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

幣制改革の抜打ち実施やリース・ロスの借款計

画との関係などに関し孔祥熙に照会について

上海 11月4日後発
本省 11月4日後着

第九〇三號

往電第八九七號ニ關シ

四日本使孔部長ヲ往訪會談セル要領左ノ通

一、本使ヨリ我方カ本件新制度ニ反對ナルコトハ一昨日張公權ニ詳述セルニ拘ラス抜打的ニ之ヲ實施スルハ頗ル意外ナリト述ヘタルニ孔ハ本制度ヲ本日實行スルコトハ土曜日自分カ南京ヨリ歸滬(「ガーナー」)歓迎ノ爲ニテ當日歸

寧ノ豫定ナリシ由)セル處支那銀行家ヨリ此ノ儘放置セ
ハ金融恐慌ハ不可避ナル事情ヲ説明シ何分ノ措置ヲ「プ
レス」シタルニ付(土曜日ニハ中央銀行ニ對シ相當ノ兌
換請求アリタル由)俄ニ新制度ノ實施ヲ決定シタル次第
ニテ右ハ支那トシテ死ヲ免レ生存スル爲何等カノ救済策
ヲ講スルノ已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ且ツ過日
日本藏相及兒玉頭取等ノ自力更生懲慚ノ趣旨ニモ副フ譯
ナレハ日本銀行側ノ協力ヲ得度シト述ヘタリ

二、次テ本使ヨリ往電第九〇〇號ノ次第ヲ指摘シ英國側カ今
朝新制度ヲ「サポート」スル法令ヲ出シタルコトハ支那
ニ於テ本件ニ付相當前廣ニ英國側ニ協議シタルモノト思
ハルル處右ハ本使ノ頗ル遺憾トスル所ナリト主張シタル
ニ對シ孔ハ英國側ト本件ニ付前廣ニ具體的ニ協議セルコ
ト無シ唯英國銀行家トハ各種ノ金融施設ニ付色々話シ居
リ右ハ日本側ニ對シテモ同様ナレハ自然是等銀行家側ヨ
リ政府當局ニ話シ當局ニ於テハ在支英人ノ事業貿易ヲ防
護スル爲ノ方法ヲ攻究シ居タルコトハアリ得ヘク既ニ昨
年「クリスマス」頃英國側ハ支那側ノ金融救済措置ハ
「サポート」スヘシ(脱?)ト述ヘタルニ付本使ヨリ貴部

新制度ノ維持ノ爲全力ヲ盡スヨリ外無ク且ツ過去十數年
餘ニ亘リ何等ノ外債(棉麥借款ハ言フニ足ラサル少額ナ
リト斷リ)無ク且ツ入超ヲ續ケ乍ラモ左迄銀ノ流出ヲ見
サリシ經驗ニ徴シ新制度ハ絕對ニ在外資金ヲ必要トスル
モノトハ思ハレス旁本制度ト外債トハ何等ノ關聯無キコ
トヲ斷言シ得ヘシト確言セリ

尙本使ヨリ日本銀行家中ニハ市場ノ現状ハ必スシモ新制
度無クトモ尙當分維持シ得ヘク結局支那ハ本制度實施ニ
依リ數ヶ月ハ支ヘ得ヘキモ其ノ後支ヘ切レス現状ヨリモ
切迫セル事態ヲ作り之ニ依リ借款ヲ促進セントスル底意
アリトノ觀測行ハルルカ如何ト質シタルニ孔ハ現在ノ金
融狀態カ左程切迫シ居ラストノ觀測ハ當ニナラス新制度
ニ依リ支那カ借款ヲ強要スルモノナリトノ説ハ支那ヲ誣
フルモノナリト述ヘ居タリ

四、最後ニ本使ヨリ本件新制度ニ對スル意見ニ付テハ後日申
出ツルコトアルヘキ處之ニ依リ銀行家其ノ他ノ日本人ノ
現ニ有スル權利利益ヲ不當ニ侵害シ得サルコトハ茲ニ不
取敢明白ニ申入ルル次第ナレハ(治外法權上ノ權利及曩
ニ宋子文カ外國銀行ノ「モーラル、サポート」ヲ要請セ

長ノ説明ハ一應ハ承リ置クモ前述ノ事實ニ依リ日本國民
ハ本件新制度カ英國側ト充分協議ノ上日本側ニハ抜打的
ニ實施セラレタルモノト考ヘ居リ之カ爲日本國民ハ其ノ
對支感情ニ深刻ナル影響ヲ受ケ居ルモノト考ヘラレ之カ
爲兩國ノ政治及經濟的關係ニ憂慮スヘキ惡影響ヲ及ホス
惧濃厚ナルニ付此ノ點ニ付貴部長ニ於テ充分善處セラル
ル様深甚ノ考量ヲ促ス次第ナリト述ヘタルニ孔ハ前記ノ
事情ヲ繰返シ支那トシテハ日本ヲ除外シテ何事ヲモ爲シ
得サルコトハ充分心得居ル旨頻リニ陳辯シ居タリ

三、次テ本使ヨリ本件計畫ハ專門家ノ意見ニ依レハ相當ノ在
外資金ヲ有セサル限り圓滑ナル運用ヲ期シ難キ模様ナル
カ之ヲ實施セラレタルハ「リースロス」トノ間ノ借款談
カ成立シ又ハ成立ノ見込著キタルモノナリヤト質シタル
處孔ハ「リ」トノ借款談ハ日支關係ノ(懸)案、擔保、列
國トノ協同乃至使途ノ監督等各種ノ條件ニ付色々困難
アリ是等ニ付話合ヒ居ル程度ニテ素ヨリ急速成立ノ見込
モ無シ唯前述ノ如ク支那トシテハ急場ノ恐慌ヲ避クル爲
現在出來得ル限りノ方法ヲ講シタル次第ニテ將來關係國
ノ贊成ヲ經テ借款成立セハ結構ナルモ出來サル場合ニモ

ル際ニ言明セル健全通貨策及平衡稅ノ引上ヲ俄ニ變更ス
ルハ不信行爲ナル旨ヲ強調セリ)貴部長ニ於テモ充分善
處セラレンコトヲ望ム旨ヲ強調シ孔ハ之ヲ了承セリ
在支各總領事及香港、北平、厦門へ轉電セリ

587 昭和10年11月4日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革への英国側関与に關しリース・
ロスに照会について

上海 11月4日後発
本省 11月5日前着

第九〇九號

往電第九〇三號ニ關シ

一、四日夕「リースロス」本使ヲ來訪(午前本使ヨリ會見ヲ
申込マントセル矢先方ヨリ申込ミ來レリ)本使ヨリ右
往電英國側ト協議シテ日本側ヲ除外セル點ヲ詰リタルニ
「リ」ハ實ハ自分ハ土曜日午後孔祥熙ノ旨ヲ受ケタル
「ヤング」ヨリ新制度ノコトヲ聞キタルモノニシテ自分
モ其ノ意外ニ驚キタル位ナリ元來自分ノ考トシテハ新制

度ヲ實行スルニハ先ツ支那銀行ノ内情ヲ充分調査シ中央銀行ノ組織ヲ改善スルト共ニ本位制其ノ他ノ「プリンシプル」ニ付テモ充分攻究ノ上決定ヲ要スルモノト考ヘ居リ右ノ趣旨ニテ目下折角攻究中ニテ之カ決定ニハ少クトモ猶ホ三週間位ハ要スルモノト思ヒ居タルニ先週末ノ金融狀況頗ル逼迫セル爲早急ニ之ヲ實行セル趣ナリ尤モ新制度ニ含マレタル事項ハ大体自分ノ考ト一致スルヤニ思ハルト述ヘタルニ付本使ヨリ右ニ依レハ恰モ貴下カ新制度ニ付相當具體的ニ支那側ニ建言セラレタルカ如キ感想ヲ得ル處如何ト尋ネタルニ「リ」ハ自分カ來滬二日後赴寧ノ節財政顧問「ヤング」ヨリ支那ハ是非共「シルバ」ヲ離脱スル必要アル旨ヲ聞キ

其ノ後各方面(日本人モ含ム)トノ談合ニ際シ斷片的ニ幣制改革ノ個々ノ點ニ付話合ヒタル程度ノモノニテ自分ヨリ全體的ニ建言セルニアラスト述ヘタリ

二、本使ヨリ英國側ニ於テ今朝「キングス、レギュレーション」ヲ發布セル點ニ言及セル處「リ」ハ昨日英國銀行業者カ自分ニ對シ其ノ營業ヲ防護スル爲發令ノ必要ヲ陳情シ(同業者中意見ヲ異ニスルモノモアリタル由)結局「レ

善上相當ノ效果アルモノト考ヘ居ル次第ナリ又新制度ノ下ニ於テハ銀一弗カ一志二片半程度ニ安定スルニ於テハ輸出ヲ促進シ輸入ヲ阻止シ得テ國際貸借ヲ改善シ得ヘク借款不成立ノ場合モ必スシモ新制度カ失敗スルモノトハ限ラサルヘシト述ヘタリ

四、⁽⁴⁾本使ヨリ新制度ニ依リ英支協調シテ日本ヲ除外ストノ日本國民ノ感想ハ兩國ノ政治經濟關係ニ頗ル面白カラサル影響ヲ及ホスヘキ旨ヲ指摘シ支那側ニ對シ此ノ點ニ付充分善處方ヲ警告シタル旨述ヘタルニ對シ「リ」ハ自分ハ從來常ニ貴大使ニ述ヘ居ル通り日本側ト充分ナル了解ヲ得ルコトカ對支援助ノ前提條件ナリト考ヘ貴方ト充分ノ接觸ヲ保子居ル次第ニテ右日本側ノ感想ハ全然誤解ニ基クモノナルカ其ノ結果兩國關係ニ惡影響ヲ及ホスカ如キコトアラハ日支兩國ヲ初メ各國トモニ不利益ヲ受クヘキ次第ナレハ誤解ヲ除ク様貴大使ノ御盡力ヲ願度シト述ヘタリ

五、往電第九〇七號銀買上ニ對スル日本銀行家ノ意見ヲ披露シタルニ「リ」ハ右日本側ノ意見ハ條約論ニ付テモ多少ノ議論アルヘク殊ニ銀行業者カ預金者ヨリ高價ナル銀又

ギユレーシヨン」ノ規定ニ依リ銀行業者ニ不勞利得ヲ取得セシメサル了解ノ下ニ之ヲ發布スルコトトシタ方ヨリ起草大使ノ署名ヲ得テ本日公布シタル次第ニテ何等前廣ニ支那側ヨリ協議ヲ受ケタル次第ニアラスト説明セリ(「リ」ノ談ニ依レハ右法令ハ「オーダー、イン、カウンスル」ニ基キ大使ノ裁量ニ依リ一時的ニ之ヲ公布シ得ルモノニテ本日之カ許可方ヲ本國ニ打電セル由)

三、⁽³⁾本使ヨリ本件新制度ト借款トノ關係ニ付冒頭往電三ノ趣旨ヲ質問セルニ對シ「リ」ハ自分ハ前記ノ如キ改革案ヲ攻究スルト同時ニ之ニ基キ借款ヲ供與スルコトニ付少クトモ日米ノ協力ヲ是非必要ト認メ居リ旁先日申入ノ如ク日本側ノ意見ヲ求メ居ル次第ニテ改革案及各國ノ協力ニ付満足ナル結果ヲ得サル限り借款ハ困難ナル次第ナリト答ヘ本使ヨリ前記三末尾ノ次第ヲ質セルニ對シ自分ノ考ニテハ借款ハ一千萬磅ヲ最高限ト考ヘ居ル處支那カ使用シ得ル銀ハ其ノ五倍ニ相當スルモノナレハ支那ハ借款無クトモ保有銀ノ一部ヲ以テ爲替ノ一部ニ充當シ得ル譯ニテ新制度ハ必スシモ借款ヲ必要トセサルヘク唯各國協力シテ借款ヲ供與スルコトニ依リ支那ノ信用ヲ高メ經濟改

ハ紙幣ヲ預リ居ルニ拘ラス低價ナル紙幣ヲ以テ之ヲ支拂ヒ自ラ保有スル現銀ヲ高價ニ買上ケンコトヲ主張スルハ不合理ニシテ其ノ結果銀行ノミカ不勞利得ヲ獨占スルコトナルヘキニ付之ニ付テハ少クトモ國內法上ニ於テナリト適當ノ調整ヲ加フル要アルヘシト詳細ニ説明シ且ツ英國側トシテハ一弗對一弗ニテノ買上ニ應セシムルヨリ外ナカルヘシト述ヘ居タリ

在支各總領事、香港、北平、廈門へ轉電セリ

588 昭和10年11月5日 在中国有吉大使より 広田外務大臣宛(電報)

中国側の銀引渡し要求に対する本邦銀行業者の対応方針について

上海 11月5日前発
本省 11月5日前着

第九〇七號

往電第九〇三號ニ關シ

一、中央銀行ヨリ正金其ノ他各銀行ニ對シ四日附書面ニテ財政部長ノ訓令ニ依リ政府ニ於テ三銀行(券)ヲ法貨トスル

旨及銀ヲ保有スルモノハ之ヲ銀行券ト交換スヘキ旨ノ命令ヲ發セル次第ヲ通告ス就テハ貴行所有ノ銀ヲ引渡サレ度シ中央銀行ハ銀行券ヲ交付シ又ハ預金ニ應スヘシトノ趣旨ヲ申出テ來リタリ

二、四日朝張公權矢吹ヲ來訪シ右書面ニ對スル正金側ノ見解ヲ求メタルニ付矢吹ヨリ銀行券ヲ法貨ト定メタル以上之ヲ以テ受入及支拂ヲ爲スコトハ實際上已ムヲ得サルモ現銀ヲ「バー」ニテ兌換券ト引換フルハ保有銀ノ一部ヲ「コンフィスケート」セラルルニ等シク引渡絶對ニ應シ難ク治外法權ノ關係モアリ政府ノ指圖ヲ仰キタル上態度ヲ決定スヘシ抑々「モーラル、サポート」ヲ與ヘ現銀輸出ヲ差控ヘ來レルハ平衡稅ヲ引上ケス健全通貨ヲ維持スル約束ノ下ニ實行シ來レルモノニシテ支那側ノ背信行爲ニハ損害賠償ヲ請求スル權利スラアリト考ヘラルト應酬シ置キタル趣ナリ(張ヨリ同様ノ趣旨服部ニモ電話アリ服部モ大體類似ノ應酬ヲ爲シタル趣)

三、⁽²⁾其ノ際張ヨリ英米側銀行ハ銀引渡ニ應スル模様ナリト言ヘルニ付矢吹ヨリ外國銀行トシテ銀引渡ニ應スヘシトハ想像シ得ス若シ現實ニ銀ヲ中央銀行ニ運込ミタル外國銀

置キタリ

五、各銀行所有現銀ノ處置ニ關シテハ之カ無稅輸出又ハ倫敦相場ニテ買取方要求シ得サルニアラサルヘキモ各銀行トモ輸出稅「モーラル、サポート」當時ノ平衡稅及運賃ヲ差引キタル價格ニテ中央銀行ニ買取ラシメ得レハ先ツ公平ナル解決策ナラント申シ居リ當方トシテモ右ヲ考慮ニ容レテ解決スル様努力スル積リナリ(矢吹等ヨリ張公權ニ對シ全ク私見ナル旨ヲ前提トシタル上右ノ程度ニテ買取ルモノ今後爲替決済ノ爲海外市場ニテ銀又ハ外貨ヲ買集ムルヨリ遙ニ有利ナルヘシト述ヘ置キタル趣ナリ)⁽³⁾

本電總領事ト打合濟
在支各總領事、香港、北平、厦門ヘ轉電セリ

589 昭和10年11月6日
在中国若杉大使館參事官より
広田外務大臣宛(電報)

幣制改革の挫折を予見する王克敏内話について

北平 11月6日後発
本省 11月6日後着

行アラハ承知シ度シト應酬シ置キタル趣ナルカ一方矢吹及服部ヨリ直接「チャータード」ノ對策ヲ問合セタル處同銀行ハ本店ヨリ他ノ外國銀行カ銀ヲ引渡ス迄引渡ニ應スヘカラサル旨訓令ニ接シ居ル趣ニシテ「ナシヨナル、シテイ」モ亦「コンベンション」無シニハ銀ヲ引渡サストノ意嚮ナルカ如シ(服部カ約一週間前「チエー」ノ支配人ニ萬一ノ場合如何ニスヘキヤト質問セルニ現銀ハ倫敦市價ニテ買取ルト云フニアラサレハ引渡サスト言ヒ居タル由)

本件ニ付テハ日本各銀行協議ノ結果全外國銀行一致ノ態度ヲ取ル要アリトテ外國銀行「アツソシエーション」幹事銀行タル「チャータード」ニ會議開催方申入レタルモ香上ハ政府ノ意見ヲ求ムル要アリトシ「ナシヨナル、シテイ」モ亦二、三日經過ヲ見ル方可ナリトノ意見ナリシ爲會議ハ見合セトナレル由

⁽⁴⁾依テ前記一來翰ニ對シテハ當地日本側各銀行ハ差當り回答ヲ爲ササルコトニ申合セヲ爲サシメ支那各地ノ支店ニ對シテモ中央銀行支店ヨリ銀引渡ノ要求アリタル場合之ニ應セス外務省出先官憲ノ指揮ヲ仰クヘキ旨電報セシメ

王克敏ハ五日往訪ノ清水ニ對シ今回幣制改革ニ關シ中央ノ執リタル措置ハ(一)經濟的ニハ爲替ノ管理ニ依ル貿易ノ振興ヲ計リ(二)政治的ニハ行詰マレル財政ヲ救済セントスル目的ニ出テタルモノト思惟セラルル處一般國民カ國家ト政府トニ對シ充分ノ信頼ヲ懸ケ居ラサル今日現銀ノ集中ハ極メテ困難ナルト共ニ不換紙幣ハ漸次其ノ價額下落シ一方中央ノ爲替管理モ資金ノ關係ニテ忽チ行詰マルニ至ルヘク殊ニ從來支那金融界ノ強味ハ各地分散主義ヲ執リ一地方ノ恐慌カ他地方ニ累ヲ及ホササリシ點ニアリタル處今後ハ中央集權ニ依リ其ノ動搖ハ一々全國的ノモノトナリ一步誤レハ收拾スヘカラサル事態ヲ惹起スル惧アリ財政ノ補給モ一時ヲ糊塗スルコトハ兎モ角或時期ヲ過クレハ再ヒ一層困難ノ状態ニ陥ルヘク要スルニ往年東三省ニ於テ奉天票ヲ以テ人民ヲ苦シメタルト同様國民ノ膏血ヲ搾リテ南京政府ノ軍備ヲ充實スルノ結果ニ終ルニ過キササルヘシト語レル趣ナリ

支、南京、天津ヘ轉電セリ

590 昭和10年11月(6)日
在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

幣制改革をめぐる孔祥熙との意見交換について

南京 本省 11月6日後着

第一二一七號

支發閣下宛電報第九〇三號ニ關シ

五日孔祥熙ト會談ノ要領左ノ通

一、先ツ孔ヨリ本官赴平中ナリシ爲面談シ得サリシカ實ハ豫テ話合ヒタル日本側ヨリノ借款方ニ關シ篤ト相談ノ積リナリキト述ヘタルニ付本官ヨリ冒頭往電大使ヨリ孔ニ申聞ノ趣旨ヲ繰返シタル上特ニ

(一)今回ノ新貨幣制度ハ日本ヲ出抜キタル措置ナルコト

(二)何ト陳辯スルモ英國側ノ借款ヲ前提トシテ樹テタルモノナルコト

(三)果シテ然ラハ英國ノ措置ハ evasion of consortium ニテ遺憾ニ堪エサルコト

ノ諸點ヲ篤ト指摘セルニ孔ハ率直ニ詳細ヲ述フヘシトテ前記大使發電報ヲ敷衍シ特ニ二日(土曜日)ニハ張公權ヲシテ大使ニ申出テシムルト同時ニ「ヤング」ヨリ「ジョソソン」ニ、「モネー」ヨリ佛國側ニ、「ヘンチマン」及

シト突込メルニ右以上答辯スルヲ避ケタリ

三、更ニ本官ヨリ日本ノ反對ヲ押切ラントスルハ抑々支那ニ於ケル如何ナル措置モ日支關係ノ好轉ヲ以テ基礎トスヘシトノ本來ノ趣旨ヲ英支双方トモ無視セルモノト云フヘクステハ本制度ノ效果モ疑ハシキノミナラス北支ニ於ケル狀況(往電第一二二六號)並ニ目下廣田大臣ト蔣大使トノ間ニ進行中ナル話合モ直接、間接ニ無視スルモノト云フヘク依テ起ルヘキ事態ハ専ラ支那側ノ責ニ歸スヘキモノナルヘシト大局上ヨリ詰問セルニ孔ハ實ハ日本側ニ對シテハ既ニ充分手ヲ盡シタル積リニテ

現ニ高橋藏相等ハ蔣作賓ヲ通シ本制度ノ實行ヲ勸メラレタル程ニモアリ日本カ兎角口ニシ勝ナル日支提携ヲ實現スルニハ絶好ノ問題ナリト思ハルルニ拘ラス其ノ好機ヲ顧ミス殊ニ英、米、佛共支持ヲ惜マサル(「ジョソソン」ハ政府トシテハ關係銀行ヘ命令シ難キニ依リ各銀行ト直接話合方申出テ「ヤング」ニ於テ打合セ中又佛國側モ略

同様ナルモ二、三銀行ハ銀貨ノ返還ヲ濫リ居リ其ノ理由ハ銀紙ノ差額填補ヲ要求シ居ル次第ナルカ之二對シ支那側ハ然ラハ填補セラルヘキ差額ハ預金者等ニ支拂フヘキ

英蘭銀行代表「ロジヤーズ」ヨリ英國側ニ初メテ申入レシメタル次第ナルカ「カドガン」ヨリ同日直ニ本國政府ニ措置方ニ付請訓シタルニ客年末英國財政當局カ支那ノ貨幣制度立直シニハ支持ヲ與フヘキ旨既ニ決定シ居ル趣旨ニ基ク機宜ノ措置ヲ執ル様三日同訓アリ依テ直ニ「オーダー」後發布シタル次第ニテ特ニ英國側ニ打明ケタル

譯ニハアラスト陳辯ニ努メタリ

二、本官ヨリ英國側ノ借款話ハ眞逆知ラサリシニアラサルヘシト言ヘルニ孔ハ勿論「リースロス」トノ間ニハ漸次話ヲ進メ居タルカ既ニ日本側ニ又其ノ中ニハ米、佛トモ相談ノ次第ヲモ承知シ居レリト答ヘタルニ付然ラハ財政當局トシテ在外正貨無クシテハ新制度ハ所詮頓挫スヘキハ當然ナルヘク從テ英國側ノ借款ヲ見込ンテノ企ナルコトハ疑ヲ容レスト述ヘタルニ孔ハ成程在外正貨無クシテ即行セルハ無謀ノ如ク見ユルナランモ當分ハ之ニテ押切り得ヘク要スルニ新制度無クシテハ財政上ノ混亂到底收拾シ難カリシカ爲案出シタル次第ナリト苦シキ答辯ヲ爲セルニ對シ本官ヨリ既ニ「モネー」等ヲシテ立案ニ參加セルシメ居ル點ヨリスルモ借款トノ關係ハ最早疑フノ餘地無

ヤト反問シ居ル爲結局ハ満足ニ新制度ヲ支持スルコトトナル見込ナリ尤モ現實ニ返還シタルモノ今ノ所無シト附言セリ)本制度ニ反對スルハ寧ロ日本側カ求メテ危機ヲ醸成セントスルモノナリト述ヘ殊ニ日本カ銀ノ密輸防止ニ協力セラレタル點ハ充分感謝スルモ尙現在毎日約三十萬元ノ現銀山海關ヨリ搬出セラレ居ル事態等ハ見逃シ難シトテ百方陳辯ニ努メタル上日本側銀行ニ於テモ協力方努力アリ度シト申出テタルカ本官ヨリハ篤ト大局上ヨリ考慮シ本件ニ依リ日支關係ヲ逆轉セシメサル様支那側ヨリ進ンテ賢明ナル措置ニ出ツルノ要アル次第ヲ篤ト主張シ置キタリ

支、北平、在支各總領事及香港、厦門へ轉電セリ

591

昭和10年11月7日

広田外務大臣より
在中国有吉大使宛(電報)

中国幣制改革への英国側関与を在本邦英国大使館に強く否定について

付記 「支那幣制改革問題ニ關スル重光次官「クラ

イヴ」大使會談要領(十一月六日)」

第二九二號(極秘)

貴電第九〇九號ニ關シ

六日英國大使重光次官ヲ來訪シ四日貴大使「リ」會談ノ要領「リ」發政府宛ノ公電ヲ示シ今次ノ支那側幣制改革ノ裏面ニ英國ノ對支借款成立說ノ虛報ナルコト右借款ニ付テハ目下日本側ノ意見ヲ求メ居ル次第ナレハ英國側カ單獨ニ借款ヲ供與スルカ如キコトナキコト竝本件幣制改革ニ付「リ」及英國側カ何等相談ニ預リタルコトナク全ク支那側單獨ノ拔打の措置ナルコトノ二點ニ關シテハ充分日本側ノ諒解ヲ得度シト辯明スル所アリタル趣ナリ右御參考迄冒頭貴電通在支各公館ヘ轉報アリ度
滿、土ヲ除ク在歐各大使及壽府、米、紐育ヘ轉電セリ

(付記)

支那幣制改革問題ニ關スル重光次官「クライヴ」大使會談要領(十一月六日)

「クライヴ」大使ハ十一月四日上海有吉「リースロス」會談要領ヲ政府ニ報告セル公電(轉電)寫ヲ示シ

側ハ官憲モ銀行モ之ヲ支援スル態度ニ出テ「キングスレギユレーシヨン」迄モ即時ニ發布シタリ。此態度ハ英國側ハ最初カラ總テ準備ヲ整ヘ居タリトノ感想ヲ與フルニ充分ナリシ次第ト思フ

更ニ支那側ハ少ク共完全ニ英國側ト協同シ居ルモノナル印象ヲ外部ニ與フルニ努メ以テ其成功ヲ誇示セントセリ之等ハ全テ今回ノ如キ印象ヲ世間ニ與ヘタリ。」

ト述ヘタリ

(英國大使モ支那側今回ノ態度ハ傳統的列國利用政策ノ模範的ノモノト思ハルト述ヘ支那ノ政情及用人人物評等ヲナシタリ)

「クライヴ」大使ハ次テ情報ニ關スル上海來公電ヲ示シ

「右電報ノ中第一點ハ日本ノ代表者ノ述ヘタル所トシテ今回ノ支那側ノ決定ヲ非難シ英國ニ嚴重ナル抗議ヲ提出スヘシト述ヘタルモノナルカ自分ニ於テ「バイアス」等ニ付テ天羽部長ノ述ヘタル所ヲ詳細聞キ質シタルニ右ノ如キハ全然無根ナルニ付其旨上海ニ電報シ置ケリ

第二點ハ高橋藏相ノ言トシテ報セラレタル所ニ依レハ英國ハ歐洲問題カ片付ケハ必ス支那ニ來ル今回ノ遣口ハ豫期ス

「右ニ依リテモ明ナル通り今回支那側貨幣改革ノ決定ニ當リ

(一)英支間ニ何等借款ノ交渉又ハ決定ナキコト

(二)支那側決定ニ關シ何等事前ノ協議ヲ受ケタルコトナキコト

明瞭ナリ此點日本政府ノ誤解ナキ様致シ度シ。對支借款ノ問題ハ「リースロス」カ東京ニ於テ説明セル通り日本ト協議シ之ヲ協同シテ行ハントスル英國政府ノ意向ニシテ「リースロス」ハ目下最近ノ提案ニ對スル有吉大使ノ回答ヲ俟チ居ル次第ナリ。」

ト述ヘタリ

重光次官ハ右説明ヲ謝シタル上

「支那幣制改革ノ裏面ニ英國アリトノ印象ヲ與ヘタルハ二ツノ原因アルヘシ一ツハ右改革ノ要點カ總テ「リースロス」氏ノ考案ノ一部ト合致セル點ナリ「リ」氏ハ日本ニ於テ責任アル方面ニ其考案ヲ洩シ居リ恐ラク支那ニ於テモ同様ナラン從ツテ相當廣ク其内容ハ知レ渡リ居ル矢先今回ノ支那側決定ヲ見、一般ハ右ハ正シク「リ」氏ノ考案ニ基クモノトノ感想ヲ得タリ次キニ支那側決定ト時ヲ移サス英國

ヘキコトナリトノ反英的趣旨ナリ

第三點ハ矢張り電通聯合ノ通信ニ關スルモノニシテ重要ナル事柄ナルモ記憶セス」

ト述ヘタルニ對シ重光次官ハ

「今回ノ事件ニ對シテハ外務省ハ先ツ事態ヲ判明セシムルノ態度ヲトリ情報部長トモ注意深ク處理スルコトヲ打合せタル位ニテ右第一點ハ貴大使ノ調査ノ如ク全然之ナキコトニテ恐ラク新聞ノ極端ナル記事ヲ基トシタルモノナルヘシ第二點ニ付テハ高橋藏相ノ談話ハ實ハ常ニ親善的ノモノニシテ今回ノ分モ寧ろ英國態度ヲ辯護シタル位ノモノナリ。惡意ノ通信ニハ困却ス」

ト述ヘタリ

592 昭和10年11月7日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

幣制改革実施に至った経緯を唐有壬に照会に

ついで

南京 11月7日後發 本省 11月7日後着

第一二四號(極秘)

往電第一二一七號ニ關シ

六日唐有壬ニ對シ幣制新計畫ニ對スル經過ヲ突止メ見タル處唐ノ應酬振左ノ通

一、英國ハ既ニ印度ニ於テ同様ノ措置ヲ執リタルコトアル一方現ニ二億五千萬ニ上ル香港弗貨幣ヲ有シ居ル爲先ツ支那貨幣制度ノ改革ヲ見ルニアラサレハ自己ノ利益ヲ著シク害セラルル事情ヨリ客年末來銳意支那側ト接觸攻究中ナリシカ何時ノ間ニカ今回ノ計畫出來上リ居タル次第ニシテ實ハ金銀ノ開キノ消滅スルヲ待チ居タル矢先恰モ殆ト「パー」ニ達シタル爲急ニ實施スルニ至レルモノノ如シ尤モ右計畫ハ孔祥熙、宋子文ニ於テ極秘裡ニ扱ヒ居リ汪兆銘以下自分等ハ唯大体ノ傾向ヲ仄聞シ居タルニ止マリ殊ニ孔ハ汪狙撃事件ノ當夜赴滬シ翌土曜日ニハ關係方面ニ相談ヲ開始シタル程ニテ手續上モ感情上モ不滿ニ堪エサルモノアルモ實ハ本計畫ハ「リースロス」來支前二週ル程ニシテ言ハハ「リ」ノ渡來ハ一種ノ言譯ニ過キササルヲ思ヘハ英國ノ出方ノ巧妙ナルニ驚カサルヲ得ス

銀ハ暫ク現地ニ留メ置キ中央ニ送付セサル方針ヲ執ルニ決シタル趣ニテ程克ハ同日急遽天津ニ歸レリ
支、南京、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州、滿ハ轉電セリ

594 昭和10年11月7日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革に対する磯谷武官の意見について

付記 十一月六日發在中國磯谷大使館付武官より杉

山參謀次長宛電報

幣制改革に関する觀察報告

上海 11月7日後發
本省 11月7日後發

第九二〇號(部外秘)

新制度及英國側借款問題ノ經緯ハ五日兩武官ヲ招致シ内報シ置キタル處陸軍武官ハ次官宛ニ外國ノ息ノ掛レル本件幣制改革ニ反對スヘシトノ意見ヲ電報セル趣ニテ右電報ヲ内報シ來レル輔佐官トノ話合ニ依リ係官ノ得タル印象ニ依レハ武官ノ意見ハ右電報ニ現ハレタルモノノ外現銀カ中央ニ

三、事茲ニ至リ日本ノミ獨リ反對センカ英國ノミカ支那ノ良イ兒ニナリ結局其ノ手ニ乘リタルコトナリ結果モ亦將來ノ大局モ決シテ日本ノ爲ニ良カラサルコトナルヘク要スルニ日本側ノ對支政策ハ餘リニ武弁一點張ニテ結局實質ハ歐米派ノ策スル利益ノ實現ヲ見タル譯故自分等トシテハ殆ト立場ヲ失シ今朝毛汪ノ病床ニテ涙ヲ以テ此ノ經過ヲ考ヘ且ツ將來ヲ悲觀シタル次第ナリト泣キ乍ラ述ヘタリ
支、北平、天津ハ轉電セリ

593 昭和10年11月7日 在中国若杉大使館參事官より
広田外務大臣宛(電報)

銀国有令に対する北平・天津兩市政府の対応

方針について

北平 11月7日後發
本省 11月7日後發

第三七二號

北平市長代理宋哲元ハ七日偶々來平中ノ天津市長程克ト會見シ幣制改革問題ニ付協議シタル結果北平、天津兩市ノ現

集中セラルルハ戰時ノ際等ニ外國側ノ手ニ渡ルル惧モアリ又或ハ北支ヨリ現銀カ中央ニ引上ケラルルヲ面白カラスト考ヘ居ルニアラスヤトモ想像セラレタル趣ナリ
南京、北平、天津ハ轉電セリ

(付記)

上海 11月6日發
參謀本部 着

今次協定セル英支借款ハ既電ノ如ク一千萬磅ナル處其後中國銀行方面ヨリ探知シ得タル所ニ依レハリースト孔祥熙間ニハ總額八千萬磅ノ借款又ハ「クレヂット」ニ就キ、相互祕密裡ニ了解ニ達セリ而シテ右借款ハ對米棉麥借款ノ前例ニ倣ヒ將來必要ニ應シ、其都度支那側ニ融通スルコトトシ擔保ノ如キモ隨時、決定スルコトナリ從テ今直ニ之ヲ表明セス成ルヘク世界ノ注目ヲ避クル爲第一回分トシテ一千萬磅ヲ發表シタル次第ナリト

銀行家ノ意見ニ依レハ一千萬磅ニテハ外國トノ、決濟ノミニ使用スルモ僅ニ向ツ六ヶ月ヲ支ヘ得ルニ過キス、其後逐次増額セラルルニアラサレハ支那財界カ破産スルハ火ヲ賭

ルヨリ明ナリ、當地外交官憲中ニハ孔祥熙、リースロスノ言ノミヲ過信シ寧ロ英支ノ爲ニ辯明スルノ傾アルハ頗ル遺憾トスル所ニテ、今尙一千万磅ノ借款ヲモ否認セントスルハ眞ニ愚ノ骨頂ト稱スヘシ、英國側從來ノ遣り方ヨリ見ルモ次期借款説ノ傳ヘラルル時ハ恐ラク現物ハ支那側カ已ニ費消シ盡シタル後ナルヘシ斯克ノ如キ手段ヲ以テ結局支那ニ對シ英國カ設ケタル催眠ニ掛リ遂ニ逃レ出ルノ術ナク完全ニ英國貨幣ヲ以テ支配セラルルニ至ル公算大ナルモノト思料セラル、尙最近在滬英人間ニ屢々英國ノ對支投資ハ約二億二千萬磅(日本貨約三十億圓)ニシテ支那財政ノ破綻ハ實ニ在東洋英國民ノ生命ニ關ストノ口吻ヲ洩ス者アリテ英國官邊トシテモ日本ノ鼻息ノミヲ窺フヲ得サルニ至リシモノニアラスヤト觀察セラル

595 昭和10年11月7日 在南京須磨總領事より
 広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革およびリース・ロスの借款計画に
 関する在中國英國大使との会談内容について

⁽²⁾ 又英國銀行家ニハ一日午後或種ノ暗示ヲ與ヘラレタルハ事實ナルモ判然本計畫ノ實行ヲ通報セラレタルハ二日ニテ自分ハ三日終日考慮ノ上何レ後ニテ政府ノ承認ヲ得ル決意ヲ爲シ例ノ「オーダー」ヲ發シタル次第ナリト陳辯セリ

三、「カ」ヨリ日本ハ支那幣制ノ安定ニ依リ最利益ヲ受クヘキ隣國ナレハ假リニ經過ニ於テ多少ノ行違ハアリトスルモ之カ爲ニスル例ノ借款話ニハ欣然應セラルルコトト思考スルカ如何ト繰返シ問ヘルニ依リ本官ヨリ有吉大使ニ對スル政府ノ訓令無シト答ヘタルニ「カ」ハ尙執拗ニ本官ノ個人的意見ヲ問ヘルヲ以テ他國ノ如ク財政經濟ヲ政治ヨリ全然切離シ得サル支那ニ對スル此ノ際ノ借款ニ日本政府カ銀行ヲシテ参加セシムヘシトハ考ヘラレス又忌憚無ク言ヘハ英國側ハ日支關係ノ調整ヲ日本トシテ「アドバイス」ヲ爲スヘシト云ヒ乍ラ恰モ日支關係カ猶ホ機微ナル状態ヲ脱セサル時期ニ突如此ノ種ノ措置ニ出テタルハ假令日本カ欲スルモ参加シ得サルカ如キ状態ニ導キタルモノト云フヘク英國ノ措置ハ尠クトモ「アンワイズ」ト言ハサルヲ得スト答ヘ置ケリ

南京 11月7日後発
 本省 11月7日後着

第一二二六號
 往電第一二二七號ニ關シ

五日來寧セル「カドガン」ト六日會談ノ要領左ノ通
 一、本官ヨリ支發閣下宛電報第八七五號第三節ニ依レハ當時既ニ支那政府ハ幣制改革案ヲ準備シ居リ其ノ「デフイニツト、プログラム」ヲ英國側ニ於テ知り居ルカ如キ書振モアリ且ツ四日附ノ「オーダー」ハ餘リニモ迅速ナル點ヨリ支那側ニ於テ英國側トハ特別前廣ニ打合セヲ爲シ居タルヤノ疑ヲ生スルハ遺憾ニ堪エズト述ヘタルニ對シ「カ」ハ「リースロス」ニ於テ本國政府ニ一千万磅借款ヲ建言スル爲ニハ支那カ行フヘキ幣制改革ヲ擧ケ且ツ其ノ效果ヲモ説クノ要アル爲大體銀行券發行ヲ統一スル等ノ原則ヲ確メタル迄ニテ愈決定セル「プラン」ハ全ク相談ニ與リ居ラス唯宋子文、孔祥熙等ト隨時接觸ノ際「リ」ハ専門家的見地ヨリ種々提言セルコトアリ是等カ孔ノ新計畫宣言中ニ織込マレ居ルコトハ事實ナルモ之カ爲英支ノ聯絡ヲ猜疑セラルルハ當ララスト答ヘ

⁽³⁾ 三、「カ」ハ本件借款談ハ有吉大使ニ申入ルルト同時ニ上海ニ於テ「ジョンソン」及印度支那銀行支配人(「クールサー」)ノコトナルヘシ(ニ尙六日「クローゼル」書記官ニモ當地ニテ自分ヨリ申入レタリト附言セリ)話シタルカ佛國側ハ餘リ乘氣ナラサル様子ナル處米國側ハ未タ本國政府ヨリ訓令ハ無キモ「ジョンソン」ハ樂觀シ居ル旨ヲ述ヘ日本側ノ参加ヲ見ル様努力方繰返シ申出テタルニ對シ本官ヨリ若シ日本ニ於テ反對ノ場合ニ於テハ英國ハ單獨若ハ米國側ト共同シテ遣ル積リナリヤト反問セルニ「カ」ハ多少周章ノ態ニテ本國政府ノ態度ハ承知セスト答ヘタルヲ以テ本官ヨリ本借款計畫ノ實現ニ依リ支那内政上ニモ或ハ龜裂ヲ生スヘキ處之カ爲日支關係ニ影響ヲ及ホスカ如キコト無キヲ望ムニ就テハ英國側モ今少シク大局上ヨリ考慮ヲ拂ハレ度シト要望シ置キタリ
 支、北平、天津へ轉電セリ

596 昭和10年11月7日 在南京須磨總領事より
 広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革に対する米独兩國大使の見解に

南京 11月7日後発
本省 11月7日後着

第一二三〇號

往電第一二二六號ニ關シ

七日蘇聯國祭日ニテ會合セル「ジヨンソン」ハ本官ニ對シ「リ」ノ一千萬元借款案ニ對スル回訓ハ未到ナルカ支那幣制改革發表無カリシニ於テハ米國モ參加方確實ト思考シ居ルモ「リースロス」以外ハ總テヲ出抜キタル新制度ノ爲何トナルヤ雲行判斷シ難シト述ヘ尙「ラウンテンシユラーガー」ハ「トラウトマン」モ新計畫ノ發表ニ驚キ早速赴滬形勢觀望中ナルカ嘗テ暹羅ニ於テ同様ノ制度ヲ立テタルモ外資ノ後援ナキ爲六週間ニシテ全然舊態ニ復シタルコトモアレハ前途樂觀シ得スト述ヘ其ノ他同席ノ外交代表者概ネ英國ノ遣リ過キナリト本官ニ内話シ居タリ御參考迄
支、北平、天津へ轉電セリ

597 昭和10年11月8日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

四 中国幣制改革

無ク不勞利得論ノ謂無キコト支那全體ノ銀國有及幣制改革成功後初メテ外國銀行ノ銀引渡ヲ議スヘキ筋合ナルコト、日本銀行側ノ銀引渡ノ義務無シト考ヘ居ルコト(然ラハ所有銀ヲ如何ニ處分スル積リナリヤトノ質問ニ對シ)政府ノ意嚮ヲモ聽キタル上適宜處分ノ途アルヘキコト及正金トシテハ銀ニテ支拂フヘキ約束ノ預金等モアリ銀引渡ニハ應シ難キコト等ヲ説明セルカ英國側ヲ除キ各銀行何レモ矢吹ノ言ニ賛成シテ引渡ニ反對ナル旨ヲ述ヘ殊ニ「シテイ」ハ銀拂ノ債務ヲ有シ居リ自國政府ノ保護(キングス、レグレイション)ノ如キモノナルヘシ)無キ限リ銀引渡ニハ應シ難ク支那ニ對シ倫敦ニテ同額ノ銀ノ引渡ヲ要求スヘシト爲シ
²⁾又獨逸銀行ハ中央銀行ノミカ集中セル銀ヲ自由ニ海外ニ處分シ得ルコトコソ不勞利得ナリ外國銀行ハ銀自由輸出ノ「ライゼンス」ヲ要求スヘシト主張セル由
會合ノ結果ハ結局議纏マラス十二日再ヒ幹事會ヲ開クコトト爲レルカ唯「シテイ」ノ提議ニ依リ「外國銀行」トシテハ新幣制ニハ協力(法貨タル三銀行銀行券ノ授受ヲ認ムル意)スヘキモ銀行渡ニハ今直ニ應シ難キ旨ヲ支

中国側の銀引渡し要求に対する外国銀行組合の対応振りについて

別電 十一月八日發在中國有吉大使より広田外務大臣宛第九二七號

右組合の中国財政部宛回答

上海 11月8日後發
本省 11月8日後着

第九二六號

往電第九〇三號ニ關シ

「外國銀行「アソシエーション」ハ總會開催ヲ避ケ幹事會ヲ七日午後開キ「チャータード」(議長)ノ外香上、正金、「シテイ」、印度支那、伊太利、白耳義、和蘭、獨逸ノ八行出席、議長ヨリ中央銀行ノ銀引渡要求ニ應スヘキヤ否ヤノ件ヲ議題ニ上セタルカ「チャータード」自身トシテハ外國銀行カ一致シテ引渡ニ應スルニ於テハ自行モ引渡スヘクP、O及「マーカントイル」モ同様ノ態度ナル旨ヲ述ヘ香上ハ頗ル態度曖昧ニシテ不勞利得論(往電第九〇七號ノ五)等ヲ持出シタルニ付矢吹ヨリ銀行所有銀ハ銀行ノ資産ニシテ預金ニ對シ銀ヲ拂フト否トニハ關係

那側ニ通告スルコトナレル由(矢吹ハ右通告ノ要モ無カルヘシト述ヘタルモ各銀行之ニ賛成シ本八日「チャータード」ニテ別電第九二七號ノ如ク起草シ財政部長宛出狀セリ尙右「シテイ」提議ノ理由ハ市場ニテ種々ノ「ルーマ」アリ業務ノ遂行ニ色々困難ヲ感シ居ル爲之ヲ避クルニアル旨説明シ居タル由)
三、日本銀行側ハ右幹事會ニ先立チ六日夜協議會ヲ開キ其ノ結果矢吹ヨリ前記ノ如キ應酬ヲ爲シタル次第ナルカ(正金側ニハ本社ヨリ回訓アリ右應酬ニハ之ヲモ加味セリ)各銀行トモ必要ノ現金ハ爲替ヲ賣リ準備シ得ヘク又毎日ノ決済尻ニハ中央銀行ニテ銀行券ノ「ヘルドオーバー」ヲ認メ居ルヲ以テ取急キ所有銀ヲ處分スル必要無ク結局ハ之ヲ需要者(密輸業者等ハ三、四割ノ「ブレミヤム」附ニテ銀ヲ求メ居レリ)ニ賣捌ク方法モアルヘシト態度相當強硬ナリ尙其ノ際適當ノ價格(外貨建)ナラハ買取ニ應スヘキヤノ議論アリタルモ
³⁾列席ノ係官ヨリ支那側トシテ支那銀行ノ銀ヲ一元對一元ニテ回收シ外國銀行ニノミ「コンペンセーション」ヲ出ス譯ニハ行カサルヘク少クトモ國內ノ銀ノ回收ヲ終ル迄

ハ此ノ種交渉ニハ應セサルヘキニ付目下ノ所幾何ナラハ銀ヲ賣ルヘシト云フカ如キ「コムミツトメント」ヲ爲スハ不可ナル旨ヲ説明シ置キタル趣ナリ(七日ノ幹事會ニテモ別段幾何ニテ賣ルヘシ等ノ議論ハ無カリシ由)

三、當地ニテハ支那銀行所有ノ銀ハ四日封印シタル儘引渡サス錢莊方面ノ銀ヲ集メ居ル趣ニシテ上海以外ノ狀況ハ未タ充分判明セサルモ何レノ途支那側ノ銀國有力徹底スルヤ否ヤ疑問ニシテ少クトモ相當ノ時日ヲ要スヘク且ツ目下ノ所英國側ヲ除ク外國銀行側モ相當態度強硬ナルニ付旁當分ハ日本銀行側ヲシテ前記ノ如キ態度ヲ持續セシムルト共ニ成行ヲ見ルコト然ルヘシト存スル處幣制問題ニ對スル我方ノ態度等ヲモ考量ニ容レラレ此ノ際本使ニ於テ心得フヘキコトアラハ至急御回電相成度シ
在支各總領事、北平、厦門、香港へ轉電セリ

(別電)

上海 11月8日後發

本省 11月8日後着

第九二七號

屢次ノ貴電及「クライブ」大使ノ重光次官ニ對スル釋明ニ依レハ英國側及支那側双方共今回ノ支那ノ幣制改革ト英國ノ對支借款トハ直接ノ關係ナク幣制改革ハ支那ノ自力ニ依ル救済策ナル旨言明シ居ル次第ナルヲ以テ帝國トシテハ右二者ヲ別個ノ問題トシテ取扱ヒ

一、支那ノ全般的經濟改革ハ支那自ラノ決意ト實行トヲ必要トスル次第ニシテ從來ノ如ク外國ノ借款ニ頼リ支那ノ經濟的安定ヲ計ラントスルカ如キハ到底成功ヲ期シ得サルノミナラス右借款ハ結局將來ニ於ケル國民ノ負擔トシテ拍サレ愈々支那財政ヲ困難ナラシムルモノナルニ依リ帝國トシテハ斯ノ種借款ニ對シテハ從來共反對ノ態度ヲ持シ來レル次第ナルカ今回「リースーロス」借款ニ對シテモ右同様ノ態度ヲ以テ當ラントスル次第ナリ

二、幣制改革其ノモノニ就テハ今暫ラク其ノ成行ヲ見タル上ニ非サレハ確タル意向ヲ表示シ得サルモ

(イ)銀ノ國有力單ニ形式的ノモノナラハ兎モ角支那全國ニ於ケル現銀ヲ悉ク中央ニ現送集中スルモノナルニ於テハ過去ノ歴史ニ徴スルモ斯ノ如キ現銀ノ集中ハ結局時ノ中央政權ニ依リ濫用セラレ或ハ輸出セラレ其ノ結果

上海外國爲替銀行協會々長發財政部長宛七日附書面
(前略)

I am requested to inform you that all member banks... expressed their willingness to co-operate fully with Chinese Government in connection with currency decree of November 3rd, but that at present they are unable to arrive at decision regarding over of silver stocks at present in their possession. 尚「メンバー」中ニハ本店及外交當局ニ「レファア」シ居ルモノアルニ付來週再度會合ノ筈ニシテ結果ハ必要ニ依リ通報スヘシ云々ト附記シアリ

598 昭和10年11月9日 広田外務大臣より 在中国有吉大使宛(電報)

中国幣制改革への我が方対処方針について

付記 外務省編『外務省公表集』第十四輯より抜粋
「支那幣制改革問題ニ關スル非公式外務當局談」

本省 11月9日發

第二九四號(極秘)

支那經濟制度ノ基礎タル現銀ノ涸枯ヲ招來シ結局支那全國ノ經濟組織ヲ收拾シ得サル破綻ニ誘ク虞極メテ大ナルヲ以テ斯ル無謀ナル措置ニ對シテハ我方トシテ之ヲ傍觀スルヲ得サル次第ナリ

(ロ)尙本件ニ關シ我方ヲ出シ抜キ決行シタルカ如キ觀アルハ日支ノ大局ニ鑑ミ我方ノ極メテ遺憾トスル所ナル旨支那側ニ對シ隨時警告表示セラレ本件ニ關スル我方ノ立場ヲ有利ナラシムル様セラレ度シ

(ハ)尙又幣制改革今後ノ實施振リニ依リ邦人ノ權利利益ヲ害シ若ハ日支關係上惡影響アリト認メラルル場合ニハ我方トシテ何等適當ノ措置ニ出ツルコトアルヘキハ勿論ノ義ナリ

尙ホ本邦銀行其他邦人所有ノ現銀ヲ紙幣ト「バー」ニテ強制交換スルコトハ目下ノ處容認シ難キ次第ナルニ付將來別ニ電報セサル限り本邦銀行等ヲシテ引續キ從來通りノ態度ヲ維持セシムル様御配慮相成度シ

尙前記一ノ點ニ就テハ英國ニ對スル正式回答ハ今暫ク差シ控エ新聞等ヲ指導シテ帝國ノ意向ヲ反映セシメ本件借款問題ヲ「デイスカレッジ」スル様措置スル積リナルニ

付右御含ミノ上英國側ハ勿論米佛等外國側ニ對シテモ適宜接觸ノ上對支借款問題ヲ思ヒ切ル様可然誘導セラレ度シ

上海へ轉報アリ度

在支各總領事、香港、厦門、臺灣外事課長ニ轉電セリ

英米滿ニ轉電シ米ヨリ紐育へ、英ヨリ除土在歐各大使及壽府ニ轉報セシメタリ

(付記)

支那幣制改革問題ニ關スル非公式外務當局談

(十一月九日)

支那今回ノ幣制改革ニ付テハ未タ前途ノ見通シ十分ツキカヌルヲ以テ、帝國トシテハ慎重ニ成行ヲ注視シテ居ル次第テアルカ

(イ)抑々本件ノ如キ重要問題ノ決行ニ當リテハ、東亞ニ於ケル日支ノ關係ニ鑑ミ、當然我方ト十分ナル協議ヲ行ヒ我方ノ協力ヲ確メタル上之ヲ行フヘキ筋合ナルニ、今回ノ如ク突如決行ヲ聲明シ、爲ニ本件實施ノ前途ニ一沫ノ不安ヲ與ヘタルハ我方トシテモ甚タ遺憾トスル所テアル。

銀國有令への措置振りに関する程克天津市長の内話について

付記 十一月十一日発在中國高橋(中)大使館付武官

補佐官より杉山參謀次長宛電報

北平・天津における銀の留保措置について

天津 11月9日後発

本省 11月9日後着

第三二三號(至急)

北平發閣下宛電報第三七二號ニ關シ

七日北平ヨリ下津セル程市長カ永井ニ内話セル所左ノ通豫テ南京政府ハ自分及宋哲元等カ防赤工作ニ藉口シ鹽稅等中央收入ヲ截留スルコトアルヘキヲ豫想シ種々北支收入入特ニ現銀ノ確保策ヲ講シ居リタル模様ナリシ矢先突然銀國有令ノ發布アリ之ハテツキリ南京側ノ現銀引上ト睨ミタルニ依リ四日赴平宋ト意見ヲ交換シ五日不取敢平津兩地在銀ノ移動ヲ停止スルコトニ決シ先ツ北平商會代表ニ對シ宋ヨリ此ノ旨ヲ傳フルト共ニ自分ハ同日某銀行家ヲ天津へ急派シ各銀行へ同様ノ趣旨ヲ傳へ六日北平ヨリ宋及自分ニ別々ニ此ノ際ニ於ケル現銀ノ中央集中ハ徒ニ北支人心軍心ヲ動搖

(ロ)本件幣制改革ト關連シ英國トノ借款問題喧傳セラレ居ルモ、外國トノ借款問題ニ付テハ未タ支那側ヨリ我方ニ何等申出アリタルコトナキノミナラス、支那側及英國側雙方ヨリ英國トノ借款ト本件改革トハ何等ノ關係ナキ旨言明シ居レルハ當然ノコトト思ハル。

蓋シ支那ノ全般的經濟改革ノ爲ニハ支那自ら之ヲ行フノ決意ト實行トヲ必要トスル次第ニシテ、從來ノ如ク外國ヨリノ借款ニヨリ經濟的ノ安定ヲ圖ラントスルカ如キコトハ到底成功ヲ期シ得サルノミナラス、右借款ハ結局支那國民ノ將來ノ負擔トシテ殘サレ、支那ノ財政整理ヲ愈困難ナラシムルモノナルニ依リ、斯ノ種ノ借款ニ對シテハ我方トシテハ常ニ反對ノ態度ヲトリ來レル次第テアルカ、今回ノ如ク支那側カ自力更生ノ決意ヲ聲明シ居ル際、外國ヨリ借款ヲ與フル如キハ折角ノ支那側ノ決意ヲ鈍ラシムルコトトモナリ、尙更支那ノ爲ニモ面白カラサル結果トナルモノト思ハル。

599 昭和10年11月9日

在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

セシムルノミナルニ付各銀行ノ在銀ハ其ノ儘關係銀行ニ封存セシムルコトトセル旨發電シ更ニ同日平津兩銀行公會ヨリ現銀ヲ平津ヨリ移動スルハ人心ヲ不安ナラシムルヲ以テ平津二分庫ヲ設ケ之ニ在銀ヲ保管スルコトト致度キ旨財政部へ電請セシメ七日天津公安局二命シテ各銀行ノ現銀移動ヲ監視セシムルト共ニ監視員ニハ萬一現銀ヲ移動スルモノアラハ之ヲ抑留スヘキ旨含マシメ八日自分ハ天津銀行公會會員銀行ヲ招集種々打合セテ遂ケタル上財政局長、公安局長、工務局長及二名ノ地方士紳ヲ委員ニ擧ケ本日銀行公會ト共ニ各銀行ノ在銀ヲ調ヘ之ヲ査封スルコトトセリ前記委員ニハ考慮ノ上更ニ陳津沽保安司令部駐津辦事處長ヲモ加フルコトトシ只今其ノ手續ヲ了セリ

尙自分ハ此ノ際物價騰貴ノ徴アルヲ以テ財政局長ニ命シ物價調査ヲ爲サシメ不日糧食(雜穀)及銅串(下層階級ノ本位貨ニシテ目下動搖シ居レリ)ノ相場ノ公定ヲ爲ス所存ナリ本件自分ノ措置ハ多方面ヨリノ依頼等ニ基クモノニアラス全ク自分ノ發意ニ依ルモノナリ

支、北平、在支各總領事、厦門、滿へ轉電セリ

廣東ヨリ香港へ轉報アリタシ

北平 11月11日発
参謀本部 着

「銀國有令二件ヒ北支ニアル現銀カ上海方面ニ集中サルルコトハ北支ノ經濟ヲ危殆ニ陥レ帝國ノ利益ヲ阻礙シ我年來ノ主張ヲ蹂躪スルモノナルヲ以テ貴方ニ於テ自發的ニ之カ徹底的防止ノ處置ヲ講スルコト必要ナリ若シ此舉ニ出テサレハ我方ハ實力ニ掛ケテモ之カ實現ヲ期スヘシ」トノ主旨ヲ述ヘ且天津軍ノ意向ヲモ傳ヘ商震及宋哲元ニ決意ヲ促カシタル處兩名共銀ノ南方輸送ハ嚴重ニ取締リ實現セシメサル決心ニテ既ニ夫々手配中ナリ

尙此上其本目的達成ノ爲ノ具体的手段ヲ研究實施スヘシト回答セリ引續キ監視及指導スヘキモ取敢ス
關、天、上、奉、濟、漢、南、廣 スミ

600 昭和10年11月(9)日
在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

幣制改革実施に至るまでの蒋介石言動に関する
黄郛内話について

限りニ於テハ英國ヨリノ借款決定セル事實ハナキモ唯英國銀行側ヨリ寄々借款ノ内話ハアリタル様子ナリト答ヘタルニ付黄ハ斯クテハ準備銀モ無ク何レハ崩壊スヘシトノ懸念ヲ述ヘタルニ蔣ハ實ハ自分モ心配ニ堪エサルモ孔ノ説明ニ依レハ目下上海在銀ハ三億ニ過キササルモ全國ヨリ集中シ得ヘキ正貨ハ恐ラク二十億ニ上ルヘキニ付年額約二、三億見當ノ入超アリトスルモ支那ノ自力ニテモ約十年ハ持堪エ得ヘク今直ニ借款ノ成立スルコト必スシモ必要トセストノコトナリト述ヘタルニ付自分ヨリ更ニ右ノ打算ハ怪シ氣ナリト再三繰返シタリ
三、茲ニ於テ蔣ハ遂ニ事情ヲ述フヘシトテ實ハ本件ヲ全國經濟委員會常務委員ニ附議スヘシトテ一日孔、宋、孫科及蔣介石(汪ハ遭難ノ爲缺席)會合セルモ蔣ハ原則ハ贊成ナルカ實行方法ハ時局柄ニモ鑑ミ慎重ニ考慮スヘシトノ言ヲ殘シ他用ノ爲中座シタルヲ幸ヒ孔、宋ニ於テ一氣ニ決定シタルモノナリト述ヘタルカ實ハ蔣自身モ相當懸念シ居ル次第ナリ
支、北平、天津へ轉電セリ

南京 11月9日後着
本省

第一二二六號(極秘)
往電第一二二四號ニ關シ
七日來寧セル黄郛カ九日極秘ノ含ヲ以テ本官ニ語レル要領左ノ通

一、三週間前來寧蔣介石ニ面會ノ際蔣ヨリ財政建直ニ付孔祥熙、宋子文ニ於テ種々畫策中ナルカ別ニ杭州在任徐某ノ起草ニ係ル救濟案ナリトテ穀類ヲ準備トシテ紙幣ヲ發行シ現銀ハ一手ニ收メ之ヲ以テ海外貿易ノ調整ニ充ツヘシトノ雜誌ヲ示シ右徐某ハ黃ノ舊友ナル關係モアリ黃ニ於テモ篤ト研究方相談アリシニ依リ黃ヨリ然ラハ孔、宋等ノ案ト合致セサル場合ハ如何ニスヘキヤト言ヘルニ蔣ハ孔等ノ考モ大差ナキ様ナレハ自分(黃)ニ於テ篤ト實行方及時期ヲ考ヘラレ度シト述ヘ居タル處三日ニ至リ突如孔等ノ案ヲ翌日發表スヘシトノ話アリタルニ驚キ蔣介石ニ電話セルニ蔣ヨリハ經濟委員會ニテ決定濟ニテ已ムヲ得ストノ應酬アリタリ
三、依テ今回來寧後蔣介石ニ更ニ事情ヲ確メタルニ蔣ノ知ル

601 昭和10年11月10日
在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの借款計画に対する蒋介石意向
を張群内話について

南京 11月10日後発
本省 11月11日前着

第一二四六號
往電第一二二六號ニ關シ
十日張群ハ本官ニ對シ蔣介石ハ財政新計畫ニ付相當懸念シ特ニ英國側ヨリノ借款談ニハ驚キ自ラ孔祥熙、宋子文等ニ確メ其ノ事ナキヲ知リテ稍安堵セル次第ニテ日本トノ打合せナクシテハ英米等ヨリ何等ノ財政的援助例ヘハ「クレジツト」ノ設定ノ如キモノヲモ受クルコトヲ差控フヘキ旨申聞ケ居ル譯故一千萬磅借款案ハ結局成立セサルヘシト述ヘタルニ付本官ヨリ今ノ所如何ナル國ヨリスル借款モ却テ支那内外ノ信用ヲ失墜セシムル以外効果ナカルヘキ所以等我方從來ノ立場ヲ詳シク申聞ケタルニ張ハ良ク了解シ居レル旨ヲ述ヘ特ニ本件借款ハ成立セサルヘキ旨繰返シ確言セリ
支、北平、天津へ轉電セリ

602 昭和10年11月11日 在英國藤井臨時代理大使より
広田外務大臣宛(電報)

英國大蔵省は日本との協力なき対中借款は実
施しない意向との情報について

ロンドン 11月11日後発
本省 11月12日前着

第三五六號(極秘)

支那幣制問題ニ關シ過日「エドワーズ」ニ對シ夫レト無ク
英國側ノ態度内査方依頼シ置キタル處十一日「エ」來館本
官ニ語ル所ニ依レハ本朝「エス、シー、エー、ワーレン」
ニ面會シ支那ノ銀國有問題實行ノ困難ナルコト及之カ實行
援助ノ爲英國側ニ於テ早急ニ單獨借款ヲ決定スルニ於テハ
必スヤ東亞ノ不安ヲ讓成スル惧アル旨語リタル處「ワ」ハ
大蔵省ニ關スル限り日本ト協力無キ限り對支借款ヲ決定ス
ルカ如キ考毛頭無キ旨答ヘタル趣ナリ
米ヘ轉電シ在歐各大使(土ヲ除ク)及壽府ヘ暗送セリ

603 昭和10年11月11日 在英國藤井臨時代理大使より
広田外務大臣宛(電報)

スプレス」カ支那問題ニ關シ此ノ際英米共同戦線ノ必要ヲ
説キタルモノ等アリ

(欄外記入)

軍部ガ公然對外聲明ヲナシテハ外交ハ出來ス

604 昭和10年11月12日 広田外務大臣より
在中國有吉大使宛(電報)

幣制改革の抜打ち実施に關し重光次官が中国
側へ遺憾の意表明について

第二九七號 本省 11月12日後4時15分發

八日丁代理大使重光次官ヲ來訪ノ際次官ヨリ幣制改革問題
ニ關スル南京政府ノ態度ハ日本ノ立場ヲ極メテ困難ナラシ
ムルモノニシテ自國ノ幣制ヲ改革サルハ兎ニ角隣國トシ
テ又主要ナル貿易關係ヲ有スル日本トシテハ右ニ對シ重大
ナル關心ヲ有スルハ當然ナルニ拘ラス他ノアル國ニ對シテ
ハ前以テ連絡ヲ付ケ居ラルルコト總テノ點ヨリ明ナルニ日
本ニ對シテハ恰モ之ヲ押シツケルカ如キ形勢ヲ誘致シ右態

中国幣制改革に關する日本陸軍省の対英警告
の声明が及ぼした英國世論の反響について

ロンドン 11月11日後発
本省 11月12日前着

第三五七號

當地各新聞ハ昨今連日ニ亘リ支那問題ニ關スル記事ヲ揭
ケ居リ特ニ幣制問題ニ付テハ支那側ノ發表以來日本ノ強硬
ナル反對及英國側ノ借款説否認ニ依リ右反對一時緩和セラ
レタルモ九日陸軍省ノ對英警告的聲明ハ相當ノ反響ヲ喚起
スルト共二十一日「タイムズ」特電ハ日本外務省モ陸軍ト
同一意嚮ナルコト及新聞論調ノ對英非難等ヲ打電シ來レル
カ一般的ニハ本件反對ノ中心カ依然軍部ニアルカ如キ印象
多キ書振ナリ又北支問題ニ付テハ同地方カ漸次日本ノ管理
下ニ置カレツツアル模様ヲ傳ヘ上海中山水兵事件ニ付テハ
事件ノ重大性ヲ報シ中ニハ日支關係ノ將來ヲ以テ伊「エ」
紛争以上ト豫見シ居ルモノアリ

其ノ他ノ論説トシテハ十一日「ガーデイアン」カ陸軍聲明
ヲ以テ根據ナシト爲スモ恐ラク右ハ北支問題ヲ自己ニ有利
ニ導カンカ爲ナルヘシトノ論法ヲモ用ヒ「デーリー」エキ

度ハ列國操縦ノ模範的ノモノト一般ニ認メラレ居ルハ遺憾
ナリトノ趣旨ヲ述ヘ置キタル趣ナリ

在支各總領事、北平、香港、厦門、滿ニ轉電セリ
上海ヘ轉報アリ度

英米ニ轉電シ英ヨリ土ヲ除ク在歐各大使及壽府ヘ、米ヨリ
紐育ニ暗送セシメタリ

605 昭和10年11月12日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革をめぐる英國側事情を同国有力
企業関係者より聴取について

第九三五號 上海 本省 11月12日後着

十日來滬ノ途次偶々同車セル「ケスウィック」ハ須磨ニ對
シ今次ノ借款計畫等ハ一切「ピール」カ臆立テセルモノニ
シテ「リースロス」ハ全ク外面ヲ飾ル爲ニ渡支セルニ過キ
ス(而モ或種ノ條件ヲ提議セハ日本ノ借款參加ヲ得ラルヘ
シト誤解シテ渡支セルモノナリ)但シ今トナリテハ支那側

ニ對スル關係ヨリ引込ノ着カサル姿ナリト語レル次第アル處十一日「ポーター」ハ須磨ニ對シ倫敦ノ「グループ、バンクス」ヨリ「ブリテイッシュ、アンド、チャイニーズ、コーポレーション」(「ポ」ハ同社ノ「トラスティイ」タリ)ヘノ入電ニ依レハ倫敦ニテハ目下借款團ニ依ルヘシト爲ス説ト單獨借款モ辭セスト爲ス説ト對立シ居ルモ前者優勢トナリツツアリ日米等ノ參加無クハ借款ヲ與ヘサルコトトナルヘシトノコトナリ又例ノ「キングス、レギュレーション」モ「カドガン」カ香上銀行ノ取付ヲ防止シ同銀行ヲ保護スルニ熱心ナル餘リ支那側ニ對シ退引キナラス政治上ノ「コムミットメント」ヲ與ヘタルモノトシテ本國ニ於テモ頗ル非難多シ事態スノ如キ爲「リースロス」モ密ニ今トナリテハ日米等ノ反對ニ依リ借款成立セサルコトトナレハ却テ有難シト洩ラシ居タリ云々ト内話セル趣ナリ
南京、北平、天津へ轉電セリ

606

昭和10年11月13日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革の当否や借款計画に関するリ

側ニ言フ所必スシモ日本側等ニ對スルモノト同シカラス要スルニ忌憚ナク言ヘハ支那事情ニ通セサル「カドガン」大使及貴下等カ意味セサル所ヲ支那側ハ自分等ニ都合ヨク解釋シ今次ノ結果トナリタリト思ハルルニ付「インデイスクリート」乍ラ宋等カ對支借款ノ可能性ニ付質問セサリシヤ承リ度シト述ヘタル處「リ」ハ率直ニ申上クヘキカ實ハ宋等ヨリ從來殊ニ二日自分ニ對シ借款ノ可能性ヲ尋ネタルニ付自分ヨリ政府ノ意嚮ハ承知セサルモ國際借款成立ノ爲全力ヲ注キツツアリ但シ相當ノ時間ヲ要スヘシト答ヘ宋ヨリ略何日頃トナルヘキヤト頻リニ質問アリタルモ確答シ難シト述ヘ置キタル経緯アリト答ヘタル趣ナリ

⁽²⁾須磨ヨリ詳細ノ事情ヲ承ル迄モ無ク支那側カ右借款ヲ考慮ニ入レスシテ今次ノ冒險ニ乗出シタリトハ考ヘラレズ此ノ儘ニテハ日支關係ノ不安除去セラレス新制度ノ破綻ヲ來スコトアルヘシト思ハルル處如何ト質問セルニ「リ」ハ充分其ノ危険ヲ認ムルモ右破綻ハ各國殊ニ日英ノ重大關心ヲ有スル所ナレハ日本側ノ有吉大使ニ對スル回訓ヲ速ニ承知致度シト考ヘ居レリ新聞ニハ日本ハ借款

ス・ロスとの意見交換について

上海 11月13日後發
本省 11月13日後着

第九三六號

⁽¹⁾十二日須磨「リースロス」ニ面會シ

一、須磨ヨリ新制度ハ全ク「アドベンチュア」ニ過キス蓋シ日支關係ノ正常化ヲ基礎トシテ初メテ貨幣制度ヲ維持シ得ヘキ「コンフィデンス」ヲ望ミ得ヘキ處實情ハ支那側ノ無自覺ニ依リ日支關係ヲ依然不安ノ状態ニ置キ殊ニ北支ニ於テハ支那側ノ措置力不幸兩國關係ヲ益々悪化セシメントシツツアリ爲ニ既ニ新貨幣制度ニ付テモ政府ニ對スル支那人自身ノ信賴薄ラキ實施以來既ニ現銀カ四千萬元減少セル實情ノ如キハ見逃シ難キ所ナルヘシト述ヘタルニ「リ」ハ事實新制度カ「リスキー」ナルコトハ否ミ難キモ支那側殊ニ宋子文、孔祥熙共日支關係ノ好轉ヲ基調トシ居ル點ハ實證シ得ルニ付所謂「コンフィデンス」カ無クナルモノトハ思考セラレストテ詳述シ宋等トノ折衝ノ經過ヲ述ヘタル由

二、依テ須磨ヨリ宋等ハ必スシモ支那ヲ代表セス又其ノ英國

ニ反對ナルヤニ報セラレ居ルカ如何ト述ヘ須磨ヨリ政府ノ意嚮ハ未タ承知セストノミ答ヘ米佛ノ態度ハ決定セリヤト反問セル處「リ」ハ佛國ハ資金モ無キニ付期待シ居ラス米國ハ政府トシテハ態度消極的ナルモ關係銀行ハ「クレジット」設定ニ傾キ居レリト答ヘタル趣ナリ(尤モ十二日「アーベンド」ハ「ナシヨナル、シテイ」支配人ノ打明話トシテ米國銀行ハ借款ニモ新幣制ニモ援助ヲ與ヘサルコトニ決定シ居レリト述ヘタル事實アリ)

四、須磨ヨリ假ニ日本モ米國モ參加セス而モ日支關係カ改善セラレストセハ支那財政ハ「ケオス」ト化スヘキカ其ノ際ハ英國側トシテ行懸上單獨ニテモ支持ヲ與フル外無キニアラスヤト質問セルニ「リ」ハ一面ニ於テ財界ノ混亂ニ依リ來ルヘキ英國側ノ損失ヲ考フレハ假ニ政府カ支持ヲ拒否スル場合モ銀行側ヲシテ借款乃至「クレジット」ニ參加セシムル要モアルヘシト考ヘラルルモ他面ニ於テ右ハ英國カ他國ト異ル對支政策ヲ決定スルコトトナルヘキニ付今ノ所見當着カスト率直ニ答ヘタル趣ナリ

南京、北平、天津へ轉電セリ

昭和10年11月13日
在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国による事実上の満州国承認を条件に日本
が華北での密輸を防止する特殊協定の設定に
つきりリス・ロス提案について

上海 11月13日後発
本省 11月13日後着

第九三七號

往電第九三六號會談ノ節「リースロス」ハ須磨ニ對シ北支
ハ無稅關狀態ニテ控目ニ見積ルモ年額三、四千萬元ノ稅收
ノ損失アル趣ナルカ自分モ來週中出發約十日ノ豫定ニテ平
津地方ヲ視察シ度シト考ヘ居リ私見ニ依レハ右稅收ノ損失
ヲ救濟スル目的ヲ以テ日支間ニ同地方ニ關スル特殊ノ「ア
レンヂメント」(滿洲國ノ事實上ノ承認ト共ニ支那海關ノ
統一ヲ保チ稅收ヲ確保スル措置ヲ認ムルカ如キ)ヲ作ルモ
一案ナルヘシ貴見如何ト質問セルニ付須磨ハ忌憚無ク言ヘ
ハ餘リニ認識ヲ缺ク議論ナリ支那カ全般的ニ對日關係ヲ良
クスル決心ヲ爲スニアラサレハ其ノ自ラ招キタル結果ヲ部
分的ニ調整スルコトハ不可能ナレハ右様ノ御助力ハ徒勞ニ

四 中国幣制改革

「カンタイル」モ同様引渡ニ應スヘシト述ヘ香上銀行モ
同様ノ態度ヲ取ル旨ヲ述ヘ「シテイ」ハ米國銀行ハ本國
政府ヨリ何等ノ保障ヲ得ラレサル旨及本店ヨリ外國銀行カ
全員一致(日本側ヲ除クトハ言ハス)引渡ニ應スルニ於テハ
自行モ之ニ應シ差支無キ旨訓令アリタルモ早急ニ其ノ手段
ヲ執ル要無カルヘキ旨ヲ述ヘ佛、伊、獨、蘭ノ諸銀行ハ一
元對一元ニテハ引渡ニ應スル意無ク何等カ「コンペンセー
ション」ヲ求ムヘシト爲シ白耳義銀行ノミハ終始發言セス
多數決ニ從フヘシトノ意嚮ヲ漏ラシ矢吹ヨリ此ノ種問題ハ
各自ノ資産ノ問題ニ付外銀「アツソシエーション」ノ決議
ヲ爲スモノニアラサル旨ヲ注意セルモ何モ答ヘサリシ由
日本側ハ豫メ打合セタル所ニ基キ矢吹ヨリ六銀行何レモ差
當リ引渡ヲ拒否スル旨ヲ明カニシ置キタル趣ニシテ結局何
等議纏マラス議長ヨリ議長ノ外日、米、佛各一名ヲ代表者
トシテ孔祥熙ヲ往訪ノ上討議ノ結果及各自ノ意見ヲ説明シ
テハ如何トノ提議アリタルモ矢吹ヨリ其ノ必要ナカルヘク
又自分ハ日本銀行ヲ代表スル權限ヲ與ヘラレ居ラスト述ヘ
結局議長ニ於テ討議ノ結果ヲ然ルヘタク孔ニ通報シ更ニ代表
者ヲ派スル要アラハ同章ヲ廻ハスコトトナリタル趣ナリ

終ルヘシト應酬シ置キタル趣ニシテ尙「リ」ハ日本カ東京
ニ於テ蔣作賓ニ支那ニ對シ壓迫益敷キ申入ヲ爲シタリトノ
聞込アリタル處如何ト質問セルニ付須磨ヨリ全ク右ハ誤解
ニシテ常ニ支那側ニ對シ日支關係ノ全般的改善ノ爲注意ヲ
喚起シ居ル次第ナレハ支那獨特ノ宣傳ニ迷ハサレサルコト
肝要ナリト答ヘ置キタル趣ナリ

南京、北平、天津へ轉電セリ

608 昭和10年11月13日

在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国側の銀引渡し要求に対する外国銀行組合
幹事会の討議内容について

上海 11月13日後発
本省 11月13日後着

第九四〇號

往電第九二六號ニ關シ

十二日ノ幹事會ニ於テハ議長タル「チャヤード」ハ日本
側銀行ハ特殊ノ地位ニアルヘキニ付日本側ヲ除ク他ノ全外
國銀行カ銀ヲ引渡スニ於テハ自行トシテモ(P、O及「マ

尙會合ニ於テ「コンペンセーション」ノ話出テタルコトハ
注意ヲ要スヘク(「シテイ」支配人ハ本來ハ倫敦銀價ニテ
買取ヲ求ムルカ當然ナリト言ヒ香上ハ現送スルトセハ諸掛
ヲ要スルニ付倫敦銀價以下ニテ可ナルヘシト言ヒシニ付矢
吹ハ支那政府カ倫敦ニテ銀ヲ買ヒテ輸入スルニ比スレハ倫
敦銀價ニテモ安カルヘシト注意シ置キタル由)又和蘭銀行
ハ北支、西南ノ事情モ漸ク判明シ事態ハ前回會合當時ヨリ
相當變化シ來レルコトヲ指摘シ一般ノ注意ヲ惹キタル由
冒頭往電ノ通り轉電セリ

609 昭和10年11月13日

在英國藤井臨時代理大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革問題での対日協調を重視する英
国政財界中枢の意向を十分考慮方意見具申

ロンドン 11月13日後発
本省 11月14日前着

第三六一號(極秘)

支那幣制問題ニ付過般國際決済銀行理事會ノ際英蘭銀行總
裁カ日銀宗像及正金加納ニ爲シタル談話並二十一日大藏省

「ウエーレー」カ富田財務官ニ爲シタル談話ハ右三氏ヨリ夫々深井總裁、兒玉頭取及津島次官ニ電報シタル趣ノ處右ハ何レモ英國政府及財界ノ中樞カ如何ニ本問題ニ深甚ノ關心ヲ有シ日本トノ協調ヲ重視シ居ルカヲ示スモノノ如キニ付本問題及之ニ關聯スル對支借款問題ノ御攻究ニ際シテハ是等ノ意見ヲモ考慮ニ入レルルコト然ルヘキヤニ思考ス

610 昭和10年11月14日

在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの借款計画に対する応酬振り請訓

上海 発
本省 11月14日後着

〔第九四五號(至急、極秘)〕

貴電第二九四號末段ニ關シ(支那幣制改革並ニ英支借款問題)

一、借款問題ニ關スル「リ」ノ提案ニ對スル正式回答ハ今暫ク差控へ置クヘキモ往電第九三六號ノ三ノ次第モアリ今後「リ」等ヨリ回答ヲ督促シ來ル場合ニハ本使トシテ何分ノ回答ヲ爲スコト其ノ立場上必要ナリト存セラルルニ

付右ノ場合ニハ右貴電冒頭及一ノ趣旨ニテ應酬スルコトト致度シ

ニ、尤モ右ノ場合「リ」等ニ於テハ新制度ハ借款ト直接ノ關係ナシニ突然實施セラレタルモ今日トナリテハ借款ニ依リ右ヲ支持セサレハ全面的ノ破綻ヲ生スル危険アルヲ理由トシテ我方ノ協力ヲ求ムルコトアルヘキヤニ存セラルル處右ノ場合ニハ本使ノ私見トシテ「リ」ニ於テ無闇ニ借款ヲ仄シタル結果支那側ヲシテ實情ニ即セサル新制度ヲ時期尙早且ツ無準備ニ實施セシムルニ至リタルハ極メテ遺憾ニシテ一千萬磅ヤ二千萬磅ノ借款ヲ供與スルモ斯ノ如キ制度ヲ支持スルコトハ不可能ナルノミナラス却テ事態ヲ悪化セシムヘク日本トシテハ「リ」ノ提案カ technically sound ナリトハ思ハレス加之日本トシテハ新制度並ニ借款計畫ノ政治的影響殊ニ支那ノ靜謐ト日支關係ノ正常化ニ及ホスヘキ影響ニ付多大ノ注意ヲ拂ハサルヲ得サル次第ナリトノ趣旨ニテ應酬スルコトト致度シ

右ニ對シ何分ノ儀折返シ御回答相成度シ尙往電第八七六號稅關問題ニ關シテモ何分ノ儀至急御回答ヲ請フ

電セリ

611 昭和10年11月14日

在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

対中新借款への日本参加問題に関する在中國

英国大使の内話について

上海 発
本省 11月14日後着

第九四九號(極秘)

往電第九三六號ニ關シ

聯合松本カ十四日絶對ニ外部ニ發表セサル約束ニテ「カダガン」ト會談セル際「カ」ハ日本側ニ對スル借款參加方提議ニ關シ新聞等ニハ日本側ハ反對ナルヤニ傳ヘラルルモ日本ノ利益トナルコトニモアリ日本ハ參加セサル迄モ「モーラル、サポート」ヲ與フルニ異議無カルヘク有吉大使ヨリ此ノ趣旨ノ回答ヲ期待シ居レリト述ヘ若シ日本カ反對セハ如何トノ質問ニ對シ日本ノ反對ハ豫期シ居ラサルニ付萬一反對セハ如何ニスヘキヤ見當着カスト答ヘ又借款團トノ關係ニ付質問セルニ對シ借款團ハ既ニ死ニタルモノトハ考ヘ

付右ノ場合ニハ右貴電冒頭及一ノ趣旨ニテ應酬スルコトト致度シ

ニ、尤モ右ノ場合「リ」等ニ於テハ新制度ハ借款ト直接ノ關係ナシニ突然實施セラレタルモ今日トナリテハ借款ニ依リ右ヲ支持セサレハ全面的ノ破綻ヲ生スル危険アルヲ理由トシテ我方ノ協力ヲ求ムルコトアルヘキヤニ存セラルル處右ノ場合ニハ本使ノ私見トシテ「リ」ニ於テ無闇ニ借款ヲ仄シタル結果支那側ヲシテ實情ニ即セサル新制度ヲ時期尙早且ツ無準備ニ實施セシムルニ至リタルハ極メテ遺憾ニシテ一千萬磅ヤ二千萬磅ノ借款ヲ供與スルモ斯ノ如キ制度ヲ支持スルコトハ不可能ナルノミナラス却テ事態ヲ悪化セシムヘク日本トシテハ「リ」ノ提案カ technically sound ナリトハ思ハレス加之日本トシテハ新制度並ニ借款計畫ノ政治的影響殊ニ支那ノ靜謐ト日支關係ノ正常化ニ及ホスヘキ影響ニ付多大ノ注意ヲ拂ハサルヲ得サル次第ナリトノ趣旨ニテ應酬スルコトト致度シ

右ニ對シ何分ノ儀折返シ御回答相成度シ尙往電第八七六號稅關問題ニ關シテモ何分ノ儀至急御回答ヲ請フ

612 昭和10年11月15日

広田外務大臣より
在中國有吉大使宛(電報)

リース・ロスの借款計画に対する応酬振り回訓

付記 作成日、作成局課不明

「リースロス」ノ渡支ト幣制改革問題」
本省 11月15日發

第三〇〇號(極秘、至急)

貴電第九四五號ニ關シ

「リース、ロス」借款問題ニ對スル應酬振ハ右貴電御來示ノ通りニテ差支ナシ尤モ最近ノ機會ニ先方ヨリ「アツプローチ」シ來ラサルニ於テハ適當ノ機會ヲ求メ右趣旨ヲ申聞ケラレ度(右貴電ニ、ノ中「リ」ノ提案カ technically un-sound ナリトノ見解ニハ全然贊成ニテ財政及國際收支等ノ

基礎的整理改革ナシニ漫然外國ヨリ currency loan ヲ許與スルモ成功スルモノニ非ストノ意向ナリ）
 尙我方トシテハ英國ノ借款其ノモノニ反對ナル以上右借款ノ成立ヲ前提トシテ提起セラレタル海關關係ノ問題（貴電第八七五號ノ十一）ニ就テハ何等言及スル必要ナキ次第ナリ右ハ御氣付ノ事トハ存スルモ爲念
 尤モ右借款トハ別問題トシテノ海關組織ノ問題（貴電第八七二號岸本内話ノ點等）ニ對スル當方ノ意向ハ別ニ追電ス
 在支各總領事、北平、台灣外事課長、厦門、滿、香港へ轉電セリ
 上海ニ轉報アリ度シ

（付記）

「リースロス」ノ渡支ト幣制改革問題

（イ）次官「リースロス」會談ニ關シ得タル印象

「リ」ハ滿洲國承認等ノ斡旋提議ニ對シ日本側ハ當然快諾スルモノト決メ込ミ而テ日本ト共同シテ支那側説得ノ心組ニテ來レルモノノ如シ支那ニ於ケル日英協調ニ關スル英國皇帝ノ 陛下ニ對スル御親書ヲ持參セル如キハ或

ラシメタルハ思慮充分ナラスト評シ居タル趣ナリ

「リ」ハ其後モ宋、孔ト頻繁ニ會見シタルカ會見内容ハ外交部ニモ一切秘密ニシ居リタルカ如シ

（ハ）在支英國官憲ノ態度

在支英人ノ銀支拂禁止ニ關スル「カドガン」ノ十一月四日附「キングス、レギュレーション」（前文中ニ支那側ノ現銀使用禁止ヲ擴張適用スルコト必要ナリト認ムル旨ヲ規定ス）ハ必スシモ支那側ノ幣制改革ニ英國政府カ「フル、サポート」ヲ與ヘタルモノニ非スシテ上海ノ英國銀行保護等ノ目的ニ出テタルモノトモ認メラレサルニ非ルモ時ヲ移サス發令セル點（在支帝國大使館ニ於テ四日朝英國總領事館ニ問合セタル際既ニ本命令ヲ騰寫版刷ニシ準備シアリタル由）ヨリ考ヘ英國側ハ支那側ノ幣制改革斷行ヲ相當前ヨリ承知シ居リタリト推定セラル（但「カドガン」ハ十一月七日須磨總領事ニ對シ前記英國側ノ命令ハ同人ノ責任ニテ發令セルモノニシテ政府ノ事後承諾ヲ要スルモノナリト語レル由）

（ニ）英國銀行ノ態度

幣制改革ヲ廻リ國民政府及英國銀行間ニ如何ナル諒解ア

ハ之ニ依リテ右ニ關スル日本ノ態度ヲ決定的ナラシメントスル意圖ニ出テタルニ非サルカトモ推察セラルルモ解釋ニ苦シム節アリ何レニスルモ東亞ノ事態ニ通セス相當大膽ニ行動スル意思ヲ以テ來レルヤニ見受ケラレ支那問題ニ關シ英國力從來ノ高壓の態度ヲ以テ在支權益ノ維持乃至強化ヲ圖ラントスル一ツノ試ミナルヤニ認メラレタリ

（ロ）「リースロス」ト宋、孔トノ接觸

「リ」ハ經濟顧問トシテ在英大使館ニ「アタツチ」セル身分ナルニモ拘ラス其ノ行動ハ常ニ支那側要人殊ニ宋子文及孔祥熙ト密接ナル聯絡ヲトリツツアルヤノ感觸ヲ與ヘタリ

例ヘハ重光次官ハ「リ」トノ會談ニ依リ同人ハ既ニ宋等ト聯絡ヲトリ其ノ腹案ヲ作成セルヤノ印象ヲ受ケタル趣ナルカ「リ」ハ九月二十一日上海ニ着スルヤ翌日南京ニ向ヒ直チニ孔ノ別邸ニ落着キ汪兆銘訪問前ニ孔ヲ訪問スル等同地ニ於ケル各國代表者ノ注意ヲ惹キ殊ニ「ジョンソン」ハ右ニ付「マクダニエル」ニ對シ「カドガン」カ自己ノ「スタフ」タルヘキ「リ」ヲ先ツ財政部長ノ客タ

リタルヤ判明セサレ共英國銀行カ支那側政府銀行ト全幅のニ協調スヘキ態度ヲ採リタルコトハ今回ノ改革カ比較的圓滑ニ實施セラレタル決定的要因ナリト一般ニ信セラレ居ルカ如シ殊ニ本邦銀行筋ヨリ得タル情報ニ依レハ今回ノ改革斷行ノ眼目タル爲替安定工作ニ關スル英支銀行間ノ協力ハ甚タ強固ナルモノアルヤニ認メラレル由ナリ其他現銀引渡問題ニ付英國側銀行カ終始支那ノ通貨政策支援ノ態度ニ出テタルハ周知ノ事實ナリ
 概シテ支那側ハ英國側ノ「サポート」アレハ他國ハ之ヲ引摺リ得ヘシトノ見込ニテ本件改革ヲ斷行セリト認メラ

（ホ）香港ノ立場ト幣制改革

香港ノ幣制カ支那幣制ト離ルヘカラサル關係ニアルコトハ一九三〇年香港政廳ノ通貨委員會ノ報告ニモ見ユル所ニシテ、事實、上海カ外國銀行ノ「モーラル、サポート」ヲ得テ實際上銀本位ヲ離レ對英爲替ヲ平價以下ニ保テル結果香港ノ通貨ハ對上海關係ニ於テ從來ニ比シ甚シク暴騰シテ香港ノ經濟ハ困難ヲ感シツツアリタリ又香港銀行邊リハ右「モーラル、サポート」當時銀高ヲ利用シ

ル（高橋龜吉氏ノ意見）

香港ヲ通シ上海手持銀ヲ積出シ莫大ノ利益ヲ收メタルヘシトノ疑惑濃厚(正金側情報)ニシテ幣制改革當時ハ銀行債務ノ銀支拂ニ困難ヲ感シ之ヲ打開セントシツツアリタル等(正金側情報)支那ノ幣制改革ニ香港ノ利益カ可成加味セラレアルコトハ疑フ餘地ナキカ如シ

尙香港力銀輸出禁止(各年十一月九日)直後發行セル政府新紙幣ハ英國會社ノ印刷ニ係ルモノナル趣(新聞紙上等)報セラレ同地方ニテハ之ヲ以テ英國カ支那側幣制改革ヲ相當以前ヨリ豫知シ居リタル證左ナリトナシ居ル趣ナリ

613 昭和10年11月15日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの借款計画に對する米國側意圖を在中國米國大使に照会について

南京 發 本省 11月15日前着

第一二五八號(極秘) 往電第一二三〇號ニ關シ

支發閣下宛電報第九三六號(三)本官「リースロス」ト會談ノ

(冒頭往電前段)其ノ後ノ日本側新聞報道等ニ依リ何等カ「スペシフィック、ローン」ノ話「リ」ヨリ有吉大使ニ對シアリタルヤニ觀取セラルル處如何ト問ヒ果シテ然ラハ今春英國カ對支借款ハ國際的ナルヘキ旨ヲ日、米、佛ニ通告シタル所ニ背反スル不信行爲ト云フノ外無シト述ヘタリ

二、本官ハ「リ」カ成程廿八日有吉大使ヲ來訪同様ノ話アリシハ事實ナルモ其ノ詳細ハ御話ノ自由ヲ有セス但シ私見ニ依レハ新計畫ハ物ニ成リ相ニモ無ク自然如何ナル形ニ於テモ借款ノ見込無シト考ヘラルル處米國側ノ觀測如何ト尋ネタルニ「ジヨ」ハ冒頭往電前段ノ趣旨ヲ繰返シ英國側ノ遣口餘リニモ不可解ノ點多ク私見ニ依レハ政府モ銀行モ途方ニ暮レ居ルノミニテ回訓セサルモノト思考スト述ヘタルニ付本官ヨリ支發閣下宛電報第九三六號「リ」ニ對スル本官ノ應酬振ヲ繰返シ借款話ヲ抹殺シ置ケリ

支、北平、天津へ轉電セリ



際米國政府ノ借款ニ對スル態度ニ關シ「リ」ノ答フル所曖昧ナリシ次第モアリ本十四日「ジヨンソン」ト會談シ先ツ冒頭往電英國側ヨリノ一千萬元借款案ニ關スル申入ノ模様ヲ夫レト無ク尋ネ見タルニ「ジヨ」ハ恐ロシク憤慨ノ態度ヲ示シ極秘ノ含ヲ以テ左ノ通り述ヘタリ

一、實ハ十月二十八日午後「リースロス」ハ上海ニ於テ自分ニ對シ同日朝有吉大使ニモ話シタル所ナリトテ支那側ニ幣制改革ニ關シ種々「アドヴァイス」シ居ル處大體銀國有發券銀行ノ單一化ニ歸着スヘキ旨ヲ告ケタルノミニテ借款ニ關スル(スペシフィック、ローン)何等ノ話合無ク唯何レ新計畫ノ樹立ニハ外國ヨリ資金ヲ招クノ外無カルヘシト述ヘタルニ止マリ又二日「ヤング」孔祥熙ノ命ニ依ルカ如キ風ニテ(往電第一二二七號參照)來訪新計畫ノ概要ヲ告ケ米國側ハ支持セラルヘキヤト言ヘルニ依リ右ハ銀行ニ直接相談方然ルヘキ旨答ヘ置キ(右「ヤング」トノ會談ニ關スル「ジヨ」ノ自書ノ覺ヲ本官ニ示セリ)此ノ旨本國政府ニ報道旁右制度ノ前提トナルヘキ借款ニ付請訓シタル處

右ニ對シ何等回訓無キ旨ヲ七日御答シ置キタル譯ナルカ

614 昭和10年11月15日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

幣制改革の成否に責任を負わないよう日本は 静観すべき旨唐有壬内話について

南京 發 本省 11月15日前着

第一二六二號 支發閣下宛電報第九三六號ニ關シ 十四日唐有壬ハ本官ニ對シ十三日孔祥熙ハ自分(唐)ニ對シ日本側ハ幣制新計畫ニ反對ノ如キモ本計畫ノ失敗ハ日本ニ不利ナルヘキ旨本官ニ傳ヘラレ度シト申出テタル程滑稽ナル認識不足ナルカ支那側モ外國借款ノ見込着カサレハ新計畫ハ所詮失敗ノ外無ク殊ニ同計畫カ孔、宋等カ私利ヲ營ム爲(孔夫人ハ四日一日ニテ約八百萬元ノ私利ヲ得タリト傳ヘラル)速急ノ間ニ施行セラレ居ル點ニ氣付キ始メタル實情ナレハ日本側ハ寧ロ靜觀スルコト然ルヘク今反對セハ日本ノ爲ニ新制度崩壞セリト宣傳セラルルノ惧アルヘシト述ヘ居タリ

支、北平、天津へ轉電セリ



615 昭和10年11月15日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

幣制改革に関する張公権内話について

上海 11月15日午後発
本省 11月15日午後着

第九五三號
商務官ヨリ

幣制問題ニ關シ張公権ハ本問題ニハ全然干與シ居ラサレハ内情ヲ知ラストノ前提ニテ内話セシ所左ノ如シ

一、英國ノ態度ハ支那ヲ「サポート」スルト云フヨリモ多分ニ日本ニ對抗スルモノナルヤニ觀察サルル節アリ幣制借款ニ付テハ英國側ハ日本ノ回答ヲ待チツツアルカ日本ノ反對理由カ首肯スヘキモノニアラサルトキハ單獨借款ヲモ辭セサルカニ觀測サル日本側態度ハ稍感情ニ走リツツアリト思ハルルカ日本側ノ反對ハ極メテ憂慮サレ居レリ
二、當地英國側ノ銀行並ニ有力商社筋ノ意見ハ借款擔保ハ關稅トシ萬一ノ場合上海以南ノ稅收丈ケ確保出來レハ充分トスルモノノ如シ又内債償還基金ノ減額カ考ヘラレ居ル模様ナルカ之ニ依リテ内債下落ノ際ハ政府カ紙幣ヲ増發

十五日在京英國大使本大臣ヲ來訪シ十六日東京發靜養旁支那、佛領印度支那及比列賓方面ニ旅行スル處途中上海ニテ自然「カドーガン」「リースロス」等ト會見スヘキモ右ハ別ニ異圖アル次第ニ非ルニ付誤解ナキ様希望スト挨拶シタル上今次幣制改革ニ對シ日本新聞ハ直向ヨリ反對シ居ル様ナルカ幣制ノ安定ハ日本ニ執リテモ利益ナルヘキヲ以テ日本政府トシテハ右成功ヲ希望セラルルモノト解スル處如何ト述ヘタルニ付

本大臣ヨリ本件ニ關シテハ目下成行注意中ナルカ地方ニ在ル銀ヲ中央ニ集メ全國ノ銀ヲ國有トスルカ如キハ硬貨ニ對スル支那人ノ愛着心ヨリ見ルモ至難ナルヘシト述ヘタルニ「ク」ハ右ノ點ハ諒解シ得ルモ此ノ儘放置センカ結局支那ノ財政ハ破端ニ歸シ對外爲替ハ支離滅裂トナルヘク此ノ際外國側ヨリ何分ノ援助必要ナラント答ヘタルニ付

本大臣ヨリ四日孔祥熙ノ有吉大使ニ對スル談話ニ依レハ(實電第九〇三號參照)本件ハ支那側ノ自力更生ニ基クモノニテ別ニ外國ノ借款ヲ宛ニシ居ルモノニモ非ル趣ニ付差當リ兎ニ角其ノ實行振ヲ見守ルコト可然シト認メラル尙支那ニ於テハ如何ナル問題ト雖モ政治ト密接ナル關係ナキモノ

シ回收スレハ市價維持ハ可能ナラント考ヘラレツツアリ
三、政府ハ當座ノ爲替賣向ヒ資金ノ用意ハアルカ借款不成立ニ終ラハ相當ノ混亂ハ免レサルヘシ但シ支那ノ經濟機構ノ特殊狀態カラ見テ外國ニ於ケルカ如キ「パニック」ニ襲ハルルトハ思ハレス

四、紙幣流通セサル奧地ニ於テハ現銀ノ回收ハ困難ナルカ納稅並ニ日用品ノ買入等ニテ手持銀ハ漸次回收サルルニ至ラン

又農産品モ結局ハ紙幣ト交換スル外無ケレハ相當時期ヲ經過セハ紙幣流通ヲ見ルニ至ルヘシ

北平、南京、天津へ轉電セリ

616 昭和10年11月16日 広田外務大臣より
在中國有吉大使宛(電報)

中國幣制改革に関する広田外相と在本邦英國

大使との会談内容について

本省 11月16日發

第三〇一號

往電第二九二號ニ關シ

ハナク現ニ本件モ孔、宋等一部ノ者カ他ト計ラス獨斷專行シタルモノニシテ政府部内ニモ相當ノ異見アル趣ニテ又最近汪兆銘狙擊事件等ニモ關聯シ對日關係ノ惡化ヲ企圖セントシ居ル一派モアルカ如ク萬一英國ノ斡旋ニ依リ借款成立ノコトトモナラハ此等連中ハ恰モ英國ヨリ援助ヲ得居ルカ如キ誤解ヲ得テ日支關係ノ惡化ニ拍車ヲカクルカ如キ事態ニ立到ル虞モ無キニ非ス旁々此ノ政治的複雑ナル時期ニ借款問題ヲ持出サルルハ時期宜シカラス先ツ支那ノ國內情勢、對日態度等ヲ見定メ同國內政狀況及日支關係ノ安定ヲ俟ツコト肝要ナルヘシトノ趣旨ヲ說示シ尙目下日英間ニハ軍縮問題ノ如キ重要ナル協議ヲ控ヘ居ル際日支關係ニ付何等カ英國カ介在シ居ルカ如キ印象ヲ與フル噂ノ立ツハ日英關係ニ鑑ミ甚タ好マシカラサルコトト懸念シ居ル旨附言シ置ケリ

北平、在支各總領事、香港、厦門、滿ニ轉電セリ
英米ニ轉電シ英ヨリ土ヲ除ク在歐各大使及壽府へ米ヨリ紐育ニ暗送セシメタリ

617

昭和10年11月16日

広田外務大臣より
在英国藤井臨時代理大使、在米國齋藤
大使、在滿州國南大使他宛(電報)

中国各地における銀の留保状況について

本省 11月16日後3時0分発

合第八五七號

支那幣制改革ニ關スル其後ノ情報左ノ通

一、外國銀行ノ銀引渡問題

上海ニ於ケル外國銀行ハ七日第一回組合幹事會ヲ開催、

英國系銀行以外ハ全部正金ノ引渡反對ノ意見ニ追隨シ議

纏ラス中央銀行ヨリノ要求ニ對シテハ不取敢過般ノ財政

部布告ノ趣旨(紙幣使用ヲ意味ス)ニハ充分協力スヘキ旨

回答スルコトトセルカ十二日第二回會合ニ於テ英國側ハ

日本ヲ除ク他ノ全外國銀行カ引渡スニ於テハ英國側モ之

ニ應スヘシトノ態度ニ出テタルモ爾餘ノ銀行ノ贊成ヲ得

ス其ノ儘トナリタル由

二、各地現銀留置情況

各地共現銀ヲ中央ニ引渡ス事ニ就テハ多大ノ不安ヲ感シ

出來ル丈現銀抑留ノ態度ヲ取りツツアル如ク就中

(イ)天津市長程克北平市長代理宋哲元ハ銀ノ中央集中ハ人

心ヲ動搖セシムル惧アリトテ兩市ノ在銀ヲ保管スルノ

目的ヲ以テ天津二分庫設置方財政部宛請願セルニ對シ

財政部八十日之ヲ許可シ保管委員ヲ任命シ來レル趣ナ

リ

(ロ)韓復榘ハ各銀行及銀號ニ對シ山東省銀ノ省外搬出停止

ヲ命シ

(ハ)漢口ニ於テハ支那銀行ハ銀ヲ中央ニ納付セス申合セニ

依リ自發的ニ封印セリト稱シ居レル由

尙紙幣ノ信用カ輿地農民ニ徹底シ居ラサル爲農產品出廻

リニ惡影響ヲ與ヘサルヤヲ懸念セラレツツアル趣ナリ

三、廣東幣制改革

廣東政府ハ中央ノ改革ニ對シ不取敢廣東ハ通貨制度ヲ異

ニスルヲ以テ直接影響ナシト發表シタルモ六日ニ至リ中

央ニ倣ヒ貨幣管理令ヲ公布シ中央ト獨立ニ發行準備管理

委員會ヲ設立シ現銀ノ流通ヲ禁止セル處市場ハ一時混亂

ヲ來シタルモ其ノ後鎮靜ニ赴キタル由ナリ

四、香港銀輸出禁止

香港ニ於テハ四日以來銀爲替崩落シ銀ノ領外流出激甚ト

四 中国幣制改革

618

昭和10年11月16日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革に対する我が方意向をリース

口スヘ説明について

上海 發

本省 11月16日後着

第九五七號

往電第九〇九號ニ關シ

十五日貴電第三〇〇號接到前「リースロス」、「カドガン」

ナリタルカ九日遂ニ銀貨及銀塊ノ輸出ヲ禁止セリ兌換ハ
事實上停止セラレ居ル由

五、銀爲替ノ近況

幣制改革以來中央銀行ハ一志二片八分ノ三賣、一志二片

八分ノ五買ニテ賣買ニ應シ居ル處投機者ノ迷惑賣買ニ對

シテハ英國系銀行支那側銀行ト協調シ居ルモノノ如ク爲

替ハ右相場ノ間ニ安定シ居レリ尤モ現物先物ノ値開キハ

依然存續シ居ルカ如シ

米ヨリ紐育ヘ英ヨリ除土在歐各大使及壽府ヘ轉報アリ度

ト共ニ本使ヲ來訪セルカ會談要領左ノ通(右貴電ノ趣ハ更
二次ノ機會ニ申入ルル所存ナリ)

一、「リ」ヨリ政府ノ回答アリタリヤト尋ネ本使ヨリ未タ回

答ニ接セサルモ日本ノ輿論カ貴下ノ提案ニ反對シ居ルコ

トハ新聞等ニテ御承知ノ通ナルヘシト述ヘタルニ「リ」

ハ新制度カ失敗スル場合ニハ支那以外列國モ同様ニ不利

益ヲ蒙ルモノナルニ拘ラス日本ノ新聞カ専ラ感情の二之

ニ反對スルハ諸外國ノ此ノ種改革ノ前例ト比シ不思儀ナ

リト言ヘルニ付本使ヨリ日本側ニ於テハ貴下ノ借款案ヲ

考量シ居ル矢先突然新制度ノ發表アリ日本側一般ハ右カ

貴下ノ提案ニ關聯スルモノトノ當然ノ疑惑ヲ懷キ新制度

カ重大ナル政治的關係ヲ有スルモノトシテ深甚ノ考量ヲ

拂ヒ居ル次第ナレハ之ニ對シ新聞カ重大ノ關心ヲ持ツコ

トハ當然ナリト説明シタル上

先日ノ御話ニテハ借款ナクトモ新制度ヲ維持スルコト困

難ナラストノ御意見ナリシカ其ノ後ノ觀測如何ト問ヘル

ニ「リ」ハ支那側ニテハ借款ナクトモ少クトモ一年位ハ

之ヲ支持シ得ヘシト爲シ居レリト答ヘ又本使ヨリ本制度

ノ實施以來廣東ヲ初メ天津、北平其ノ他各地ニテハ銀ノ

中央送付ヲ拒否シ一般國民モ亦銀引渡ヲ躊躇シ居ル實情ニテ右ハ支那人カ數千年來銀ヲ基礎トスル貨幣制度ヲ維持シ來リ之カ爲支那ノ經濟カ政變ニ超然タリ得タルモノナレハ今日何等ノ準備モナク銀ヲ離脱スルハ不可能ナルノミナラス一朝政變起レハ全國ノ經濟ハ大動搖ヲ免レサ

ルヘキヲ以テ新制度ハ技術的ヨリ(スル)モ良策ニアラストノ我方専門家ノ意見モアル旨ヲ述ヘ置キタリ
 三、次テ本使ヨリ借款供與ハ日支關係乃至支那ノ政治的安定ヲ前提トスルコト「リ」ニ於テモ常ニ述ヘ居ル通ナルカ新借款ハ宋、孔等ノ勢力ヲ増大シ從來引續キ兩國關係ノ改善ニ努力シ來レル汪兆銘派ノ衰退ヲ來スヘキコト必然ニシテ同時ニ政府部内ノ黨争ヲ甚クシカラシムルコトニ付注意ヲ喚起シタルニ對シ「リ」ハ新借款資金ハ中央銀行ノ統制下ニ置キ個人ノ自由ニナラサル様ニスル仕組ナリト説明セルモ本使ハ支那ノ現狀ニテハ右ノ如キ仕組モ何等ノ效果ナカルヘク又今回新制度ノ實行ニ際シ局ニ當リ居ルモノカ多大ノ利得ヲ得居ル事實(「リ」)モ之ヲ肯定シ居タリ)等ハ借款ニ依リ新制度ヲ維持スルコトノ如何ニ不可能ナルカラ語ルモノナリト説明シ置ケリ

リ時間アラハ赴日セラルルコト然ルヘキヤニ存スト答ヘ置キタリ
 在支各總領事、香港、北平、厦門へ轉電セリ

619 昭和10年11月18日 在中國有吉大使より
 広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの借款計画に対する我が方意向の表示方法に關し請訓

上海 11月18日後発
 本省 11月18日後着

第九六八號
 貴電第三〇〇號ニ關シ

往電第九四五號ノ一請訓ノ趣旨ハ其ノ行文ノ体裁上稍明瞭ヲ缺キタルヤニ認メラルル處本使トシテ「リ」ヨリ督促アル場合日本側正式ノ回答トシテ右往電一ノ趣旨ヲ披露シ右ニ對シ「リ」ヨリ質問等アル場合ニハ同電二ノ通り説明スル積リナル處冒頭貴電ニハ「リ」借款問題ニ對スル應酬振云々トアリ又貴電第三〇一號閣下ノ「クライブ」ニ對スル應酬振ニ依ルモ此ノ際「リ」ニ對シ我方カ借款ニ反對ナル

三、尙本使ノ質問ニ對シ「リ」ハ同人ノ借款提案ニ付テハ先ツ日本側ノ賛成ヲ得サル限り問題トナラスト考ヘ居ルヲ以テ「ジョンソン」ニハ一寸話シタル程度ニテ別ニ同國政府ノ回答ヲ豫期シ居ル譯ニアラスト述ヘ又新制度ニ對スル「キングス、レギュレーション」ニ付テハ本國ヨリ之ヲ認ムル旨ノ回訓アリ唯英國銀行カ手持銀ヲ支那側ニ引渡スコトニ付テハ追テ訓令ストノコトナルカ右ニ對シテハ十四日ノ大使館會議ニテ他ノ銀行カ有利ノ取扱ヲ受クレハ之ニ均霑ストノ條件付ニテ手持銀ヲ「パー」ニテ引渡スコトニ決シ本國ニ請訓中ナリト述ヘ右問題ニ對スル我方ノ態度ヲ問ヘルニ付本使ヨリ日本(側)銀行ハ「パー」ニテ引渡ササルコトニ決定シタル趣ナリト答ヘ尙同席ノ堀内ヨリ冒頭往電末段不當利得云々ノ「リ」ノ意見ニ對シ日本銀行家ハ往電第九二六號ノ如キ意見ヲ有スル旨ヲ説明シ置キタリ
 四、尙「リ」ハ近ク天津、北平ニ赴ク豫定ナルモ主トシテ觀光ノ爲ニテ短期間ニテ歸滬スル積リナル旨ヲ語り又同人ニ於テ此ノ際日本へ行く方可ナリヤト問ヘルニ付本使ヨリ調査ヲ完了セラレタル上ハ當初東京ニテノ話(「色」)モア

旨ヲ明確ニ回答セス單ニ本使ノ觀測トシテ前記ノ次第ヲ説明スルニ止メ依テ先方ヲシテ我方カ借款ニ反對ナルコトヲ會得セシムルコト然ルヘシトノ御意嚮ナルヤニモ存セラルルニ付テハ右何レニ依ルヘキヤ何分ノ儀爲念折返シ「リ」ハ二十二日北上ノ豫定ノ由(御回示)ヲ請フ

620 昭和10年11月19日 在中國有吉大使より
 広田外務大臣宛(電報)

銀引渡し要求に対する外国銀行組合の討議結果を孔祥熙了承について

上海 11月19日後発
 本省 11月19日後着

第九七七號
 往電第九四〇號ニ關シ

十六日議長(「チャータード」支配人)ニ於テ孔祥熙ヲ往訪シ會議ノ結果ヲ通報セル處孔ハ往電第九〇七號中央銀行書面ハ財政部ノ命ニ依ルモノナルカ銀行引渡ヲ Request スルモノニシテ command ニアラス又期限モ定メ居ラサルニ付之ニ對シ如何ナル態度ヲ執ルカハ外國銀行ノ自由ニシテ必

スシモ至急決定ヲ要セス「コンペンセーション」ニ付テモ
 (當初八種々文句ヲ言ヒ居タルモ)外國銀行側ニ「リーゾナ
 ブル」ナル提案アラハ考慮スヘシト述ヘタルカ但シ後刻中
 央銀行顧問「リンチ」ヨリ電話ニテ外國銀行ニ對スル「コ
 ンペンセーション」ハ幣制計畫全體ニ支障ヲ來ササルカ如
 キ方法ニテ之ヲ與フルコト不可能ナルニ付外國銀行ノ提案
 ハ最モ「リーゾナブル」ナルモノニアラサレハ考慮シ難シ
 ト申越セル趣ナリ
 冒頭往電ノ通り轉電セリ

621

昭和10年11月20日

在天津川越總領事より
 広田外務大臣宛(電報)

日本単独での中国財政監督権行使を条件とす
 る对中クレジット構想への我が方参加方につ

き意見具申

天津 11月20日前発

本省 11月20日前着

第三四六號(極秘)

一、⁽⁴⁾南京政府今次ノ幣制改革ニ關シ右改革カ我方ニ對シ支那

立ち居ルモノトモ見得ヘク斯ク觀察シ來レハ英國トシテ
 ハ表面ハ兎モ角内心ハ何トカシテ日本トノ間ニ妥協點ヲ
 見出スヘク焦慮シ居リ今後モ引續キ根強ク而モ巧妙ナル
 方法ヲ以テ我方ニ働キ掛ケ來ルモノト推測セラル

四、⁽²⁾續ツテ我方ノ立場及利害ヲ冷靜ニ大局ヨリ考察スルニ

(イ)現在我方ノ執リツツアル新幣制支援絶對排撃ノ態度ヲ
 固執スル結果英國トシテハ前項末段ノ努力ニ拘ラス愈
 日本トノ妥協到底見込無シト見極ムルニ至ラハ米佛ヲ
 誘ヒ或ハ蘇聯ヲモ對日牽制ニ利用シ飽迄モ南京ヲ支持
 シ日本ニ對抗ノ臍ヲ固ムルノ場面迄至ルコト無キヲ保
 セスヤ

(ロ)斯ル事態ニ立ち至ラハ現在既ニ相當急迫セル北支ノ情
 勢ニ一層拍車ヲ掛ケ遂ニハ帝國政府トシテ北支工作ノ
 擴大強化ニ邁進スルノ外策無キニ至ルヘク斯テ帝國ト
 シテハ支那ヲ舞臺トシテ未タ曾テ遭遇セルコト無キ
 由々數キ大事ニ直面スルノ已ム無キニ至ルニアラサル
 ヤヲ慎ル

(ハ)勿論帝國政府トシテハ前記ノ如キ萬一ノ場合處スヘキ
 充分ノ覺悟ヲ有シ居ラルルコトトハ信スルモ外交當局

側乃至英國側ヨリ何等ノ協議モ無ク事前通告スラモ殆ト
 無シニ行ハレタルノミナラス英國ノ支援ニ依ル本案ノ實
 行ハ結局ニ於テ歐米列強ニ依ル支那ノ財政的延イテハ政
 治的管理ヲ招來スヘキ惧アルヲ以テ帝國政府トシテハ絶
 對ニ之ヲ排撃セサルヲ得サル立場ニ至ルモノト思考セラ
 ルル處

二、本件ニ對スル南京側ノ立場ヲ考慮スルニ同政府トシテハ
 新幣制ノ實行ニ當リ内政上及外交上豫想外ノ困難ニ逢着
 シ居ルモ今更之ヲ撤回スルコトハ到底出來サルヘク結局
 何處迄モ英國ニ縋ツテ之カ續行ノ決意ヲ有スルモノト觀
 測セラレ

三、一方英國側ノ立場ヨリ之ヲ觀ルニ日本ノ借款不参加乃至
 積極的反對ニ拘ラス政府自身又ハ民間銀行ヲシテ新制度
 ヲ支持セシムルコトトナラハ結局英國トシテハ日本トノ
 正面的對立狀況ニ立至ルコトヲ覺悟セサルヲ得サルヘク
 左リトテ日本ノ反對ニ依リ南京支持ヲ中止セハ英國トシ
 テ支那ヨリ鼎ノ輕重ヲ問ハレ漸次支那ヨリ總退却ノ憂目
 ヲ見ルニ至ルヘク這ハ到底彼ノ忍ヒ得ル所ニアラス旁今
 更手ヲ引ク譯ニ行カス目下右スルカ左スルカ一大岐路ニ

トシテハ出來得ル限り斯ノ如キ事態ノ發生ヲ避ケ而モ
 局面ヲ我方ニ有利ニ轉廻スル様極力努力スヘキコト當
 然ノ責務ナリト思考ス

五、⁽³⁾然ラハ之ニ對スル具体的方策アリヤ否ヤヲ検討スルニ

(イ)英國ノ主張ハ支那ノ財政經濟ハ此ノ儘ニ放置センカ極
 端ナル混亂ニ陥ルヘク是非何トカ救済ノ必要アリ今回
 南京政府ノ採用セル幣制改革ハ一ノ有效ナル救済方法
 ト認メラル然シ外國ノ財的支援無シニハ其ノ永續性疑
 ハル依テ英國ハ自己ノ權益擁護ノ立場ヨリ南京ヲ支持
 セントスル右制度ノ實行ハ日本ニ執リテモ不利ナラサ
 ルヘキニ付之カ支援ニ日本ノ協力ヲ得度シト云フニア
 ルヘク

(ロ)一方日本ノ主張ノ重點ハ幣制改革案其ノモノノ是非論
 ヲリモ寧ク協同支援ノ結果カ對南京ノ財政監督ヨリ延
 イテ之ヲ國際管理ニ導ク惧アルニ付贊成出來スト云フ
 ニアリ

(ハ)然レ共右兩國間ノ主張ニ付何等妥協ヲ成立セシムルノ
 見込無シト斷定スルハ聊カ早計ニ失スルノ嫌アリ即チ
 日本ハ英國ノ主張スル支那財政救済論(我方ノ從來主

張セル支那ノ自力更生論トハ矛盾ノ點アルヘキモ此ノ點ハ辻褄ヲ合セ得ヘシニ同意シテ倫敦ニ於ケル「クレヂット」設定ニ参加スルコトトシ一方南京側ヲシテ眞面目ニ幣制改革ヲ實行セシムル爲メ財政部及中央準備銀行ニ對シテ加フヘキ嚴重ナル監督ハ日本ノミカ全責任ヲ以テ之ニ當ルコトトセハ英國側ノ面子モ立チ又日本ノ共同管理反對ノ主張モ容レララルコトトナルニアラサルヤニ思考セララル

(4) 前項所載ノ案ノ實現ニハ幾多ノ困難アルヘク

(イ) 英國側ニ於テモ日本ノミニ依ル財政監督ハ内心希望セサル所ナルハ明瞭ナルモ之ヲ日本トノ正面交渉ノ場合ニ比較スレハ英國トシテモ本案ニ相當ノ考慮ヲ拂フ餘地アルヘク日本側最後ノ切札トシテ英國カ支那ニ於テ有スル經濟的利益ハ日本ニ於テ保障スヘキ約束ヲ爲サハ英國ノ同意ヲ取付ケ得ル相當ノ見込アルモノト判斷セラレ

(ロ) 又支那側トシテモ財政部乃至中央準備銀行ニ日本ヲシテ監督權ヲ行使セシムルコトニ多大ノ難色アルヘキハ勿論ナルモ先ツ日英間ニ本案ニ付協定ヲ遂ケタル後南

豫期セサリシ出來事ノ爲早目ニ到來スルト云フコトニ外ナラス就テハ此ノ際帝國政府ニ於テ本案ヲ慎重御檢討ノ上至急實行ヲ考慮セラルル様切望ニ堪ヘス
北支ノ情勢ノ急激ナル進展ニ依リ我方カ拔差シナラヌ破目ニ陥ルヘキ危惧ニ付テハ本官トシテモ絶エス苦慮シ居ル所ニシテ斯ル重大ナル時局ノ渦中ニアル現地出先ノ立場ヨリ見タル全面ニ對スル如上卑見御參考迄ニ開陳ス支、北平、南京へ轉電セリ

622 昭和10年11月21日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

幣制改革に関する有吉大使と蔣介石との會談
内容について

南京 11月21日後発
本省 11月21日後着

第一二九二號
有吉大使ヨリ

二十日蔣介石ト會見ノ際銀國有令ノ實施及英國側ヨリノ借款說ニ對スル日本側ノ受ケタル悪感、疑惑等ニ付本使ヨリ

京ニ迫ラハ窮極ニ於テ南京ノ同意ヲ得ル可能性アリト見ルモ大ナル過誤無カルヘク

(イ) 最後ニ我方ノ内部的困難ノ有無ヲ見ルニ目下ノ財政状態ニテハ倫敦「クレヂット」参加ニ要スル資金ノ捻出ヲ先ツ考慮セサルヲ得サルヘキモ本案成功ノ曉南京ノ財政ヲ嚴重ニ監督スルニ於テハ左シテ大ナル資金ノ負擔ヲ要セスシテ濟ムノ見込アルヘク況ヤ四ノ(イ)所載ノ如キ帝國ノ死活ヲ制スル危機ヲ避クルヲ得ヘキニ想到セハ財政上相當ノ分擔ヲ爲スコトハ寧ろ輕キ負擔ナルヤニ感セラレ又軍部トシテモ本案ニ依リ財政監督ヨリ轉シテ結局漸次支那全体ニ對スル政治上ノ「コントロール」ニ迄及ビ得ヘシトノ大局論ヲ以テセハ其ノ間種々ノ困難ハアルヘキモ結局同意ヲ取付ケ得ル見込アルヤニ思料セララル

(5) 本案ニシテ幸ニ成立スルト假定シ財政部及中銀ニ對スル監督ヲ絶エス眞面目ニ實行スルコトナラハ場合ニ依リ前項(イ)所期ノ如ク全面的ニ支那ノ政治上ノ「コントロール」ヲ爲スノ重大ナル責任ヲ負フノ覺悟ナカルヘカラサルモ右ハ結局帝國カ何日カハ到達セサルヲ得サル事態カ

蔣ノ注意ヲ喚起シタルニ蔣ハ幣制問題ニ付テハ「リースロス」等英國側ノ意見ヲモ聽キタルハ事實ナルカ同時ニ蔣作賓ニ對スル高橋藏相ノ意見ヲモ參照シ實際上ノ必要ニ基キ之ヲ實行シタル次第ニシテ支那ノ現狀トシテ已ムヲ得サルニ出テタルモノナリ右實施期ニ付テハ英國ノ支那ニ對スル密接ナル經濟關係ニモ鑑ミ日本ニ通知スル以前ニ之ヲ通知セルカ如キコト絶對ニ無キ次第ナルニ付日本側ニ於テモ是非之ヲ援助セラレ度ク又借款ハ日本ノ同意無クシテ單獨借款ヲ爲スカ如キコト決シテ無シト述ヘ尙支那ハ切實ニ日本トノ經濟提携ヲ希望シ居リ假令他國ノ援助アルモ日本トノ提携無クハ何等效果無ク自力更生ヨリ外無シト考ヘ居ル次第ナリトテ繰返シ日本側ノ援助ヲ懇請セリ
支、北平、在支各總領事及香港、厦門へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

623 昭和10年11月23日 在天津川越總領事より 広田外務大臣宛(電報)

中国財政金融問題に関するリース・ロスと湯本大蔵省国庫課長との意見交換について

天津 11月23日前発
本省 11月23日後着

第三五三號

津島大藏次官へ湯本課長ヨリ

「二十二日「リースロス」來津其ノ希望ニ依リ面會シタル處先方ヨリ左記要旨ノ所見開陳アリ

(イ)支那今回ノ幣制改革ハ國民政府ニ於テ突然實行シタルモノニシテ余ノ干與セサリシ所ナリ此ノ點ニ付テハ誤解ナキ様説明願度シ

(ロ)日本側ニ於テハ一志二片半ハ高キニ失ストノ意見ナルモ在支英國銀行家中ニハ一志六片ニテモ可ナリトノ意見アリ

(ハ)余ハ支那通貨安定ノ爲ニ中央銀行組織ノ改善、一千萬磅ノ對支國際借款ヲ考慮シツツアルモノナルカ右借款ニ付テハ日本側ヨリモ政治的見地ト關係ナク純金融的見地ヨリ協力ヲ得ヘキコトヲ希望ス

(ニ)右借款ニ依ル外貨資金ハ中央銀行ニ賣却シ同行ヲシテ爲替資金トシテ有効ニ使用セシムルト共ニ其ノ買上金タル弗資金ハ今後國民政府ヲシテ行ハシムル財政改革

ケリ

三、「リ」ハ北支ニ於ケル狀況視察旁北平ニテ靜養シ來月四日頃上海ニ歸ル由

624 昭和10年11月23日 在中國有吉大使ヨリ
広田外務大臣宛(電報)

在中國本邦銀行が所有する銀の処分方法につ

き請訓

上海 11月23日後発
本省 11月23日夜着

第九九四號

往電第九二六號及貴電第二九四號後段ニ關シ

當地本邦銀行家トシテハ日々ノ所用銀行券ハ爲替ヲ賣リテ調達シ居ルモ此ノ儘所有銀ヲ何日迄トモ判ラスニ寢カシ置ク譯ニモ行カス殊ニ米國銀政策ノ變更ノ可能性無キニアラサルニ付早ク處分セサレハ意外ノ損害ヲ受クルコトトナル惧アリトテ當方ノ指示ヲ求メ居リ當方トシテモ如何ニシテ結局ニ於テ處分スルカヲ指示セサル限り引續キ冒頭貴電御指示ノ態度ヲ執ラシムルコト不可能ナル實情ナリ(例ハハ

即チ收支ノ均衡ヲ計ル爲ニ使用セシメントス

(ホ)國民政府財政改革ハ軍費ノ削減、公債ノ借換等ニ依リ十八箇月間ニ其ノ收支ノ均衡ヲ得セシメ得ル見込アリ
ニ、右ニ對シ當方ハ

(イ)ノ點ニ付テハ該改革ハ貴下ニ事前ノ相談ナク行ハレシナランモ該改革ノ骨子ハ既ニ貴下カ支那側ニ「アドヴアイス」サレタル貨幣改革計畫中ノ一部分ニアラスヤト質問セルニ「リ」ハ右ハ支那側カ豫テ考ヘ居リシコトナリトテ確答ヲ避ケタリ

(ロ)ノ點ニ付テハ支那ノ現狀ニ於テ此ノ際之ヲ確定スルコトハ困難ナルヘキモ切下當時ノ事情ニ於テハ已ムヲ得サリシモノト思考セラルルコト

(ハ)ニ付テハ財政ノ強化及國際貸借ノ改善ヲ爲スニアラサレハ實現困難ト認メラルル處支那ノ現狀ニ於テハ之カ實現上支障多カルヘク殊ニ右改善具體案ノ「ホール、ピクチュア」ヲ見サル限り専門的意見ヲ述フルコト困難ナルコト

(ニ)ノ後段ニ付テハ我國ニハ相當反對アルモノト思考スル旨ヲ述ヘ尙貴意ハ津島次官ニ傳達シ置クヘシト申述ヘ置

「コンペンセーション」ヲ得レハ結局引渡シ差支無キヤ否ヤヲ決セサル限り今後外國銀行側ト話合ヲ續クルコトモ不可能ナリ)就テハ結局本件ハ如何ニ處分スヘキヤノ大體ノ御方針御回電相成度ク萬一差當リ決定不可能ナルニ於テハ各銀行本店ヨリ支店ニ對シ更メテ當分現狀維持方訓令セシメラルル様御手配ヲ請フ

尙當方トシテハ結局ハ左記(イ)乃至(ホ)ノ何レカニ依ル外無シト存セラル

(イ)往電第九五七號ニ英國側ノ如キ條件ヲ附シテ一弗對一弗ニテ引渡スコト(本邦銀行カ至急且ツ穩當ニ處置セントセハ之ヨリ外無キモ我方カスル態度ニ出ツレハ米國モ追隨シ結局外國銀行全部一弗對一弗ニテ引渡スコトトナルヘシ)

(ロ)何等カノ「コンペンセーション」ヲ得テ引渡スコト(往電第九七七號ヨリスレハ多少ハ可能性無キニアラサルモ倫敦銀塊相場ヨリ改革前ノ平衝稅^{平衝稅}、輸出稅及諸掛ヲ引キタル價格ニテ買取ラシムルカ如キ案ハ支那側ヨリ夫レナラハ引渡ヲ求メストノ態度ニ出テ來リ目的達成困難ナルヘク且ツ何レノ途相當長期ニ亘リ所有銀ヲ握リテ支那側

南京 本省 11月25日夜着

第一三〇三號

往電第一二二六號ニ關シ

二十五日「クローゼル」ハ本官ニ對シ實ハ六六日本國政府ヨリ幣制新制度ノ背景トシテ何等カ話合モアルヘキヤニ思ハルルニ付英國側ニ對シ「リースロス」ノ調査ノ結果ヲ尋ヌヘキ旨電訓ニ接シ同日「カドガン」ニ質セル處「カ」ハ簡單ニ「リ」ノ研究ハ尙中途ニテ何等結論ニ達シ居ラス唯結局ハ國際借款ヲ起スノ外ナカルヘキカ之カ爲ニハ國內豫算ノ均衡等ニ付今少シク研究ノ上トシ度シト答ヘタルノミナルカ一方上海ニ於テハ印度支那銀行「シヤルバント」ニ對シ英國銀行家ヨリ借款話出テタル模様ナルモ是亦漠然タル形式ニテ自然右ノ報告ニ對シ本國政府ヨリモ何等回答ナキ處打明ケテ言ヘハ「ルノルシー」ノ渡來ヲ中止セルモ日米共派遣セサル場合ニ佛國ヨリ餘リニ英國側ニ調子ヲ合ハセルコトハ面白カラスト熟慮シタル結果ナレハ是等ノ點ヲ綜合セハ日本カ快カラサル援助ニハ乘氣トナラサルヘシト語

ト對峙スル覺悟ヲ要スヘシ)

(ハ)密輸業者ニ賣渡スコト(多少ノ銀弗ナラハ兎ニ角多額ノ銀條ノ内密處分ハ頗ル困難ナルヘク必然支那側ニ漏レ支那側及稅關側トノ間ニ相當ノ紛糾ヲ免レサルヘシ)

(ニ)日本政府ニテ買上ケタル形ヲ取り政府所有銀トシテ無稅輸出方ヲ交渉シ又ハ實力ヲ以テ輸出ヲ爲スコト(當初海軍ノ一部ニ實力積出ヲ主張セルモノアリシ爲銀行家ニハ之ヲ主張スルモノ鮮カラサルモ本邦國內法上ヨリモ對支關係上ヨリモ成否疑問ナルハ申ス迄モナシ)

(ホ)一應天津又ハ青島邊へ輸出シテ第二段ノ措置ヲ考フルコト(銀ノ國內輸送ニハ護照ヲ要シ護照ナキ限り海關ハ積出ヲ許サス改革前鮮銀ニテ青島宛少額ノ現送ヲ爲シタル際スラ中央銀行名義ニテ漸ク護照ヲ得而モ海關ニテ種々ノ「ツラブル」アリタル由)

在支各總領事、北平、厦門へ轉電セリ

625 昭和10年11月25日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

英国の对中国財政援助活動に対する仏國側の

リ居タルニ付本官ヨリ我方立場ヲ更ニ詳細説示シ置キタリ支、北平へ轉電セリ

626 昭和10年11月25日 在天津川越總領事より 広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革に関する經濟評論家高橋龜吉の

意見について

天津 11月25日後発 本省 11月26日前着

第三五八號

(1)上海ニ於テ大使館、邦人當業者、宋子文、張公權等ニ接觸シ具ニ新幣制問題ヲ考察シ來リ目下當地ニ滞在シ居ル高橋龜吉氏カ新幣制ニ關シ語ル所大略左ノ通り御參考迄

今回ノ幣制改革ハ財政難打開ノ爲ナルヘキカ其ノ成否ヲ決スヘキ要件タル借款及新通貨ノ信認基礎タル發行法ノ完成ヲ待タス又全國金融ノ中心市場タル上海ノ實權ヲ握レル外國銀行、商社筋ノ協力ヲモ求メスシテ性急無準備ニ斷行サレタル關係上先ツ不安視セサルヲ得サルノミナラス案自体ヲ考察スルニ左ノ缺陷アリ

一、現銀ノ中央集中ハ達成困難ナリ
二、政治ノ支配ヨリ脱シ經濟社會ニ對シ恰モ治外法權ノ如キ效用ヲ發揮シ居リタル現銀制度ノ廢止ハ經濟界ヲ不安ニスルコト大ナリ
三、生産力衰滅セル支那ニアリテハ輸出ヲ促進シ貿易ヲ順調化スル望無シ
四、此ノ程度ノ低爲替ニテハ高關稅ニ依ル工業品ノ輸出増進ヲ期待シ得ス

(2)尤モ中央銀行手持ノ外資及銀ニ依リ爲替ハ二、三箇月乃至半年ハ支へ得ヘケンモ左記事情ニ依リ結局崩壞ヲ免レサルヤニ思考セラル
一、經濟界ニ於テハ資金ノ防禦保全ノ爲爲替ノ利用(將來ノ入金ヲ先物ニ繋キ又ハ先物ヲ買フ)盛トナルヘク從テ爲替投機激化スヘシ而モ右爲替ノ利用ハ結局資金ノ逃避トナル
二、爲替ハ騰貴スル筈ナク唯下落ノ危險アルノミナレハ爲替投機ハ苟モ通貨不安化スルニ於テハ激化スルノミナリ
三、對英借款成立スルトシ之ニ更ニ手持資金ヲ合シ彼是三億元程度ノ外貨資金ヲ得ルトスルモ右ニテハ爲替ノ大崩落

ヲ阻止スルコト至難ナリ

四、唯一ノ爲替崩落阻止策タル爲替管理ハ治外法權ノ存立スル限り實行困難ナリ

五、現銀交易停止ノ結果奥地物資ノ出廻リ遅延長期ニ亘ラハ都市ハ物資缺乏、物價騰貴、社會不安特ニ貿易逆調等ヲ招來シ爲替ハ危機ニ瀕スヘシ

六、宋子文ハ緊縮方針ヲ堅持スト云フモ此ノ難關ハ「インフレ」政策ニ依リ切抜ケル外ナク茲ニ爲替ハ危険化スヘシ次ニ幣制改革ニ反對セル帝國ハ或ハ支那側ヨリ代案ヲ求めラルル場合ナシトセサル處ニ應スル場合ノ自分(高橋)ノ私案骨子左ノ通

一、創立當時ノ英蘭銀行ノ如ク政府カ獨立乃至之ト對立セル銀行ヲ設クルコト

二、右ノ中央銀行ハ支那各銀行ノ出資ニ依リ組織シ米國ノ聯邦準備銀行ノ如キモノトスルコト

三、役員ノ任免ハ出資銀行之ヲ行ヒ政府ノ干渉ヲ排スルコト四、準備發行制トシ準備率ハ六割トシ金、銀、外國爲替ヲ以テ之ニ當ツ發行券ハ兌換ヲ爲ササルコトトス

五、政府ニ對スル貸上及公債ノ直接引受ヲ爲ササルコト

ハ觸レサル様指示シ置ケルカ二十三日午前英國總領事館ニ於ケル右會談要旨左ノ通
先ツ「リ」ヨリ北支ニ於ケル支那商人ハ新幣制ヲ如何ニ觀居ルヤ又爲替安定ヲ喜ヒ居ルヤト問ヘルニ付堀江ヨリ華人トノ直接取引少キニ付知リ難キモ銀カ南方ニ移送サルコトハ反對ナリト聞キ及ヘリ又爲替ハ上海宛現物ハ「パー」ニテ賣買セラレ居ルモ先物ハ賣買ナキニ見ルモ先行不安ト見ルヘキニアラスヤ尙對英一志ニ片半ニテハ高キニ過クルト云フ意見モ本邦銀行家中ニアリト答ヘ堀江ヨリ現銀一弗ヲ紙幣一弗ニテ集メ得ルヤト問ヘルニ對シ「リ」ハ新制度施行後數日間ニ上海ニ於テ三、四百萬圓モ現銀ヲ集メ得タリト得意氣ニ述ヘ堀江ヨリ右ハ在銀總額ニ比スレハ僅少ナルヘシト答ヘタルカ堀江ノ印象ニ依レハ「パー」ニテ買上ハ困難ト思ヒ居ルヤニ見受ケタル趣ナリ

次ニ堀江ヨリ今回ノ中央準備銀行制度ハ重要ト認メララルル處如何ニ進行シツツアリアヤヲ問ヘルニ對シ「リ」ハ右ハ隨行ノ「ロジャー」ニ於テ起案中ナル旨ヲ答ヘ堀江ヨリ政府豫算均衡ニ付具体案アリアヤト問ヘルニ對シ「リ」ハ軍費

六、政府ハ爲替ノ安定ヲ期スル爲極力國際收支ノ均衡ヲ圖リ右ニ必要ナル各般ノ國內施設(爲替操作等)ノ金融施設ハ含マスヲ勵行スルコト

七、各國ハ財政的及精神的支援ヲ與フルコト

八、外國顧問ヲ招聘スルコト
尙右中央銀行ハ中央準備公庫ト命名シ其ノ總裁ニハ政治ト交渉ナキ公正ナル人物ヲ選任スルコト必要ナリ張公權ノ如キハ最適任者ナルヘシ云々
支、北平、南京へ轉電セリ

627 昭和10年11月26日 在天津川越總領事より 広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスと本邦銀行家との中国幣制改革

に関する會談内容について

天津 発

第三六〇號

本省 11月26日 前着

「リースロス」ヨリ當地正金堀江ニ對シ面會ヲ求め來リタル趣ヲ以テ堀江ヨリ本官ノ内意ヲ求め來リタルニ付政治ニ

節約及内外債整理ニ努力スル考ナリト答ヘ尙「リ」ヨリ北支銀密輸出禁止ノ眞否ヲ問ヘルニ付堀江ヨリ總領事ヨリハ聞カサルモ噂ハ聞ケリト答ヘタル處「リ」ハ自分ハ「レアイアブル、ソース」(湯本カ?)ヨリ聞ケリト答ヘタル趣ナリ

右會談ヲ通シテ堀江ノ得タル印象ニ依レハ「リ」ノ聞カントスル所ハ技術問題ヨリモ寧ロ政治問題ニアリ北支旅行モ主トシテ政情視察ヲ目的トセルヤニ看取セラレ「リ」ハ北支ニ獨立ノ經濟權益ノ出來ルコトヲ頻リニ心配シ居リタル趣ナリ)又「リ」ハ今回ノ幣制ヲ我方ノ意嚮如何ニ拘ラス飽迄斷行スヘキ成案ト決意トヲ有シ居ルモノト認メラレタル趣ナリ(往電第三五三號會談ノ際湯本ノ得タル印象ニ依レハ「リ」ハ頻リニ日本側ノ了解ヲ得ント焦リツツアルヤニ見受ケラレタル趣ナリ)

支、南京、北平へ轉電セリ

628 昭和10年11月28日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

幣制改革に対する日本政府の協力を孔祥熙要

南京 11月28日後発
本省 11月28日夜着

第一三二〇號

往電第一三一九號會談ノ際孔ハ過去ニ於テ本官數回借款話迄申出テ實業團ノ派遣、日本財務當局ニ對スル特使ノ簡派等手ヲ盡シテ日本側ノ了解ヲ得タル結果自分限りノ新幣制ヲ布キタル處幸ヒ結果良好ニシテ現況ヲ打明ケ申セハ五萬元ノ紙幣ニ對シ三億萬元ノ銀貨ヲ保有シ居ル處右銀ハ「オンス」二十九志トナリタル爲一弗銀貨ハ二志トナリ今直ニ全部兌換スルコトモ出來得ル程ノ現狀ナレハ「リースロス」ノ斡旋ハアルヘキモ借款等如何ナル形ニ於テモ要セサル次第ナルニ日本側ハ如何ナル譯カ百万反對シ居ル處右ハ結局日本ヲ最不利ナラシムル譯合ナレハ北支問題モ左ルコト乍ラ新幣制ニ對シ「モラーリー」ニモ援助ヲ與ヘラル様政府ニ傳達アリ度シト申出テタルニ付、
本官ヨリ日本ハ反對モ贊成モシ居ラス唯事實ハ今説明ノ所ト大イニ異リ例ヘハ現銀ハ見積程モ無ク一方在外正貨モ無キニ豫算ノ均衡ヲ保ツ爲ニハ紙幣發行額激増スヘク自然ノ

上海 11月29日後発
本省 11月29日後着

第一〇二四號

往電第九九三號ニ關シ

外國銀行代表者(矢吹ヲ含ム)二十八日財政部長ヲ往訪シ外國銀行側ニハ

(イ)差當リ引渡ヲ拒絶スヘシトノ意見

(ロ)「フリー、シツプメント」ヲ要求スヘシトノ説

(ハ)「モーラル、サポート」當時ノ輸出税、平衡税等ヲ差引キタル實價ニテ買取ヲ求ムヘシトノ説

アリ(何銀行カ如何ナル意見ヲ有スルカ等ハ明カニセス抽象的ニ説明セル由)右三意見ノ一致ヲ見ルニ至ラサルカ貴部長ニ於テ何等カ對案ヲ有セラルナラハ承り度シト述ヘタルニ孔ハ何レニシテモ支那銀行ト差別的待遇ヲ與フルコトトナルノミナラス法律問題トシテモ異議アルニ付追テ研究ノ上回答スヘシト答ヘタル趣ナリ

尙雜談中何故時價ニテ銀ヲ買上クルコトトセサリシヤトノ質問ニ對シ孔ハ米國銀政策如何ニ依リ何時値下リスルカ判ラサル今日時價ニテハ買ヒ得サルヘシト言ヒ居タル由

四 中国幣制改革

勢トシテ何等カノ援助無キ限り崩壊ハ必定ナリト認メラレ此ノ點ヨリ憂慮シ居ル譯ナリ又何モ外國側ト特ニ關係アリシトテ猜疑ノ結果反對シ居ルモノニアラス恐ラク本件ニ付テモ今少シク實情ヲ打明ケ眞劍ニ日本トノ握手ヲ期セサル限り成功覺束無カルヘシト述ヘタルニ孔ハ此ノ點ニハ反駁モ加ヘス本國政府ニ兎モ角傳達ノ上不日隔意無ク話合ヲ遂ケ度シト繰返シ居タルカ本官ノ印象ニ依レハ王正廷ヲシテ日本ノ意嚮ヲ探ラシメタル上何トカ日本側ト直接話サントスル前提ナルヤニモ感セラレタリ尙其ノ際北方モ依然銀ノ密輸アル處上海ニ於テハ每船二、三十萬元公然密輸行ハレ居リ右ニ付テハ何レ大使ニモ御話致度シト考ヘ居ルモ先ツ此ノ邊ヨリ援助ヲ得度シト述ヘ居タリ

支、北平、天津へ轉電セリ

629 昭和10年11月29日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

銀引渡し問題に関する解決案の提示を外國銀行組合が孔祥熙へ要望について

在支各總領事、北平、厦門へ轉電セリ

630 昭和10年11月29日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスの借款計画に対する我が方の参加を孔祥熙要望について

上海 11月29日後発
本省 11月29日夜着

第一〇三〇號

二十九日孔祥熙他用ニテ來訪會談ノ序ニ孔ハ「リースロス」提案ノ借款問題ニ對スル日本側ノ意嚮如何ト述ヘタルニ付本使ハ非公式意見ナルモ日本トシテハ之ニ反對ナル旨答ヘタルニ孔ハ例ニ依リ何トカ好意的考慮ヲ願ヒ度ク又日本カ他國ヨリノ借款ニ反對ナラハ自ら借款ヲ供與スルコトヲ考量セラレ間數クヤ等ト述ヘ居タリ

南京、北平、天津ニ轉電セリ

631 昭和10年12月3日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国側が在外資金調達を目的とする準備銀の一部売却に關し我が方の賛否を照会について

上海 12月3日後発
本省 12月3日夜着

第一〇五〇號(至急)

一、張公權本三日午前岩井商務書記官ノ來訪ヲ求メ孔祥熙ノ命ニ依ル趣ヲ以テ左ノ通り申入レタリ

(一)今日迄英國等ノ間ニ借款ノ成立シ居ラサルコトハ累次日本側ニ言明シタル通ニシテ此ノ點ニ關シ日本側ニ尙疑惑ヲ有セラルルニ於テハ如何様ニモ御説明申上クヘキカ借款ナクシテ新幣制ヲ持續スルニハ銀ヲ賣却シテ在外資金ヲ求メサルヘカラサル處右銀賣却ニ對シ日本側ニ反對ヲ有セラルルヤ否ヤ承ル様命セラレタリ(右銀ノ賣却ハ差當リ一千萬元程度ノ所存ニシテ六割ノ準備ハ維持シ夫レ以外ノ餘分殊ニ今後輿地ヨリ集ムヘキ銀ノミヲ賣却スルモノナル由)

(二)尙全然自分ノ私見ナルカ自分(張)ハ日本カ銀賣却ニハ主義上反對セラレストセハ日本ノ銀行ヲ通シテ銀ヲ賣却シテ圓ニテ日本ニ在外資金ヲ持ツコト然ルヘシト考

在支各總領事、香港、北平、厦門へ轉電セリ

632 昭和10年12月4日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀売却問題に關する我が方疑問への中国側説明振りについて

上海 12月4日後発
本省 12月4日夜着

第一〇五六號
往電第一〇五〇號ニ關シ

一、岩井ヲシテ三日張公權ニ冒頭往電ニノ通り回答セシメタル處張ハ孔ノ意嚮ヲ質シタル上ニテ右二ノ(二)及(三)ニ回答スヘキ旨ヲ約シタルカ本四日更ニ張ヨリ岩井ニ對シ左ノ通り回答アリ

(一)幣制改革當時ヨリ在外資金取得ノ爲銀賣却ノ必要ヲ認メ居タル次第ナルカ最近準備委員會ヨリモ其ノ必要ナル旨請願アリタルニ付賣却ヲ決意シタル次第第二シテ近ク日、英、米、佛各國銀行側ニ「アプローチ」スル筈ナルモ豫メ大使ニ御知セシタル譯ナリ本件ハ純然タル

へ居リ孔ニ之ヲ建言スルモ可ナリ

(2)張公權ヨリ孔ハ今夜赴寧ノ筈ニシテ右我方意嚮ヲ其ノ前ニ承知シ度キ趣ナリシヲ以テ本日午後岩井ヲシテ左記ノ通り回答セシムルコトトセリ

(一)本件ハ極メテ専門的ナル問題ニ付専門家ノ意見ヲ求メスシテハ何レトモ回答シ難シ

(二)但シ前回新幣制ニ付相談アリシ際モ事實ハ相談ニアラスシテ豫告ナリシカ今回ハ我方意嚮ノ如何ニ依リ賣却スルカ否カラ決定セントスルモノナリヤ否ヤ承知致度シ

(三)尙思付ナルカ支那カ銀ヲ世界市場へ賣却スル場合ニハ外國銀行ヨリモ其ノ所有銀ヲ輸出スルヲ當然トスルトノ要求アルヘク右ハ至極當然ノ要求ナルカ此ノ點ニ付テモ豫メ考ヘ置カルコト必要ナルヘシ

尙前記ノ(二)殊ニ圓ニテ在外資金ヲ持ツコトハ本邦トシテ迷惑ナルヘキニ付此ノ點ニハ何等「コムミツトメント」ヲ與ヘサル所存ナリ

三、更ニ張公權ト會談ノ結果追電スヘキモ至急御研究ノ上何分ノ儀至急御回電アリ度シ

「ビジネス、トランサクシヨン」ニ付日本側ヨリ政治的ノ反對ハ豫期シ居ラサル次第ナリ

(二)外國銀行側ニ於テ所有銀ニ付種々(往電第一〇二四號)ノ意見アル趣ナルカ支那銀行ニ對スル關係モアリ早急ニ決定シ難シ云々

(2)尙三日會談ノ際張ハ上海ニ於テ封印ヲ了シタル在銀高及各銀行發行高ニ關スル詳細ハ本月十五日ニアラサレハ判明セス其ノ上ニテ準備率ヲ定メ(張ハ從來ノ六割ノ準備率ハ改革ニ依リ無効トナリ居リ今後新タニ準備率及準備内容ヲ定ムルヤノ口吻ナリシ由)過剩銀ヲ賣却スルコトトナルヘク其ノ際ハ中央信託局ヨリ賣却スルコトトナルヘキ旨内話セル由

三、尙又四日張ハ私見トシテ右二ノ(二)ニ關シ日本ノ銀行モ資金ヲ必要トスヘキニ付其ノ所有銀ヲ一應中央銀行ニ渡シテ之ヲ封印シタル上同額(一弗對一弗ノ意)ノ銀行券ヲ受取り銀ノ結局ノ處分方法ハ兩國政府間ノ外交交渉ニ待ツカ如キ過渡的解決方法ヲ執ルコト然ルヘキヤニ考フト述ヘタルカ右ハ豫テ三菱銀行吉田カ同様ノ考(但シ日本銀行内ニ置キテ封印ス)ヲ有シ居リ三日吉田カ張ニ會見ノ

際話シタルニアラスヤトモ考ヘラレ取調中ナリ(右ノ如キ考案ハ今後ノ交渉ヲ不利ナラシムヘキニ付今ヨリ之ヲ持出スハ面白カラスト豫テ關係方面ニ申聞ケ置キタルモノナリ尤モ右ハ日本ノ銀行側カ所有銀ノ資金化ニ焦リ來レル一證左ナルヘシ)

北平、在支各總領事、香港、厦門へ轉電セリ

昭和10年12月5日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

銀引渡し問題の解決案を孔祥熙が外国銀行組合へ回答について

別電 十二月五日發在中國有吉大使より広田外務大臣宛第一〇六二號
右回答

上海 12月5日後發
本省 12月5日夜着

第一〇六一號
往電第一〇五六號ニ關シ

財政部長ヨリ外國銀行協會ニ對シ三日附ヲ以テ別電第一〇

六二號ノ通り回答アリ右各銀行ニ四日同章ヲ以テ通知アリタリ
本電別電ト共ニ在支各總領事、北平、厦門へ轉電セリ

(別電)

上海 12月5日後發
本省 12月5日後着

第一〇六一號

With reference to your call November 28th I find myself unable to make any special concession to members of your Association.

However, I take this opportunity of explaining to members of your Association that privilege of obtaining Central Bank Notes by duly turning over 60% in silver and 40% in acceptable securities is available to them as well as to Chinese Banks. It occurs to me that members of your Association might wish to avail themselves of this privilege, which in effect gives them free use for two years of legal tender notes equivalent to 66 2/3% of legal value of silver

deposited.

昭和10年12月(6)日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスは中国幣制改革に關与してない旨ロイター極東支配人内話について

上海 發
本省 12月6日夜着

第一〇六七號

五日路透極東支配人「チャンセラ」歸任挨拶ノ爲本使ヲ來訪セル際「リースロス」ハ當地滞在中偶々幣制改革行ハレタル爲何等之ニ干與シ居ルカ如キ誤解ヲ受ケタルモノニハ全く干與シ居ラス「リ」ノ使命ハ寧ロ鐵道關係債務ノ整理ニアリ借款說一部ニ傳ヘラレ居ル處借款ハ成立シ居ラス英國ハ日本トハ(別ニ)單獨ニテ支那ニ對シ借款ヲ與フル意思ヲ毫モ有セス又借款ヲ與ヘンカ爲ニハ先ツ鐵道關係債務ヲ整理スルコト必要ニシテ「リ」ハ來支以來債權所有者代表香港上海支配人「ヘンチマン」、「ジャーデン」、マジソン」支配人「ケージーイク」ト共ニ銳意之カ研究中ナリト述

へ本使ヨリ「リ」モ來支セル以上何等カ爲ササレハ面目上歸國出來サルヘシト反問シタルニ對シ「チャンセラ」ハ債務整理ノ問題サハ片付ケハ面目立ツヘシト答ヘタリ右ハ「リ」ノ今日ノ立場ヲ繕フ爲ノ宣傳モ含マレ居ルヘキモ(天津發閣下宛電報第三六〇號參照)往電第七五一號「パブロフスキー」ノ話及往電第一〇三五號「リ」ノ話等ニ見テ或程度迄事實ナリトモ存セラレ更ニ確ムヘキモ不取敢北平、天津、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

昭和10年12月6日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

外国銀行組合は銀引渡し問題に關する孔祥熙の解決案を不服とし各行独自対応を決定について

上海 12月6日夜發
本省 12月6日夜着

第一〇七一號

往電第一〇六一號ニ關シ
五日銀行協會幹事會ニ於テ右往電ニ付討議行ハレタルカ孔祥熙來翰後段ニ付テハ何レノ銀行モ之ヲ問題トスルモノナ

ク右ハ支那側トシテハ或ハ多少ノ讓歩ナルヤモ知レサルモ之レ以上讓歩スル意思ナキヤニ認メラルルヲ以テ之レ以上孔ト交渉スルモ益ナカルヘク協會トシテハ交渉ヲ打切り各銀行夫々獨自ノ立場ニテ交渉スルコトトシ其ノ旨孔ニ通告スルコトトナレル趣ナリ
北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

636 昭和10年12月6日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

銀国有令發布後における銀の動向および中国金融状況について

上海 12月6日夜發
本省 12月6日夜發

第一〇七二號

幣制改革後ノ事態ニ付御參考トナルヘキ點左ノ通

一、改革以來中央銀行ノ集メ得タル銀ハ左迄ノ金額ニアラス
一般二五、六百萬元ヲ出テサルモノト認メラレ居レリ
(天津發貴大臣宛電報第三二六〇號御參照)中央銀行席。德懋。ハ館員ニ對シ五百萬元位ナリト内話シ居タリ

ハ疑問ナリ)此ノ點カ前記三、支那銀行ノ所有銀引渡ノ遲レ居ル一因ナルハ想像ニ難カラス

三、支那側ノ有スル外貨ハ一千萬磅ニ達スヘシト云フ報(「カーン」)アルモ前記席德懋ノ談ニ依レハ約八百萬磅ニシテ其ノ内約五百萬磅ハ乘替へ(外國銀行其ノ他カ資金ノ必要ヨリ期近物ヲ賣リ先物ヲ買ヒ居ル爲中央銀行等ノ手ニ一時ニ入りタル外貨)ニシテ三百萬磅ハ肩替リ(投機者カ改革前投機ノ目的ニテ外貨ヲ買ヒ居タルヲ改革後弗ノ下落モノ一服ナリト見テ弗ヲ買替ヘシタル爲中央銀行等ノ手ニ決定的ニ入りタル外貨)其ノ他ナル由ナリ右ノ三百萬磅ノ一部ハ圓ニテ日本ニ持チ居ルモノアリ中央銀行ノミニテ約五百萬圓ヲ有スルモ數日來其ノ相當部分ヲ磅ニ替へ居ルカ如シト云フ

六、改革以來銀行券ハ相當増發セラレ居リ(三銀行ノ分ノミ銀行公報ニ發表セラル其ノ他ノ銀行ハ新タニ發行シ得サルコトトナリタル爲カ發表セラレス)十一月二十三、四日現在發行高中央一億四千五百萬、中國一億四千七百萬、交通六千九百萬ニシテ十月末ニ比シ夫々千三百萬、二千八百萬、六百萬ノ増加ナリ前記席ハ最近ニハ中央銀行ノ

三、各地ヨリノ情報ニ依ルモ現銀ヲ上海ニ送付セルモノ殆ト無キカ如シ(陸軍側ニ四川ヨリ四百餘萬元ヲ送付シ來レリトノ情報アルモ眞否疑問ナリ福建ヨリ多少ノ現送アリタルハ十一月二十三日附厦門發貴大臣宛公信第四九〇號ニ徴スルモ事實ナルヘク林知淵モ最近海軍武官ニ福建省ノミニ正直ニ銀ヲ現送セル爲市場ヲ不安ナラシメ省民ノ非難ヲ招キタル旨内話シ居タル由)

三、上海ニ於テモ支那銀行ノ銀モ封印シタル儘トナリ居リ正確ナル數字スラ未タ出來居ラサルカ如シ(往電第一〇五六號ノ二參照)外國銀行ハ英國銀行スラ未タ所有銀ヲ引渡シタルモノナキハ勿論ナリ

四、三銀行以外ノ支那銀行ハ六ノ銀ヲ以テ十ノ銀行券ヲ發行シ居リ今六ノ銀ヲ六ノ法貨ト交換シテハ困ル立場ニ立ツヘク先般來六ノ銀ト四ノ公債トヲ以テ十ノ法貨ト替フルコトヲ財政部ヨリ提議セリトカ之ニ對シ銀行側ハ六ノ銀ヲ渡シテ六ノ法貨ヲ得ル外四ノ「オーバードラフト」ヲ認メラレ度キ旨交渉中ナリトカノ聞込アリシカ往電第一〇六一號ニ依ルモ支那銀行トノ間ニ右様ノ交渉アリタルハ事實ナルカ如ク(但シ右交渉力完全ニ妥結セリヤ否ヤ

ミニテ一億五千萬元ニ達セリト言ヒ張公權モ往電第一〇五六號會談ノ際若井ニ對シ近來ハ政府ノ要求アラハドン銀行券ヲ渡シ居リ政費ノ調達モ樂ニナレリト言ヒ居タル由

七、右ニ對スル現銀準備ハ十一月二十三、四日現在中央九千萬、中國九千萬、交通四千一百萬ト發表セラレ居リ六割ヲ保チ居ルモ六割準備ノ行令カ改革後モ有效ナルモノナリヤ否ヤハ支那銀行家中ニモ一致セル意見無シ但シ本六日張公權ハ矢吹ニ對シテモ往電第一〇五六號ノ二ノ通り右準備率ハ「キャンセル」セラレタルモノナリト語りタル由

八、尙最近中央銀行ハ爲替ノ乘替額ヲ十六分ノ一志ヨリ三十二分ノ三三(米貨ハ八分ノ一仙ヨリ十六分ノ三三)引上ケタル處右ニ付テハ却テ外貨資金ノ取得ヲ困難ナラシムル結果トナルヘシトカ銀行券ノ印刷カ間ニ合ハサル爲ナリトカ種々ノ説アルモ乘替ヲ困難ナラシメテ投機者ノ買持ノ外貨ヲ吐出サセントスル魂膽ナルカ如シ

北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

昭和10年12月7日 在中国有吉大使より
 広田外務大臣宛(電報)

準備銀売却問題および外国銀行所有銀の処分
 問題に関する張公権と横浜正金銀行上海支店
 長との会談内容について

上海 12月7日夜発
 本省 12月7日夜着

第一〇七四號
 往電第一〇五六號ニ關シ

五日矢吹求ニ依リ張公権ニ會見セル處

(一)張ハ自分トシテハ外國銀行所有銀ノ問題モ解決セサル今日又銀ヲ積出スコトハ民心ニモ多大ノ不安ヲ與フヘキニ付右ニ贊成スルヲ得サルカ孔祥熙ノ命ニ依リ行動セル次第ナル旨ヲ前提シテ冒頭往電岩井書記官ト折衝ノ經緯ヲ内話シ矢吹ノ意見ヲ求メタルニ付矢吹ハ銀積出ハ此ノ際人心ニ不安ヲ與フルニ過キサレヘク支那側ノ爲ニ取ラサル所ナル旨ヲ答ヘ尙「ビジネス」トシテ銀賣却ヲ正金ニ依頼スル場合之ヲ受諾セラルヘキヤトノ質問ニ對シテモ輕ク「ビジネス」トシテモ自分ノ不可ナリト信スル所ヲ

ヘシト答ヘ置キタル由

(三)⁽³⁾矢吹ヨリ貴下ハ嘗テ英米銀行ハ直ニ引渡ニ應スルヤニ言ハレタルモ(往電第九〇七號)ニ果シテ引渡ニ應シタルモノアリヤト質問セルニ未タ一行モナキ旨答ヘタル由

(四)尙張ハ自分ハ元々中國銀行ヲ罷メ爾際實業部長ヲ「プロポーズ」セラレタルモ全然身ヲ引キ度キ考ニテ之ヲ辭シ唯自分カ全然身ヲ引キテハ汪、孔等ノ關係モ惡化スヘキニ付中央銀行副總裁ヲ受諾シタル迄ニ爾來中央銀行ノ事務ハ執ラス中央信託局(南京發本使宛電報第一〇九六號及冒頭往電ノ末段參照)ノ事務ノミニ干與シ居ルニ過キス孔ハ全然財政金融ノ知識ナク周圍ノ者ノ意見ニ裁決ヲモ下シ得サル程ニテ孔カ現在ノ無謀ナル政策ヲ續クルナラハ自分ハ手ヲ引ク外ナシト考ヘ居レリ等話シ居タル由(本項外部ニ漏レサル様致度シ)

南京、北平、天津へ轉電セリ

昭和10年12月10日 在中国有吉大使より
 広田外務大臣宛(電報)

中国幣制改革への英国側支援計画に関する湯

引受クルハ躊躇セサルヲ得サルヘシト應酬シ置キタル趣ナリ(尙其ノ際矢吹ノ質問ニ對シ賣却スヘキ銀ハ現行六割ノ準備ノ餘分ノミニ限ラサル旨答ヘタルコト往電第一〇七二號ノ七ノ通)

(二)⁽²⁾次テ張ヨリ外國銀行所有銀ノ處分方法ニ付矢吹ノ意見ヲ求メタルヲ以テ矢吹ヨリ一般的ニ言ヘハ支那側カ先ツ自國民ノ銀ノ國有化ト爲替ノ安定トニ成功シタル上ニテ外國銀行ノ銀ノ問題ニ付支那側ヨリ何等カ提案アラハ其ノ際可否ヲ決スヘキ筋合ニシテ正金ノ立場トシテハ銀ヲ以テ支拂フヘキ債務モアリ直ニ引渡ニハ應シ難シト答ヘタルニ張ハ自分モ一弗對一弗ニテ外國銀行ノ銀ヲ取上クルコト不可能ナル旨ヲ孔ニ進言スル積リナルカ差當リノ處置トシテハ冒頭往電ニノ如キモ一案ナルヘシト述ヘ居タル趣ナリ尙張ハ孔ノ話ニテハ外國銀行ハ一四%ノ「プレミアム」ヲ拂ヘハ銀ヲ引渡スヘシトノコトナルカ事實ナリヤト質問セルニ付矢吹ヨリ右ハ外國銀行ノ一部ニ銀ノ國際市價ヨリ約一四%二分ノ一(「モーラル、サポート」當時ノ平衡稅及輸出稅)ヲ引キタル金額ニテナラハ引渡スモ可ナリトノ意見アルモ孔ニ於テ誤解シ居ルモノナル

本國庫課長の観測について

上海 12月10日夜発
 本省 12月10日夜着

第一〇八七號

天津發賣大臣宛往電第三五三號ニ關シ

滯滬中ノ湯本國庫課長求ニ依リ「ホールパツチ」ニ面會セル處「ホ」ハ頻リニ今次ノ幣制改革ヲ如何ニ思フカトテ意見ヲ求メ湯本ニ於テ先般ノ改革ハ第一歩ニ過キサレヘク其ノ全貌ヲ見サレハ判断シ難シトテ批評ヲ避ケ置キタルカ「ホ」ハ先般ノ改革カ第一歩ニシテ更ニ第二段、第三段ノ措置ヲ要スヘシトノ點ハ首肯シ居タル趣ナリ

尙「ホ」ハ其ノ際目下中央銀行ノ改革(商業的業務ヲ併セ行ヒ居ルヲ純粹ノ中央銀行ヲラシムルコト)、不動産金融銀行ノ組織、爲替銀行ノ確立等ニ付計畫ヲ樹テ支那關係者ヲ「プリーチ」シ居ルモ支那人ノ利害面子ノ問題ニ引懸リ思ハシク進捗セサル旨ヲ語り居タルカ支那銀行家等ヲ集メ種々協議等ヲモ進メ居リ假令幣制改革ノ爲一千萬磅借款計畫ハ斷念シタリトスルモ不動産ノ金融其ノ他ノ形ニテ第二段、第三段ノ援助計畫ヲ研究シ居ルヤノ印象ヲ得タル趣ナリ

リ(尙湯本八明十一日發歸朝ノ筈)
右ハ往電第一〇三〇號會談ノ節孔祥熙カ本使ニ對シ同人トシテ和平借款又ハ政治借款ノ如キ不生産的ノモノニハ不賛成ニシテ借款ハ事業ニ投資セラレ其ノ事業ノ利得ニ依リ償還シ得ルモノナラサルヘカラスト話シ居タル點ト何等カノ關聯アルヤニモ存セラレ更ニ確ムヘキモ爲念尙湯本ノ立場モアリ本電發表セサルコトト致度シ
天津、北平、南京ヘ轉電セリ

昭和10年12月10日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀売却問題、在中國本邦銀行所有銀の処
分問題、華北幣制問題に関する対処振りにつ
き意見具申

付記 十二月十日、作成者不明

「北支自主幣制施行計畫綱領案」

上海 12月10日夜發
本省 12月10日夜着

第一〇八八號

ハ當然ノ措置ナルヘキノミナラス銀ノ蒐集ノ進捗思ハシカラストセハ「ブレミアム」附又ハ時價ニテ買上ヲ爲スコトトナル可能性(例ヘハ純銀二十三瓦強ノ一元銀貨ヲ紙幣一元五、六十仙ニテ買上クルコトトセハ銀十五、六瓦ヲ一元トスルコトニ再評價セルト同シナリ)モアル譯ナルカ目下ノ所無理ニ一元對一元ニテ銀ノ回收ヲ計ラントシ居ル關係上再評價ヲ躊躇シ居ル次第ナルヘシ

三、而シテ十一月四日以来ノ現状(乃至ハ右ニノ改革ヲ加ヘタル前記一、ノ如キ制度)カ維持可能ナリヤ否ヤハ相當疑問ナリ蓋シ右現状ハ一種ノ「ドファクト」ノ「スタビリゼーション」ニシテ何等法の根據ナキ制度ナルヲ以テ政局ノ不安ハ直ニ通貨ノ不安ヲ招來スヘク且ツ豫算ノ均衡、對外收支ノ改善等基礎的改革ヲ伴ハサル限り之カ維持困難ナルヘキノミナラス技術的ニモ種々ノ難關アルモノト解セラル(極メテ「アービトラリー」ニ決定セラレタル一志二片半ナル相場カ適當ナリヤ否ヤモ疑問ニシテ銀賣却ニ依ル在外資金取得ニモ限度アリ借款モ望薄ニシテ爲替管理ニモ困難アリ)

四、若シ右ノ如キ困難ニ依リ前記一、ノ如キ方策カ不可能ナリ

一、十一月四日ノ改革ニ依リ銀貨ハ通貨ニアラサルコトナリ發行準備タリシ銀モ制度ノ上ニテハ新法貨タル銀行券ト無關係トナリシ次第ニ付是等ノ支那銀行所有銀及更ニ國內ヨリ蒐集シツアル銀ハ支那側トシテ之ヲ如何ニ取扱ハントスルモノナリヤ判明セス唯十一月二十二日附往信第八七六號説明書ニ銀本位拋棄ニセストアル點ヨリ考フルモ差當リノ支那側ノ考ハ相當ノ銀ヲ保持シテ一方ニ於テ一定ノ準備率ヲ定メテ銀行券ノ亂發ヲ制限シテ對内價值ヲ維持スルト共ニ他方ニ於テ爲替ヲ賣リ應シテ對外價值ノ維持ヲ圖ラントスルニアルヤニ推察セラレ少クトモ今直ニ銀ヲ全部賣却スルコトハ民心ニ及ホス不安ヲ慮リ之ヲ躊躇シ居ルモノノ如シ(貝淞孫モ最近館員ニ對シ民衆カ新通貨ニ慣レ切ル迄ハ銀ヲ見セ金ニシ置ク外無シト語リ居タル由)

二、右ノ制度ノ内準備率ヲ如何ニ決定スヘキヤハ未定ニシテ從來ノ六割準備制ヲ四割トカ三割トカニ引下クルカ如キ簡單ナル變更ヲ爲スノミナラス銀ヲ評價替スルトカ外貨ヲモ準備ニ加フルトカ比例準備制ヲ變更スルトカノ如キヲモ考慮シ居ルニアラス(ヤ)ト考ヘラル殊ニ銀ノ再評價

トセハ

(イ)新平價兌換再開ヲ爲スカ

(ロ)銀ヲ賣却シテ金本位又ハ金爲替本位ニ移行スルカ如キ「ドジュレ」ノ「スタビリゼーション」ヲ求ムル外ナキニ至ルヤモ計リ難シ支那側ニテハ未タ此處迄ノ計畫ヲ樹テ居ルモノトハ思ハレサルモ米國カ銀政策ヲ拋棄セサル間ニ銀ヲ賣却セントスル考アルハ想像ニ難カラス

五、今次支那側ノ通告シ來レル一千萬元程度ノ銀賣却ハ其ノ眞意那邊ニアリヤ了解シ難シ差迫リタル外貨資金ノ必要アリトセハ現ニ三百萬磅(往電第一〇七二號ノ悉ヲ有シ居リ之ニ百萬磅位ヲ加ヘタリトテ平衡資金トシテ大規模ニ運用スルニハ不足ナリ從來ノ六割準備制ヲ維持スル氣ナラハ賣却スヘキ銀ハ餘アル筈ナク(往電第一〇七二號ノ(二、三、及モ)左リトテ前記、新準備制モ未タ決定シ居ラルカ如シ結局試験的ニ一千万元位ヲ賣却シ其ノ結果ヲ見テ更ニ考慮セントスルモノト解セラル而シテ之ヲ我方ニ相談シ來レルモ別段ノ魂膽(例ヘハ英米等ト既ニ銀賣却ノ話纏マリ居リテ之ニ對スル我方ノ反對ヲ緩和セント

スルカ如キ又ハ我方ニ率先相談スルコトニ依リ孔祥熙、宋子文ニ對スル反對ノ空氣ヲ緩和セントスルカ如キアリテノコトニハアラスシテ孔祥熙邊ノ御座也ノ思付ナルヘシト思ハルモ

我方トシテ此ノ際賣却ニ對シ可否ヲ表明スルハ銀ヲ全部賣却シテ前記^(四)ノ如キ方策ニ移ル場合ノ我方ノ態度ヲモ「コムミツト」スルコトトモナルヘキニ付相當注意ヲ要スヘシト存ス就テハ銀賣却問題ハ差當リハ往電第一〇五〇號ノニ、以上ニ態度ノ表明ヲ避ケ只必要ニ依リ一體今銀ヲ賣(却)シテ今後結局ハ如何ニスル積リナリヤヲ質問シ前記^(三)ノ邊ヲ確ムルコトト致度キ所存ナリ尤モ支那側カ銀賣却ヲ我方銀行家ニ申出テ來ル場合日本ニ圓資金ヲ置クコトヲ前提トセス單ニ取次賣却スル趣旨ナルニ於テハ各銀行ノ自由意思ニ委ネ差支ナキヤ此ノ點ハ至急御回訓ヲ得度シ

六、銀行所有銀問題ニ付テハ往電第九九四號ニ對スル御回訓ヲ待チ居ル次第ナルカ當方トシテ大局の見地ヨリ結局ハ「リーゾナブル」ナル價額ニテ處分スルコト然ルヘシト考ヘ居リ右ノ趣旨ニテ工作ヲ進メ差支ナシトセハ銀賣却

ニテ處理シ行ク所存ナリ

以上ノ諸點ニ關シ本使ニ於テ心得ヘキコトアラハ何分ノ儀御回電アリ度ク殊ニ前記^(五)及^(六)ニ關シテハ至急一應ノ御内意ニテモ御回示アリタシ

在支各總領事、北平、厦門へ轉電セリ

(付記)

北支自主幣制施行計畫綱領案 (一〇、一一、一〇)

一、方針

北支ノ金融ハ中南支金融ヨリ分離シ、政權ト對立シテ紙幣ノ財政的濫用ヲ防衛スル民衆の金融中樞機關ヲ新設シ、之レヲ通シテ發券竝ニ通貨ノ統一ヲ圖リ、以テ北支通貨ノ信用ヲ確保スルト共ニ之ヲ財政的羈絆ノ圈外ニ隔絶セシメ以テ政權ノ幣制濫用ヲ排除スルコトニ依ツテ財政ノ堅實化ヲ誘致シ、専ラ民衆經濟ノ向上發展ニ貢獻セシム

二、理由大要

北支民衆ヲ南方ノ搾取ヨリ免レ更生セシムル爲ニハ、財政竝ニ金融ノ分離獨立ヲ其ノ先決要件トス。而シテ北支ノ要望セル現銀南送ノ拒否ハ發券ノ分離獨立ヲ伴ハサル限り其

問題等ヲ利用シ何シトカ解決ノ途アルヤニ考ヘラル(但シ相當ノ時日ヲ要スヘシ)

七、北支ノ幣制ニ付テハ中支トノ境界モナク民族のニモ同一ナル北支ニ於テ中支ノ幣制ト全然系統ヲ異ニスル幣制ヲ布カシムルカ如キハ不可能事ニ屬シ北支ト中支ニ通貨ノ「デイスパリテイ」ヲ生セシムルカ如キコトモ民衆ノ不便ト不滿ヲ招クニ過キサレヘキニ付右ハ主トシテ中央ヲシテ北支ノ特殊性ヲ認メシムル主義上ノ問題トシテ取扱ヒ差當リノ措置トシテハ北支ニ現存スル程度ノ銀ヲ引續キ保留セシムル見地ヨリ處理スルニ止メ度ク支那側カ一般のニ(中支ニテ)結局如何ナル制度ヲ執ラントスルモノナリヤ見極メタル上改メテ意見ヲ上スヘシ(中支カ前記^(一)ノ如キ制度ナラハ北支ニ天津發貴大臣宛電報第三七六號ノ如キ案モ可能ナルヘキモ中支ノ制度如何ニ依リテハ別ノ考慮ヲ要スヘシ)

八、前記^(六)ノ技術的問題及右七ノ北支ノ現銀集中ノ問題ハ別トシ幣制自体ニ關シテハ貴電第二九四號ノニ趣旨ニ依リ贊否ノ意見ノ表明ヲ避ケ借款等外力援助ニ依存セサルニ於テハ特ニ右ニ反對妨害ヲ加フルコトハ差控フル心組

ノ目的ヲ達シ得サルモノナリ。蓋シ、現銀ヲ如何ニ堅持スルトモ紙幣發行ノ權ヲ南方ニ委スル限り、單ナル現銀ノ南送拒否ハ銀ノ死藏ニ過キス、新幣制ヲ通シテ行ハルル搾取ハ幣制改革前ニ比シ愈々大ナルヘシ

中國新幣制ニ依ル銀國有竝ニ發券統一ハ、北支金融統一工作上最モ便宜ナル制度トス。而シテ之ヲ援用シ民衆ノ福利増進ノ爲ニ之ヲ分離獨立シテ、自主的幣制ヲ實施スルハ、自治運動ニ伴フ當然ノ要求トシテ、又南方カ華北ニ準備分

行ヲ認メタル當然ノ理論的歸結トシテ、天下ニ聲明シテ憚ル所ナキトコロナリ
然レトモ北支自治政權モ亦軍閥政體ナルカ故ニ、北支ヲ滿洲國ノ如キ近代的政治機構ナラシムルコト困難ナル現勢ニ於テ、銀ト離レタル管理通貨制度ヲ之レニ委スルコトハ、動モスレハ自治政權ヲシテ幣制ヲ財政ニ濫用スヘキ懸念頗ル大ナルヲ以テ發券銀行ヲ財政的羈絆ヨリ隔絶シ、發券銀行ノ人的組織ヲ理想的ナラシメテ間接的ニ財政ノ堅實化ヲ圖ルコト最モ緊要ナリ

又中國ノ幣制改革ハ既ニ失敗ノ徵アリ、應テ帝國トシテ對案ヲ提示スヘキ時機ノ到來スルハ豫想スルニ難カラス。其

對策案ハ蓋シ管理通貨制度ヲ是認シ、一面ニ於テ商品借款等ニ依リ之ヲ支援スルト共ニ、他面中央銀行ノ完全ナル獨立ヲ確保スル制度ヲ採リ、且金融主腦者ノ親日化ニ依リ財政上ニ於ケル幣制ノ濫用ヲ防止スルニ如カスト思惟スルヲ以テ、北支金融工作モ亦此ノ豫想對案ニ順應セシムルノ要アリ

(註) 設置理由公表要旨

A 中南支方面幣制崩壞ノ北支波及防止

B 政權ノ濫用防止ニ依ル民衆福利増進ニ資ス

C 準備分行設置精神ノ援用等

三、要領

一、幣制ノ基本ハ中國新幣制ニ準據シ、爲替一志二片二分ノ一ヲ基準トスル一種ノ管理通貨トスルモ、最低六割ノ準備制度(準備ハ金銀爲替)トス。即チ華北新紙幣ノ爲替相場ハ差向上海弗ニ連絡セシム。而シテ上海弗力カ不安定ニ陥リタル場合ハ金圓ニ連結セシム尙將來金圓爲替本位ニ移行スル如ク考慮ス

二、發權及通貨ノ統一

1 紙幣發行券ハ次ニ述ヘル新設ノ華北公庫ニ統一シ獨占

無擔保ニテ貸付クル(因ニ回收銀ヲ時價ニテ計算セハ、右ノ貸付ハ毫モ公庫ニ損失ノ危險ナシ)

5 銅元ハ當分現在ノ儘流通セシメ、十進法ノ新青銅貨ノ鑄造ヲ俟ツテ流通額ノ不足セサル程度ニ銅元ノ時價買上ヲ行ヒ、回收銅元ヲ以テ逐次新青銅貨ヲ鑄造ス

三、華北公庫ノ新設

主トシテ支那側新式銀行、錢莊等ノ共同出資ニ基ク發券銀行ヲ新設ス、其ノ要領左ノ如シ

(1) 華北公庫ト命名ス

北支カ獨立國ナラサルコト、民衆ノ金融中樞機關ナルコト、現銀ノ集中機關ナルコト等ヲ意味ス

(2) 資本

「公稱資本」

將來北支五省統一後ノ増資ノ煩ヲ避ケル辦法トシテ公共資本一億元トシ、差當リ河北、山東、察哈爾三省ヲ目途トシテ設立ス

「資本出資法」

資本ノ出資ハ左ノ如キ方法ニ由ル

(A) 政府出資 準備現銀回收ニ對スル時價トノ差益ヲ以

セシメ、紙幣ヲ統一ス

2 紙幣ノ兌換ニハ原則トシテ應セサルモ所定ノ爲替相場ヲ維持スヘク爲替ノ賣買ニ應スルコト

3 貨幣發行ノ權ハ新設公庫ノ獨占トシ、政府ハ貨幣ノ發行鑄造ヲ検査監督シ、保證準備ニ係ル紙幣竝ニ硬貨ノ發行鑄造ニ對シ一定ノ課稅ヲナス外、發行ニ對シ干涉權ヲ持タサル如ク定ム

4 舊發券銀行ノ紙幣發行ハ南京政府命令ノ如ク、布令當日ニ於ケル發行高ハ姑ク之ヲ認メルモ、爾後ニ於ケル新規發行ヲ許サス而シテ此際舊紙幣ノ回收ハ別途研究ス可キモ概ネ左記辦法ニ據ル

(イ) 準備現銀回收高(紙幣一圓ト同價ト見做ス)ニ相當スル額ハ即時新紙幣ヲ以テ回收スル

(ロ) 殘リ(法制的ニハ現在流通高ノ四割)ハ之ヲ今後二ケ年間ニ各銀行自ラヲシテ回收セシメ、其ノ紙幣價格ノ維持ニ付イテハ、華北公庫ハ其ノ責任ヲ負ハス

而シテ右ノ回收ハ六ヶ月据置、爾後十八ヶ月ノ月賦回收トス尙右ノ整理ニ耐エ得サル小銀行ニ對シテハ右回收準備銀ノ四割ニ相當スル金額迄低利年賦ニテ

テ之ニ當ツ而シテ此ノ出資ニ對シテハ、政府ハ何等ノ經營上ノ發言權ヲ有セス唯々次ノ權利ヲ保留ス
(イ) 右出資金ノ限度マテ、政府ニ對シ低利貸出ヲ行フ
(ロ) 右出資金ニ對シ、他ト同様ノ配當金ヲ受領ス

「註」 準備現銀在高、天津約二千八百萬弗、北平約一千二百萬弗、山東約一千萬弗、計五千萬弗、差益三千萬弗トナル

(B) 民間銀行、錢莊等ノ出資全部ニテ一千萬弗右加盟銀行ハ次ノ特權ヲ有ス

(イ) 公庫ト當座取引ノ特權ヲ有ス
(ロ) 出資金ノ半額マテハ無擔保當座貸越ヲ許ス

(3) 準備金

紙幣ノ發行ハ準備率六割ヲ要シ、右準備金ハ金、銀、爲替資金、外貨ヲ以テス

華北公庫設立當初ノ準備金事情左ノ如シ

A 舊準備金ノ回收約五千萬弗、此ノ時價一弗六十仙替ニテ八千萬弗

B 市中及町村死藏ノ現銀一弗四十仙替買上ニ由ル集收

X百萬弗

(4)紙幣發行高

A華北準備庫ノ紙幣發行能力ハ死藏銀買上ノ分ハ全部爲替平衡資金トシテ別ニ保留スルトシテモ尙現在ノ準備銀時價八千萬弗ニテ一億三千三百萬弗ナリ

B今後ノ紙幣餘力ハ右ノ中舊紙幣回收ノタメ充當セラレタルモノ五千萬弗ニシテ差引八千三百萬弗ヲ殘シ優ニ北支ノ需要ニ應スルコトヲ得

C外ニ、此處當分トシテハ發行紙幣未回收分(舊發行額ノ約四割)アリ、天津ノミノ見積リニ由レハ舊紙幣發行高六千萬弗右ノ四割ハ二千四百萬弗ナリ

(5)當事者

役員ノ選任ハ理事會之二當り、主腦者ハ衆望アル廉潔ノ親日派(銀行公會、錢業公會、商務會代表者等)ヲ以テ充テ顧問竝須要ナル課長級ハ日本人ヲ採用シ、其ノ任免ハ日本側ノ諒解ノ下ニ行ハシメ、以テ設立主旨ノ貫徹ヲ期ス

技術員ニハ中國、交通等ノ優秀者ヲ拔擢採用ス

(6)業務

ノ建直シヲ行ハスシテ殊ニ新制度實施勿々冒頭貴電ノ如ク爲替相場ヲ維持センカ爲準備トナルヘキ現銀ヲミダリニ輸出スル趣ナル處斯クテハ我方懸念ノ如ク目前通貨不安ヲ増大シ資本ノ逃避ヲ更ニ激成シ(支拂勘定多キ支那ノ現狀ニ於テ殊ニ然リ)幣制ノ混亂ハ收拾ノ途ナキニ至ル危懼ハ益々深マルモノト言フノ外ナク旁々我方トシテハ本件計劃ニ對シ直チニ贊意ヲ表シ得サル處ナリ

就テハ以上ノ趣旨御含ミノ上支那側ヲシテ左記ノ點ヲ明示セシメラレ度必要アラハ右ニ對スル十分ノ説明ナキ限り我方トシテハ輕々ニ同意シ得サルモノナル旨告ケ置カレ度シ(一)張ハ本邦ニハ一千萬元ノ在外資金ヲ置ク考ナリトノ事ナルカ右ハ日支間丈ノ決済ニ充當セントスルモノナリヤ(二)英米佛等ニ賣却スル豫定額、時期及賣却後ノ利用方法(三)右(一)及(二)ノ措置ニ依リ現幣制(爲替相場ヲ含ム)ヲ維持シ得ル見込アリヤ、若シ見込立タサル場合ハ更ニ現銀ヲ賣却スル積リナリヤ

(四)支那側ハ差當リ六割ノ準備ヲ維持スヘシト云ヒ居ル處準備銀ノ評價標準如何(尙準備ノ内容及準備率ニ付考慮シ居ルトセハ右準備ノ内容及引下率等如何)

貨幣ノ發行竝鑄造、國庫事務、爲替操作其ノ他中央銀行トシテ活動シ營利ヲ目的トセス、金融ノ堅實化ニ邁進ス

(7)利益處分

利益配當ハ八分以内トシ、餘剩ハ可成一般經濟ノ進歩發達ニ必要ナル調査研究ヲナサシム

640 昭和10年12月11日

広田外務大臣より
在中國有吉大使宛(電報)

中国側の準備銀売却問題に関する疑問点照会

方訓令

本省 12月11日発

第三二八號

貴電第一〇五一號及一〇五六號ニ關シ

新幣制ハ支那ノ現狀ニ徴シ實地ニ即セサルモノト認メラルル處現行制度ノ儘之ヲ飽ク迄強行セムトセハ經濟上ノ困難ハ愈々深刻トナリ遂ニ支那ノ經濟財政ヲ救フヘカラサル破綻ニ導ク虞極メテ大ナルヘク我方トシテハ夙ニ支那ノ爲憂慮シ來レル次第ナリ然ルニ今般南京政府ニ於テハ現行制度

(五)賣却スヘキ銀ヲ奥地方面ヨリ蒐集スルコトハ至難ナルヘク他方北支等ノ現銀ヲ中央ニ輸送スルコトニ付テハ我方ハ重大關心ヲ有スル次第ナルカ此ノ點ニ關スル支那側ノ意向如何

其ノ他新幣制ニ關スル政府當局ノ意圖不明ナル點及右實施ニ伴フ各種懸案未解決ノ點等ヲモ併セ指摘シ説明ヲ求メラルルコト可然

尙本邦ニ本件在外資金ヲ置クコトニ付テハ大藏省事務當局ニ於テモ貴見ノ通爲替管理ノ技術的見地ヨリセハ好マシカラストノ意向ナリ
貴電ノ通り轉電セリ

641 昭和10年12月11日

在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

在中国本邦銀行所有銀の処分問題に関する対

処振りにつき請訓

上海 12月11日夜発
本省 12月11日夜着

第一〇九三號

一、往電第九九四號及第一〇八八號ノ六ニ關シ

昨日來ノ倫敦銀價ノ趨勢ヨリシテ米國銀政策ノ變更ニ依リ銀カ暴落スルニアラスヤトノ懸念モアリ當地日本側銀行ハ本十一日會合ノ結果各自本店ニ對シ「銀行ノ持銀ハ至急處分ヲ適當ト信ス東京ニテ關係銀行協議ノ上政府方面トモ交渉シ處分ヲ不可トスル事情無キ限リ對策決定ノ上至急回答ヲ請フ」旨電報セル趣ナリ

二、冒頭往電ニ對スル御回答無キヲ以テ當方トシテハ(イ)當地銀行所有銀ヲ結局北支ニ移シ政策的ニ利用セラルル等ノ御考慮ニテモ有セララルル次第ナリヤ將又(ロ)邦人銀行側ニ於テ不當ノ損失ヲ蒙ラサル限リ其ノ自由處分ニ委セ(必要ニ依リ外交的交渉ヲ爲スハ勿論ナリ)差支無キ次第ナリヤモ判明セサル爲當業者指導ニ苦慮シ居ル實情ニ付右(イ)及(ロ)ノ孰レノ趣旨ニテ措置スヘキヤノ點丈ケニテモ折返シ御同電相煩度シ

三、右(イ)ノ場合ニハ往電第九九四號ノ(ホ)及往電第一〇八八號ノ七ノ諸點篤ト御考慮相成ルト共ニ各銀行幹部ニモ篤ト御意嚮御申聞ケ相成度ク右(ロ)ノ場合ニハ更ニ委細ノ方策請訓致スヘシ(但シ萬一銀價カ下落スルニハ一元對一元

價カ一弗二十九仙ニ達スル迄購買ヲ繼續スルヤ否ヤニ付テハ疑問ヲ抱クニ至レル者鮮カラス如何ナル理由ニテ大藏省カ突然銀註文ヲ爲ササルニ至レルヤニ付テハ種々ノ臆測行ハレ居ルモ未タ的確ノコトハ知り難シ或ハ世界最大ノ銀需要國タル支那カ銀本位ヲ離脱シタル結果銀ノ價格ハ米國ノ銀購買政策繼續中ハ買上値段迄維持セラルルモ米國ニシテ其ノ目的ヲ達シ購入ヲ停止スルカ如キ場合ニハ其ノ價格ハ下落スル一方ナルヘク

從テ米國ノ持銀モ其ノ價格ヲ失フノミナラス之カ處分ノ必要生シタル場合ニモ賣却ノ相手方無キ状態トナルヘシトノ懸念ハ豫テヨリ行ハレ居タル所ナレハ旁此ノ際一時形勢ヲ觀望シ兼テ從來ノ政策ヲ繼續スルノ可否ヲ再検討セントスル爲ナルヤニモ想像セラル

他方所謂銀「ブロック」ノ一員タル上院議員「トーマス」ハ米國ノ銀購買政策ハ支那ノ國有銀ヲ買上ケ支那ハ其ノ賣上高ヲ以テ爲替平衡資金ニ當ツヘキニ依リ其ノ結果ハ米國カ英國ノ爲ニ支那貨幣ノ磅ニ「リンク」スルヲ援助シ居ルト同様ナルニ付此ノ際買上ノ中止ハ當然ナリト述ヘ「ピットマン」ハ大統領ハ未タ曾テ銀購買政策ノ變更ヲ考ヘタル

ニテ引渡ス方却テ我方ニ有利トナル惧スラ無シトセスクトモ早キニ及ンテ交渉セサル限リ支那側ニ對スル交渉カ不利トナル傾向アルハ免カレサルヘシ)

642 昭和10年12月11日

在米國齋藤大使より
広田外務大臣宛(電報)

米國財務省の銀購入政策中止が及ぼした金融
市場の混乱について

ワシントン 12月11日後発
本 省 12月12日前着

第五一四號

十日當國大藏省カ銀購入ヲ中止シタル爲倫敦市場ニテハ銀ノ相場立タス從テ各地ノ銀市場モ混亂ニ陥レル旨報セラレ居ル處右ニ關シ大藏省側ハ各方面ノ質問ニ對シ單ニ依然トシテ銀購買法ハ實行シ居レリト云フノミニテ他ニ何等ノ意見ヲモ表明セサル爲當地方財界モ五里霧中ノ有様ナリ而シテ一般ニハ米國ニハ依然トシテ金流入盛ナレハ弗爲替調節ノ爲ニモ大藏省ハ遠カラスシテ銀購買政策ヲ再建スヘシト見居ルモ果シテ法律ノ規定通り金三、銀一ノ比率迄又ハ銀

コトナク右政策ヲ拋棄セシメントスル企ハ成功セサルヘシト述ヘタル旨傳ヘラル
將又米國內ノ産銀ハ法律ノ規定ニ依リ七十七仙金ニテ買上ケラルル譯ナレハ影響ナキモ紐育市場ニ於ケル外國銀山關係ノ會社株八十日以來一齊ニ下落セル由
紐育、倫敦へ轉電セリ

643 昭和10年12月13日

広田外務大臣より
在中國有吉大使宛(電報)

在中國本邦銀行所有銀の処分問題に関する対
処振りにつき回訓

第三二九號
本省 12月13日後5時40分発

貴電第一〇九三號ニ關シ
十二日關係銀行本店限リニ於テ相談ノ結果其ノ一致ノ意見トシテ從來通りノ方針ニテ靜觀ヲ續クルコト可然旨回電セル趣正金側ヨリ事後報告ニ接シタリ
尙本件銀引渡問題ニ關シテハ折角關係官廳トモ協議中ナルヲ以テ何分ノ結果ハ追報スヘキモ別段冒頭貴電(イ)ノ如キコ

トヲ考慮シ居ラス又本件ハ銀行ノ營業ト密接ナル關係アル問題ナルニ付支那側カ強制的ニ「バー」ニテ紙幣ニ引換ヘントシ來ル場合等ハ格別ナルモ(往電第二九四號)一般ニ政府側カ餘リ立入タル指圖ヲ爲スコトモ如何カト考ヘ居ル次第ナリ此ノ點差當リ貴方御含迄
上海ニ轉報アリ度
在支各總領事、北平及厦門ニ轉電セリ

644 昭和10年12月13日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀売却問題に関する我が方疑問点への孔
祥熙回答について

南京 12月13日 前発
本省 12月13日 後着

第一四〇一號
本官發支宛電報

第一三七七號

往電第一三七一號ニ關シ

本十二日孔祥熙ト會談ノ序ヲ以テ今頃銀ヲ賣出スニ於テハ

(三)右(一)及(二)ノ外貨ハ銀ト同様準備金ヲ構成スルモノ故是等ノ措置ノ爲現幣制ハ勿論爲替相場モ動クコトナキ譯ナリ
(四)現在ノ準備率ハ銀價高續キノ爲十四割トモナリ居レリ
準備ノ内容ハ主トシテ銀ナルモ右(一)及(二)ニ依ル外貨及外國ニ對スル「クレヂット」モ含マレ時ニ依リ構成部分ノ比例ヲ異ニスヘキモ銀價ノ暴落無キ間ハ準備率ヲ現状以下ニスルノ要モ無ク又六割以下トナル場合ハ豫想シ難シ
(五)準備金保管委員會ハ既ニ奧地方面ヨリ銀收拾ニ相當成功シ居リ例ヘハ廣東ニ於テ新幣制實施以來既ニ四千萬元ヲ集メ居ルニ見テモ明カナリ又準備銀ハ紙幣發行額ニ對比スルモノナル處紙幣ハ中央銀行ノモノ極メテ少ク多クハ中國、交通カ夫々地方ニ於テ發行シ居ルモノナルカ故ニ例ヘハ天津ニ於ケル保管委員會カ北支地方ヨリ蒐集セル銀ヲ全部保管シテモ
或ハ同地方ニ於ケル紙幣ノ準備トシテハ足ラス中央ヨリ逆ニ補充ノ爲輸送ノ要アリ北支ヨリノ輸送ハ今ノ所期待シ居ラス
ト答ヘタリ
尙孔ハ新幣制ハ外國銀行側ノ反對ニ拘ラス益々安定シ行ク

新幣制ハ脆クモ崩壊スヘキ旨ヲ述ヘタルニ孔ハ張公權ヲ大使ノ許ニ派遣セル意味ハ多少誤解セラレ居ル模様ナルモ實ハ一面日本銀行側ノ所持銀ヲ穩便ニ紙幣ト交換シタキ點(多少ノ「プレミアム」ハ覺悟シ居レリ)竝ニ日本銀行カ全然「ビジネス」ノ見地ヨリ圓ヲ賣リ吳レ間敷キヤノ點ニ關シ大使ノ好意的御考慮ヲ求ムルニアリタリ自然銀行總裁トシテ事實上依頼セルニ過キス從テ財政部長トシテハ關係スヘキ問題ニハアラスト述ヘタルニ付本官ヨリ内部ノ使分ケハ兎モ角場合ニ依リテハ新幣制ヲ收拾スヘカラサル混亂ニ陥ルル措置トモ見ラルルニ付虛心坦懷應答アリタシト前提シ

大臣發閣下宛電報第三二八號ノ各項ニ付尋ネタルニ孔ハ

(一)貿易決済ノ爲外貨ヲ買求ムルモノ多ク中央銀行ニ於テ之ヲ準備シ置クコト便利ナル爲圓ヲ在外資金トシテ買入レ度キ心算ナレハ右ハ大体日支間貿易ノ決済ニ充當サルル筈ナリ

(二)英、米、佛等ニモ同様在外資金ヲ置ク筈ナルカ其ノ豫定額ハ貿易ノ狀況ニ依ル爲一定シ得ス時期モ同様ニテ之カ利用ハ夫々ノ國トノ貿易決済ノ爲ナルコト(一)ニ同シ

傾向ニアリ新幣制維持ノ爲ニハ恐慌無キ限り外國ヨリノ借款ヲ要セストノ確信ヲ有シ居レリ外國銀行保有銀ヲ取返シ得サルハ治外法權ノ結果ニモ因ルモ其ノ中銀價下落セハ却テ外銀側カ引取ヲ懇請シ來ルニ至ルヘシ(大臣宛電報第一三三號參照)ト嘯キタル上日本側カ圓ヲ賣ルコトスラ拒絶スルニ於テハ日支協調等ハ思ヒモ寄ラスト述ヘタルニ付本官ヨリ成程一應ノ説明ノ體ヲ爲スモ

(イ)貿易逆ナルカ爲外貨ハ其ノ儘外國ヘノ支拂ニ終リ

(ロ)政府豫算不均衡ヨリ「インフレーション」ヲ行フノ外無ク

準備率ノ現状ハ維持セラレサルニ至ルヘシト指摘セル處孔ハ

(イ)外貨ノ減少スル丈ケ紙幣カ銀行ニ回收サレ準備率ニハ支障ナシ

(ロ)中央銀行ノ改組確立ノ今日一元ト雖豫算補填ノ爲自由ニ流用スル能ハス

ト答ヘタル上繰返シ日本側ニ於テ實情ニ注目シ政治的理由等ヨリスル反對ヲ止メ助力アリ度シト申出テタリ仍テ本官ハ更ニ今回ノ措置ハ圓ノ買入等ト辯解スルモ其ノ實銀賣却

ニ外ナラス右説明以外ノ目的ノ爲ニスルニアラスヤト尋ネタルニ孔ハ實ハ米國ノ銀政策變更等ノ爲銀ノ値下リアルヘキヲ豫想シ國家ノ爲高値ノ内ニ外貨ト爲シ置キ値下リノ際買戻シ差額ヲ利得シ度シトノ思惑モアリシナリト答ヘ居タリ
大臣、北平、天津へ轉電セリ

645 昭和10年12月13日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀對英売却の情報に関する唐有壬内話に

ついで

南京 12月13日夜発
本省 12月13日夜着

第一四〇四號(至急、部外秘)

往電第一三三三號ニ關シ

孔祥熙ノ應酬振ハ手前味噌ナルハ別トシ昨十二日孔トノ會談ノ印象ニ依レハ如何ニモ日本ニ銀ヲ賣ルコトハ體裁ノミノコトナルヤニ認メラレタル次第モアリ支宛往電第一三七七號ニ關聯シ本十三日唐有壬ニ對シ孔祥熙等ハ内密ニ銀ヲ

ルカ銀ノミナラス金及外貨ヲ準備ニ設クルコトハ既定ノ方針ニテ準備率ハ從來ノ六割ハ銀、金及外貨、四割ハ公債其ノ他トスルコトナルヘシ銀ハ世界市價ニテ見積リ市價ノ變動アレハ金又ハ外貨ノ増減ニ依リ「アジアスト」スル計畫ナリ

(二)銀ノ賣却ハ既定ノ方針ナルカ如何程ヲ賣却スルヤハ決定シ居ラス自分ハ所有銀ノ約半分ヲ賣却方ヲ孔祥熙ニ建言シ居ルモ米國ノ銀政策動搖ニテ賣却ノ時機ヲ失シタル感アリ支那カ既ニ多量ノ銀ヲ賣却セリトノ噂アルモ倫敦ニテ賣却スルトセハ「オープン、マーケット」ノ賣買ナルヲ以テ自分ノ主管スル「バンキング、デパートメント」ニテ爲ス管ナルニ其ノ事實無キコトハ斷言シ得尤モ米國邊ト直接賣買ノ話アラハ孔自身又ハ「イシュー、デパートメント」ニテ爲シ居ルモノナルヘク其ノ方ハ承知セス

(三)⁽²⁾今銀ヲ賣却スルモ代リニ外貨ヲ取得スル譯ナレハ通貨ノ信用ヲ害スル筈ナキ理ナルモ民衆ニ及ホス心理的影響モ考へ自分ハ孔祥熙ニ銀ヲ積出スト同時ニ金塊カ代リニ上海ニ到着スル様準備スルコト然ルヘキ旨建言至極少量乍ラ既ニ倫敦ニテ金ヲ買ヒ今月末ニハ上海ニ到着ノ筈ナリ

賣出シ居ラスヤト突込ミタルニ唐ハ絶対極秘ノ含ニテ實ハ支那銀行側ヨリノ聞込ニ依レハ孔等ハ數週間前倫敦ニ於テ英國ニ對シ約六千萬元ノ銀ヲ賣却シ居リ之カ現送ハ日本側ニ衝動ヲ與フヘキニ付日本ニモ餌ヲ出シテ見タル始末ナリト述ヘ居タリ(本電ハ唐ノ立場モアリ當分絶対極秘ニ願ヒ度シ)

646 昭和10年12月20日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀売却問題に関する中央銀行関係者の内話について

話について

上海 12月20日夜発
本省 12月20日夜着

第一一三三號

往電第一〇八八號ニ關シ

中央銀行席德懋ノ十九日館員ニ内話セル所左ノ通
(一)發行準備制ニ關シテハ發行準備委員會ニ常務委員會(孔祥熙、胡筆江、錢新之、宋子文、李覺)ノ五名但シ孔ト宋ハ多忙ニテ餘リ出席セス)ヲ設ケ連日會合シテ研究シ居

(何ニテ買ヒタリヤトノ質問ニハ爲替ニテ買ヒタリト答ヘ居タリ)

(四)現在ノ爲替ノ「レート」ヲ決定スルニ當リ之カ高過キルヤ低過キルヤニ付テハ種々議論アリタルカ日本ヨリ少シ高クスルコト可ナリトテ一志二片邊ニ決定セル旨聞キ居レリ「バンキング、デパートメント」ノ孔祥熙ヨリ受ケ居ル訓令ハ一志二片半、百三圓、二十九弗四分ノ三ヲ引續キ維持スヘシト云フニ止マリ從テ十一月四日以來英米又ハ日米「クロスレート」ニ多少ノ變化アリタルニ拘ラス對英、對米、對日トモ引續キ同シ相場ヲ維持シ居レリ(此ノ結果市場ハ當日對米カ有利ナラハ米貨ノミ需要アリ跛行的トナリ居レリ)尤モ「クロスレート」ニ多大ノ變化ヲ生スレハ「アービトレイション」行ハルヘキヲ以テ何レカヲ基トシ他ヲ變更スル必要生スヘク其ノ際ハ更ニ孔ニ訓令ヲ仰ク譯ナルカ多分對英ヲ標準トシテ他ヲ變更スルコトナルヘシ

(五)⁽³⁾現在三銀行手持外貨ハ一千二百萬磅其ノ内肩替り四百萬磅ニテ本來三銀行ノ所有スル外貨ハ八百萬磅位ナリ(往電第一〇七二號ノ五ハ中央銀行ノ分ノミナル由)先日銀

塊相場ノ變動セル際(本月十日頃)銀價ノ下落ハ支那側所
有銀ノ價格從テ支那側カ爲替ヲ賣應スル餘力ヲ減少スル
モノナリト觀測シテ支那通貨ニ不安ヲ感シタル爲カ市場
ニ相當ノ外貨ノ需要アリ本十九日ニモ又復外貨ノ需要ア
リタルモ之ニ賣應シテ爲替相場ヲ維持シ居レリ(一般ニ
ハ十九日一日ニテ百萬磅本月十日以來合計二百萬磅位賣
應シタリト傳ヘラル)此ノ分ニテハ若シ銀塊カ十七片(一
弗一志二片半ノ「パリテイ」)以下トナルカ如キコト無
キ限リ差當リ爲替維持ニハ困難ヲ感セサルヘク將來ノ問
題ハ勿論銀ヲ如何ニ處分スルヤニ懸ル譯ナルモ相當ノ價
格ニテ處分シ得レハ外國借款ノ必要モナカルヘシ

(六)銀ヲ市價又ハ適當ノ「プレミヤム」附ニテ蒐集スヘシト
ノ說ハ支那銀行家中ニスラ之ヲ「アドボケート」スルモ
ノアルモ政府トシテ一旦一弗對一弗ノ方針ニテ法令迄出
シタルヲ變更スル譯ニ行カス唯孔祥熙ハ右ノ法令ヲ壞サ
サル形ニテ「プレミヤム」ヲ與フル様考慮中ニテ支那銀
行及外國銀行ニ爲セル提案(往電第一〇六二號)モ六〇ノ
銀ノ外二四〇ノ資金ヲ二箇年間只ニテ「エンジョーイ」
セシメ其ノ二年間ノ金利丈ケ「プレミヤム」(一割位ニ

中央銀行の準備銀米国向輸送確認について

上海 12月21日夜発
本省 12月21日夜着

第一一三八號

往電第一一三五號ニ關シ(支那中央銀行ノ米国向現銀輸送
ニ關スル件)

右積出ヲ確認セリ本廿一日ノ新聞ハ數量ハ一千萬乃至一千
六百萬弗ニシテ中央銀行ハ在外資金取得ノ爲「チエーズ」
及「ナシヨナル、シテイ」ニ豫テ賣約シ居リタルモノナ
リト説明シ居ル旨ヲ報シ居レリ尙目下ノ所別段市場ニハ影
響ナキカ如ク十九、廿日弱含ミナリシモ本廿一日ハ却テ強
含ミナル由

南京、天津、北平へ轉電セリ

649 昭和10年12月21日 在天津川越總領事より
広田外務大臣宛

中国幣制改革に対する星野満州国財政部総務
司長の意見書について

付記 十二月十日發水見(俊徳)支那駐屯軍參謀長より

ナルヘシ)ヲ與ヘントスル趣旨ニ外ナラス云々
聞込ノ儘何等御參考迄(外部ニ發表セサルコト致度シ)
在支各總領事、北平、厦門へ轉電セリ

647 昭和10年12月20日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中央銀行による準備銀米国向輸送の情報について

上海 12月20日後発
本省 12月21日後着

第一一三五號

往電第一一三二號ニ關シ

二十一日朝出帆ノ「プレジデント、リンカーン」ニテ中央
銀行カ米国向一十萬元(一説ニハ一十萬「オンス」)ノ現銀
輸送ヲ爲スヘシトノ噂アリ正金ニテ船會社ニ確メタル處否
定シ居ラサル趣ナリ尙確メ中ナルモ不取敢
南京、北平、天津へ轉電セリ

648 昭和10年12月21日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

り杉山參謀次長宛電報

中国幣制改革は技術的には相当成功との認識

報告

機密第一〇五六號 (12月28日接受)

昭和十年十二月廿一日

在天津

總領事 川越 茂(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

支那幣制改革ニ對スル星野司長ノ意見書ニ關スル件
最近當地へ出張シ來レル星野満州國財政部總務司長カ軍部
へ提出セル支那幣制改革ト我國策ノ確立ト題スル意見書一
部御參考ノ爲送附ス

本信寫送附先 在支大使 北平 南京 上海 濟南 青

島 漢口 廣東 福州 厦門 上海商務
參事官 在滿大使 香港

(別紙)

支那幣制改革ト我國策ノ確立 (昭和一〇、一一、八)

一、幣制改革ノ推移ト將來ノ見透シ

(一)支那今回ノ幣制改革ハ一言ニシテ掩ヘハ政治的ニハ國內的及國際的ニ大ナル危機ヲ招來シツツアリト雖モ技術的ニハ相當成功ノ歩ヲ進メツツアルコトヲ認メサルヲ得ス、即チ新幣制ハ完全ナル外國ノ支援ヲ受クルニ至ラサレトモ、支那經濟社會ハ豫想サレタル如キ大ナル動搖ヲ見セス、寧ロ一般ニハ必然ノ歸結ニ到達シタルモノトシテ之ヲ維持セムトスル形勢ニ在リ、未曾有ノ變革ニ當リ斯クノ如キ安定ハ眞ニ注目ニ値ス。即チ爾來一月爲替安定シ而モ爲替ノ先物モ特ニ下落ヲ示サス、之爲替關係者カ少クトモ當分ノ中新幣制ノ破綻ニ陥ルコトナキモノト認メツツアルノ證左トスヘシ。又最近輸出カ顯著ナル躍進ヲ示シ、輿地物資ノ出廻リヲ促進シツツアルコトハ民衆カ物資ニ對シ新紙幣ノ收受ヲ容認セル證左ナリ。即此ノ狀態ヲ以テスレハ新ナル政治情勢ノ變革ナキ限り、新幣制ハ尠クトモ爲替資金ノ續ク限り其ノ生命ヲ維持スルモノト推測セラル。而シテ必要ナル爲替資金ハ英國ノ貸付援助ヲ俟タストモ三、四億ノ銀行手持銀ヲ以テ兩三年ヲ維持スルコトヲ得ヘシ、而シテ今日國際金融關係ニ於テ兩三年ノ安定

シメサル等本改革ノ積極的支援ヲ拒ミ來レリ
 敍上ノ如クリースロスノ對支工作ニ對シ日本ハ終始拒否ノ態度ヲ明白ニシ來リタル以上若シ本改革案カ此ノ儘日ヲ逐ツテ成功ノ歩ヲ固ムルニ至ラムカ、之日本朝野ノ對支認識ノ根本的誤謬ヲ表明スルモノニシテ同時ニ支那ニ於テ日本ヲ無視シテ政治經濟ノ大變革カ外國ノ力ニ依リ公然ト實行セラルルコトヲ認ムルコトナルヘシ。即チ支那ニ對スル日本ノ權威ト迫力トヲ失墜シ所謂天羽聲明ノ如キハ地ニ委スニ至ルヘシ
 (三)次ニ英國ノ本改革案ニ對スル態度ハ如何、固ヨリ本改革ノ斷行カ必スシモリースロス提案ノ筋書ヲ完全ニ辿リタルモノニハ非サレトモ本案實施前リースロスハ支那財政金融ノ中心者ト協議ヲ重ネ其ノ支援ヲ約シ一度決定セラルヤ終始全面的ニ之ヲサポートスルノ態度ヲ明カニシ日本ヲ無視シテ支那ヲリードスルノ立場ヲ執リ來リタルハ言ヲ俟タス、即チ彼ハ在支使臣ト在支金融機關トヲ動員シテ徹底的支援ヲ行ヒ即一方公使館令ヲ以テ在支英人ニ對シテハ全般の二本制度ニ順應スヘキヲ命シ他方香港上海、チャーター内ヲ進シテ進

的見透シヲ得ルコトハ相當ノ成功ト謂ハサルヲ得ス即チ現狀ヨリ公平ニ見テ今回ノ改革ハ一應成功ノ途ヲ辿リツツアリト謂フヘシ

(二)然ルニ此ノ問題ニ對スル日本ノ態度ハ如何、先ツリースロスハ渡支ニ先立チ日本ノ眞意ヲ打診シ對支共同借款ヲ提議シタルニ際シ日本ハ東洋ニ於ケル問題ハ日本自ライニシヤテイブヲ執ルニ非サレハ圓滑ナル解決ヲ得ルコト不可能ニシテ支那ノ民心ニ合致スル所以ニ非ス、又北支ハ滿洲國ト特殊關係ヲ有スルカ故ニ之ヲ無視シテノ幣制改革ヲ行フヲ得ストナシ之カ提議ニ反對的意思表示ヲ爲シタリ、而シテリースロスハ日本ノ贊成ヲ得サレハ或ハ英國ハ獨力支援シ之ヲ實現スルヤモ知レサルコトヲ表明シ且必要アラハ日本ト協議スヘキヲ約シツツ遂ニ日本ニ對シ何等ノ豫備協議ヲ行ハスシテ此ノ如キ幣制改革ノ大業ヲ決行セシムルニ至レリ。爾來日本ハ本改革ニ對シ官民一致シテ反對ノ立場ヲ明示シ即チ軍部並ニ外務省ハ出先ト謂ハス本部ト謂ハス屢々聲明ヲ發シテ之ヲ排撃スルノ態度ヲ示シ在支日本金融機關ニ對シテハ支那政府ノ現銀引渡ノ要求ニ應セ

銀ノ平價賣渡ニ應スルノ意思ヲ表示セシメ更ニ北支動搖スルヤリースロスハ自ら敢然トシテ平津ニ乘リ込ミ官民ト協議勸説シテ余ス所ナキ努力ヲ爲シツツアリ、即傳フル所ノ相當金額ノクレヂツトノ設定ノ如キ今日迄ノ推移ヲ以テ見レハ必要ニ應シテ何時ニテモ敢行スルノ用意アリト看做ササルヘカラス、以テ英國カ今回ノ舉ニ對スル覺悟ヲ推知シ得ヘク其ノ成否ニ對支地位ヲ瞻シ來リタルモノト云フモ過言ニ非ス。之ヲ要スルニ英國今回ノ舉タル年ト共ニ退嬰シツツアル經濟的地位ヲ此ノ一舉ニシテ挽回セムトスルノ徹底的努力ナリト認ムヘク、即甚シク根強ク且充分計畫的ナルモノト認メサルヲ得ス、而シテ今ヤ此ノ政策ハ日本ノ對支積極的政策ト正面衝突ヲ爲シ即本改革ノ成否ヲ廻リテ今ヤ日英ノ對支經濟宗主權カ爭覇ノ大頂點ニ到達シタルモノナリ
 (四)繼テ敍上ノ如キ情勢ノ推移ヲ政治的ニ觀レハ技術的ニ成功ヲ示シツツアル今回ノ幣制改革ハ政治的ニハ支那ノ内外ニ非常ナル危機ヲ招來シツツアルモノト謂フヘシ

第一ニ北支及西南ノ分離獨立の傾向ヲ促進シタルコトナリ即チ之等地域ヲシテ對中央關係ニ於テ決定的態度ヲ採ルコト余儀ナクスルニ至レリ

第二ニハ治外法權國人カ其ノ特權ヲ放棄スルヤ或ハ確保スルヤ此ノ機會ニ明白ナラシムルノ要アル立場ニ追ヒツメラレタルコト之ナリ

新幣制ノ成功ハ金融的、財政的ニ惹イテハ政治的ニ北支及西南從前ノ半獨立性ヲ完全ニ拋擲セシムルニ至ルヘク又新幣制ヲ支持スルヤ否ヤハ治外法權國人ノ態度如何ニ懸ルコト多大ナルモノアリ。而シテ今日ノ政治情勢ヲ解消シテ南京ニ對スル隸屬關係ヲ強化スルコトハ滿洲建國以來ノ日本ノ對北支政策ノ全面的敗北ニシテ到底容認シ得サルモノナル以上全力ヲ以テ阻止セサルヘカラサルニ至リタルモノト謂フヘシ、依テ今日日本トシテハ英國側ノ積極的、計畫的ナル態度ニ對シ日本側ノ徒ニ本案ヲ誹謗シ其ノ自らの崩壞ヲ拱手傍觀スルカ如キ消極的態度ヲ持續スルコトヲ許サス速カニ國策ヲ決定シ國論ヲ統一シ以テ局面ノ打開ヲ講セサルヘカラス

他外國ヲ率ヒテ其ノ達成ヲリードシ援助スルニ在リ。

其ノ具体的方法トシテハ新幣制案ニ對シ左ノ如キ大修正ヲ行ハシメトスルニアリ

イ、北支ノ幣制獨立ヲ承認セシムルコト
即チ北支ニ別ニ中心の發券銀行ヲ作ラシメ北支在銀ヲ吸收シテ北支紙幣ヲ統一シ上海中央銀行トハ友好的關係ヲ保タシメ相互爲替買賣ヲ認メ以テ紙幣ノ全國の維持ヲ支援スルノ方法ヲ採ル

蓋シ廣大ナル地域ニ四億ノ民衆ヲ抱擁スル支那カ一個ノ中央發券銀行ヲ以テ金融統制ニ當ルコトハ實情ヲ無視スルモノニシテ各地ノ經濟的實勢ニ對應シ其ノ地域ニ付金融上ノ責任ヲ保持セシムル爲地域ヲ分ツテ發券銀行ヲ設クルコトハ當然ナリ。米國ニ於テモ然リ、日本ニ於テサハ然ルニ非スヤ、紙幣價值ノ安定、管理通貨ノ運用ニハ發券銀行ヲ唯一ナラシムルコトカ條件ニ非サルナリ上海中央銀行ニ發券ヲ統一スルコトハ從前ニ比シ更ニ一段ト中央ノ金融權ヲ促進シ北支南支ノ困憊ヲ深化スルニ至ルヘシ
口、銀ノ平價買上ヲ修正セシムルコト

二、局面打開ノ方策

敍上ノ如キデッドロックニ乘リ上ケタル局面ニ處スルニ傍觀政策ノ危險ナルハ前述ノ如シ、然ラハ之ヲ打開スル方策如何、茲ニ左ノ二案ヲ舉ケ得ヘシ

(一)第一ニハ日本ハ官民一致文武共同總ウル方法ヲ動員シテ新幣制ヲ根本的ニ破壞シ去ルニ在リ、其ノ具体的手段ニ次ノ三アリ

イ、北支獨立運動ニ對シ日本ハ必要ナル充分ノ兵力ヲ用フル等總ユル犧牲ヲ覺悟シテ積極的援助ヲナシ以テ其ノ目的ヲ達成セシムルコト

ロ、在支日本金融機關ヲシテ絕對反對ノ積極的態度ヲ執ラシメ更ニ必要ナル各種ノ手段ヲ講シ外國銀行ノサポートヲ破リ本制度ノ完成ヲ妨礙スルコト

ハ、治外法權ヲ利用シテ全支ニ銀ノ密輸出ヲ敢行セシメ之ヲ援助スルコト

(二)第二ノ方策トシテハ此ノ際適當ナル機會ヲ擱ミテ日本ノ對新幣制態度ニ一轉機ヲ作り先ツ支那側ヲシテ日本ト協調ノ必要ヲ表明セシメリースロス案ヲ表面著シク變更シタル新案ノ形ヲ採用セシメ修正案ニ對シ日本ハ

元來紙幣價值ヲ本位銀ヨリ切離シツツ平價買上ヲ強制スルカ如キハ經濟原則ヲ無視スルノ暴政ナリ。蓋シ新紙幣ニ對シテハ銀ノ價格モ金ノ價格モ上騰ス、他ノ物品又然リ、然ルニ今日銀所有者ノミ、之平價買上ヲ強制スルハ實情ヲ無視シ國民ヲ苦シムル實行不能ノ制度ナリ。依テ修正案トシテハ大体三〇%程度ノ打歩ヲ附シテ買上ヲ行ハシメ之ニ對シテ日本側各國ヲ率ヒテ密輸出ノ取締ニ全面的支持ヲ與フルモノトス

ハ、中央、北支並ニ南支銀行ニ對シテハ日人顧問ヲ入レ今後ノ貨幣價維持ノ監視指導ニ當ラシムルコト

ニ、新幣價ヲ一志二片ニ一致セシムルコト
日滿支ノ金融經濟關係ニ鑑ミ日本圓ニ引キツケル趣旨ニ出ツ

以上二案ニ對シ其ノ當否ヲ檢討スルニ先ツ第一案ヲ採用スルコトハ其ノ結果新幣制ノ崩壞ヲ齎シ得ヘキモ一面日英關係ヲ極度ニ尖鋭化セシムルニ至ルヘク、之ニ對シ英國ノ覺悟ト決意カ曩ニ述ヘタル如シトセハ英國ハ獨力以テ之ニ對抗スル外、場合ニヨリテハ九ヶ國條約、不戰條

約ヲ援用シ或ハ國際聯盟等ヲ利用シ佛、伊、露、米等ヲ誘導シテ日本ニ當ルコトモ覺悟セサルヘカラス、即チ日本ハ茲ニ諸外國ト全面的ニ鬭争スルノ立場ニ置カルヘシニシテ日本ノ現狀ヲ觀ルニ遺憾ナカラ今日之ニ對スル國論ノ統一ナク準備ト覺悟ニ缺クルコトヲ認メサルヘカラス、從テ今日ノ事態ニ於テハ第一案ニ依テ強行スルハ採リ得サル所ト謂ハサルヘカラス

即今日ノ國策トシテハ結局第二案ヲ採用スルノ外ナキモ、現狀ヨリ第二案ノ採用ニ轉換スル爲ニハ又軍事上、外交上余程慎重ナル處置ヲ採ルヲ要ス、即チ一面ニハ北支ノ現事態ヲ或程度押シ進メ、又第一案ヲモ若干押スコトニ依テ支那ニ日本ノ援助ヲ乞ハシムル立場ヲ展開シ其ノ結末トシテ第二案ヲ採用セシムルノ方法ヲ妥當トスヘシ

而シテ日本ノ支那ニ對スル經濟宗主的地位ノ失墜ヲ防キ又明日ノ支那ニ對スル發言權ヲ保持シ得ル所以ナリ

(付記)

天津 12月10日發
參謀本部 着

又新幣制ノ成功ハ北支及西南從前ノ反獨立性ヲ完全ニ抛擲セシムルニ至ルヘク日本ノ對北支政策ハ根柢ヨリ覆滅スルニ至ルヘシ又新幣制ヲ支持スルヤ否ヤハ治外法權國人ノ地位如何ニ係ハルコト多々ナルモノアリ仍テ日本ハ本改革ヲ誹謗シ自然ノ崩潰ヲ豫想シ拱手傍觀スル如キ消極的態度ヲ持續スルヲ許サス速ニ國策ヲ決定シ國論ヲ統一シ以テ局面ノ打開ヲ講セサルヘカラス即チ一面ニ於テ新幣制ヲ破綻ニ導クヘキ工作ヲ講シ日本ノ援助ヲ請ハシムル立場ヲ作り他面新幣制修正對案ヲ提供シテ日本ノ手ニ依リテ救助スル如ク誘導シ以テ日本ノ對支經濟宗主權ノ失墜ヲ防キ支那ニ對スル發言權ヲ確保スルノ要大ナリト認ム詳細ハ筆記提出ス東洋經濟雜誌十一月號ニ今回ノ幣制改革ヲ支持スル論文アリ支那新聞ハ直ニ之ヲ利用シ日本ニモ斯ノ如キ正論アリト宣傳シツツアリ既ニ國策トシテ反對セルモノヲ裏切ル如キ論說ハ議論ノ是非ハ別トシテ國論統一上大害アルヲ以テ然ルヘク指導セラレ度

關、上、南、廣、北スミ

支那今次ノ幣制改革ハ政治的ニハ國內及國際の二大ナル危機ヲ招來シツツアリト雖技術的ニハ相當成功ノ歩ヲ進メツツアリト認メサルヲ得ス即チ爾來一月爲替ハ安定シ而モ爲替ノ先物モ下落ヲ示シ輸出ハ顯著ナル躍進ヲ示シ與地物資ハ出廻リ促進シツツアリテ增發紙幣ハ寧ろ無難ニ流通セルモノト觀ルヲ得ヘシ而シテ爲替資金ハ對外借款ヲ俟タストモ三、四億ノ銀行手持金ヲ以テ兩三年ヲ維持シ得ヘク新ナル情勢ノ變革ナキ限り一應幣制改革ハ成功ノ途ヲ辿ルモノト認メサルヘカラス

此改革ニ對シ英國側ハ全面的積極的且計畫的ナル支援ヲ與ヘ來レルニ反シ日本側ハ南京政府カ政治的準備工作ヲ缺キタル故ヲ以テ絶對反對ヲ表明シ其不成功ニ終ルヘキヲ高唱シ來レルノミニシテ成功スル場合ニ對シテ何等ノ施策ニ出テス然ルニ今日ノ狀態ハ敍上ノ如ク若シ此儘成功ノ歩ヲ固ムルニ至ランカ日本ノ朝野ノ對支認識ノ根本的誤謬ヲ表明シ同時ニ支那カ日本ヲ無視シテ政治經濟ノ大變革ヲ英國ノ支援ニ依リ公然實行セルコトヲ認ムルコトトナルヘク即チ本改革ノ成否ヲ廻リテ今日英ノ對支經濟ノ宗主權カ爭霸ノ大頂點ニ到達セルモノナリ

650 昭和10年12月23日
在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀の英米兩國に対する売却を吳鼎昌肯定
について

南京 12月23日夜發
本省 12月23日夜着

第一四四六號(極秘)
往電第一四〇四號ニ關シ

二十日吳鼎昌ト會談ノ際吳ハ新幣制ハ少クトモ磅ヲ基礎トシ居ル點ニ於テ危險性アリ財政當局ニ於テモ内部的ニハ遣繰リニ奔命シ居ル模様ナリト語り冒頭往電ノ英國ニ對スル銀賣出シヲ肯定シ且ツ米國ニ對シテモ先ツ一千五百萬元位ヲ賣渡方ノ交渉成立セリト述べ居リタルカ右一千五百萬元ハ二十一日賣買契約成立セル趣ナリ

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ
支、北平ヘ轉電セリ

651 昭和10年12月23日
在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

米英独各国銀行の所有銀処分方法に関する情
報(二)つ

上海 12月23日夜発
本省 12月23日夜着

第一一四五號

往電第一〇七一號ニ關シ

二十一日「シチイー」銀行支配人ハ服部ニ對シ銀行所有銀ニ關シテハ各國別個ノ行動ヲ取ルコトトナリタルニ付自分等ハ所有銀ハ一弗對一弗ニテ支那側ニ引渡シ別ニ引渡シタル所有銀ト同額ヲ中央銀行ヨリ自分等ノ銀行ニ預金セシメ(之ニ八年二分ノ利子ヲ附ス)同時ニ自分等ヨリ中央ニ同額ノ預金ヲ爲シ(之ニ八年七分ノ利子ヲ附セシム)之ヲ二箇年續ケテ結局所有銀ニ對シ一割ノ「プレミアム」ヲ二箇年分納スルト同一ノ結果タラシムルコトニ話合ヒ既ニ本店ノ承諾ヲ經テ支那側ニ「コンファーマーシヨン」ヲ與フル段取トナリ居レリ「チエーズ」モ之ニ倣フ筈ニシテ英國側「チャータード」モ同様ノ方法ヲ本店ニ請訓中ナリ尙獨逸銀行ハ往電第一〇六二號支那側提案ヲ其ノ儘受諾スル筈ナリト内話セル趣ナリ

ヲ期待シ得ヘク

其ノ結果華僑其ノ他ノ逃避資本カ支那ニ流入シ支那ハ素ヨリ日本其ノ他ノ列國モ同様ニ利益ヲ受クヘシト考ヘラルルニ付日本政府ニ於テ對支款ニ參加セラルルカ少クトモ英國側ノ借款供與ニ反對セラレサル様貴大使ヨリ説得セラレ間敷キヤト述ヘタルニ付本使ヨリ今日ノ事態ニ於テ右ハ殆ト不可能ナリト答ヘタルニ「リ」ハ日本ハ依然天羽聲明ニ依リ一切ノ外國借款ニ反對セラルルヤト反問セルニ付本使ヨリ日本ハ外國借款カ支那ノ發展ニ有效ニ使用セラレ之カ條件等ノ爲國際管理ニ導ク等後日ニ禍ヲ貽サス支那全體ノ爲利益ヲ齎スモノナルニ於テハ敢テ之ニ反達スルモノニアラサルコト累次説明ノ通ナルカ

今日ノ事態ヨリ見テ右ノ如キ借款ヲ供與スルコトハ不可能ナリト考ヘ居ル次第ナルカ現ニ支那側最高當局ニ於テモ新幣制ハ外國借款ナクトモ相當ノ期間之ヲ維持シ得ヘキヲ以テ日本ノ同意ナキ限り外國借款ヲ求ムル意嚮ナル旨再三言明シ居ル實情ナレハ此ノ際新幣制維持ノ爲急ニ借款ヲ供與スル必要モナカルヘシト述ヘタルニ對シ「リ」ハ現在ノ事情ハ其ノ通ナルヘキカ新制度ニ對シテハ多大ノ不安アリ自

北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

652 昭和10年12月23日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

英國の対中借款計画に対する我が方意向を非
公式にリース・ロスへ説明について

上海 12月23日夜発
本省 12月23日夜着

第一一四七號

二十三日「リースロス」本使ヲ來訪會談要領左ノ通「リ」ヨリ借款問題ニ對スル日本ノ意嚮ヲ質シタルニ付本使ヨリ貴電ニ九四號及第三〇一號ノ趣旨ニ依リ我方ノ意嚮ヲ非公式ニ傳ヘタル處「リ」ハ自分ノ觀察ニ依レハ支那側ハ新幣制ヲ維持スル爲充分努力シ居ルモ投機者ノ策動等ノ爲新幣制ニ對スル信用缺如シ居ルヲ以テ此ノ際一千万乃至一千五百萬磅ノ借款ヲ供與スルニ於テハ(同時ニ中央銀行ヲ獨立ノモノトスト説明セルニ對シ本使ヨリ制度ハ如何ニスルモ借款ハ特別ノ黨派ノ勢力ヲ増シ内政上ノ紛糾ヲ來スヘシト注意シ置ケリ)投機者ノ策動ヲ對シテ新制度ノ成功

分トシテハ前述ノ如ク投機者ノ活動ヲ對シ支那ノ信用ヲ増シ新制度ノ成功ヲ確保スル爲ニハ是非共借款ヲ供與スル必要アリト考ヘ居ル次第ナルカ日本ノ考カ右ノ如クナレハ如何ニモ残念ナリト述ヘタリ

尙其ノ節本使ヨリ貴下ハ其ノ後新幣制ノ爲ノ借款二代(尙其ノ)上海ニ於ケル不動産金融ノ爲又ハ鐵道ヲ「プール」シテ之カ能率ヲ増進スル爲借款供與ヲ計畫シ居ラルルトノ聞込アルカ如何ト尋ネタルニ「ソ」ハ不動産金融ニ付テハ「モネー」等ニ於テ考ヘ居ル模様ナルモ自分ノ考ハ支那ノ中央銀行ヲ獨立ノモノトシ之ヲシテ先ツ外國爲替ノ安定ヲ計ラシメ爲借款ヲ供與シ同時ニ豫算ノ均衡ヲ計ラシムル等根本的ノ措置ヲ講セシメ之ニ依リ中央銀行ヲ確立シ之ヲシテ徐ニ不動産金融等ノ爲上海ニ於テ資金ヲ集メシムルコト必要ナリト考ヘ居リ今直ニ倫敦等ヨリ不動産ノ爲金融ノ途ヲ求メ得ルモノトハ考ヘラレス又鐵道ニ付テモ其ノ有效ナル經營方法ヲ採用セサル限り金ヲ貸スコトハ出來スト考ヘ居レリト述ヘ

尙自分トシテハ専ラ如何ニシテ支那ノ金融ヲ救済シ經濟状態ヲ恢復セシメ得ルヤヲ研究シ居ルモノニシテ而モ之カ爲

ニハ支那ノ政治的安定即チ日本トノ關係ノ充分ナル調整ヲ必要ト考ヘ居リ政治的ニ支那ヲ指導セントスルカ如キハ毫モ考ヘ居ラサル所ナレハ此ノ點特ニ日本側ニテ誤解ナキ様願ヒ度シト繰返シ述ヘ居タリ

尙「リ」ハ年末ニ杭州ニ觀光ニ赴キ新年早々南京ヨリ「ガドガン」ハ一月初赴寧ノ由漢口ニ赴キ時日許セハ香港、廣東ニモ行クヘキカ何レモ觀光ノ爲ニシテ自分ハ往復六箇月ノ豫定ニテ來華セルモノナレハ特別ノ事情ナキ限り豫定通り歸國ノ途ニ就ク積リナリト語り居タリ
北平、天津、南京へ轉電セリ

653 昭和10年12月27日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

日本人財政顧問の招聘を中国財政部要望について

上海 12月27日夜発
本省 12月27日夜着

第一一五八號

廿四日喬輔三(往電第六八二號)堀内ヲ來訪シ孔祥熙ハ幣制維持等ノ爲日本ヨリ財政顧問ヲ招聘シ度キ希望ヲ有スル處

モ幣制改革カ外國人ノ意見又ハ外國ノ援助ニ依ラサル自力更生策ナルコトヲ如實ニ示シ又同シク財政部長ノ主管スル關稅問題ニ付排日的稅率ヲ根本的ニ改正スルカ如キ準備工作必要ナルヘシトノ趣旨ヲ敷衍説示シ置キタル趣ナリ
南京、北平、天津へ轉電セリ

654 昭和10年12月30日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

日本政府の対中借款検討方を孔祥熙熱望について

上海 12月30日夜着
本省 12月30日夜着

第一一六六號

孔祥熙ヨリ須磨ニ對シ歸朝前面會方ノ申出アリ二十八日同官上海ニテ面會セル處

(一)先ツ孔ヨリ新政府カ全面的日支直接交渉ニ出發シタル此ノ好機ヲ逸セス日本モ南京ニテ右交渉ニ應セラルル様是非共日本當局ヲ説得セラレ度シト申出テ
(二)次テ從來ヨリ再三貴官ニ御話セル借款等ノ希望モ今猶ホ之ヲ有スル次第二付日本財務當局ノ意嚮モ御確メノ上研

右申入ノ節日本政府ハ好意的考慮ヲ與ヘラルヘキヤ伺ヒ來ル様命セラレタリト述ヘタルニ付堀内ヨリ日本トシテハ支那カ英米ニ依賴シテ幣制改革ヲ行ハントスルモノナリト疑ヒ居リ又支那側ハ政治的ニモ兩國關係ノ改善ヲ言明シ居ルモ今迄ノ所充分ノ誠意ト決心トヲ示シ居ラサル現状ナレハ少クトモ支那側カ經濟政治兩方面ニ亘リ日本ト密接ナル合作ヲスルコトニ付充分誠意ヲ示シ以テ其ノ素地ヲ作リタル上ニアラサレハ顧問ノ申出ノ如キモ時期尙早ナルヘシト應酬シ置キタルカ喬ハ廿七日更ニ堀内ヲ來訪シ廿五日東京發電通ニ支那カ其ノ過ヲ悟リ日本ノ援助ヲ求ムレハ日本モ好意的支援ヲ與フル方針ニシテ外務當局ハ大藏當局ト協議シ磅ヲ仲介ニ日滿支ノ幣制ヲ相互ニ連結セシムル案ヲ研究中ナリ云々ノ報道アリ

孔毛頗ル之ヲ喜ヒ其ノ眞否ヲ確メ來ル様命セラレタリト述ヘタルニ付堀内ヨリ日本ノ一部ニ純經濟的見地ヨリ支那ノ幣制ニ一肌脱カントスル者ナキニハアラサルモ日本政府及國民ヲシテ斯ル考ヲ實行シ得ル様ニナラシムルニハ支那側カ眞ニ誠意ヲ以テ對日政治關係ノ改善ヲ計ル決心アルコトヲ如實ニ表示スルコト必要ナリ少クトモ經濟的方面ニ於テ

究ヲ進メラレ度シト熱心ニ申出テ(須磨ヨリ新幣制並ニ之ニ伴フ措置ニ付日本ヲ無視シ英國等ト議ヲ進メタル疑惑去ラサル限り問題トナラスト應酬シ置キタル由)
(三)日本ヨリノ顧問招聘(往電第一一五八號)ノ件ハ何レ各國ヨリ數名ノ顧問ヲ招聘スル場合ノ用意ニテ將來ノ問題ニ屬スル譯ナリト洩ラシタル由(須磨ヨリ從來トモ貴方ヨリノ話ハ「フラー」トノミ解スル外ナク一トシテ眞面目ニ取扱ヒ居ラルル形勢ヲ見サルハ残念ナリト應酬セル趣ナリ)

655 昭和10年12月30日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

中国側の準備銀売却状況について

上海 12月30日夜発
本省 12月30日夜着

第一一六七號

南京發貴大臣宛電報第一四四九號ニ關シ
一、海關統計ニ依レハ二十一日迄ノ一週間ニ倫敦へ銀元六十

六萬二千元ノ輸出アリ二十四日迄ノ一週間(二十五、二十六兩日ハ休日)ニ紐育ヘ銀條七千九百八十條及銀元二千五百四十八萬元、倫敦ヘ銀元六十六萬元ノ輸出アリ
三、二十八日孔祥熙ハ須磨ニ對シ銀賣却ハ英國側トハ未タ相談中ナルモ米國側トハ最近相當額ノ賣約成立セリト述べハ既ニ積出シタルハ「チエーズ」一千萬「シテイ」一千二百萬、合計二千二百萬元ナリト言ヒタル由(此ノ數字ハ前記統計ト一致セス)

三、當地銀行家方面ノ調査ニ依レハ往電第一一四五號ハ中央銀行ヨリ「チエーズ」及「シテイ」本店宛ノ積出ニシテ外ニ二十四日「マツキンレー」號ニテ「チエーズ」宛ノ積出アリ前記一ノ統計中紐育宛ノ數字ハ之ニ該當シ銀條ハ昔米國ヨリ輸入セラレテ中央銀行ノ保管シ居タル銀條ニシテ一條約一千兩ニ當リ又銀元トアルハ「ミント、バー」ニテ合計約三千六百萬元トナル尙倫敦宛ハ「チャータード」カ平衡稅實施後輸入セル銀ニシテ平衡稅ヲ免除セラレタルモノナル由

四、尙海關統計ニ依レハ二十一日迄ノ一週間ニ香港ヨリノ金貨輸入三千五百六十八瓦、重慶、厦門、沙市ヨリノ金地

銀行總經理ヨリ通知アリ即チ銀ヲ引渡シタル銀行ハ同額ノ「リーガル、テンダーノート」ヲ貰ヒ別ニ引渡シタル銀額ノ六六、三分ノ二%ノ全額ヲ中央銀行ニ預金シテ二箇年間五分ノ利子ヲ貰フト共ニ中央銀行ヨリ右ト同額ヲ二箇年間無利息ニテ預金セシムルコトトセリ
本協會ノ會員タル銀行ニシテ希望スルモノハ右ノ方法ニ依リ得ヘク希望者ハ中央銀行總經理ト折衝セラレ度キ旨並ニ但シ右ノ「オフアー」カ「オープン」セラルルハ短期限ニ限ラルヘキ旨ヲ各銀行ニ通報方口頭ヲ以テ依頼セラレタリ云々

(二)右ニ關シ銀行家方面ノ得タル情報左ノ通

(イ)前記ノ條件ニテ既ニ銀ヲ引渡シタル銀行ハ「ネーザー」ランズ、トレイディング、ソサイエティー」及印度支那銀行ナル由

(ロ)「シテイ」ハ往電第一一四五號ノ案ニ依リ話ヲ纏メムトセル際佛國及和蘭側カ右ノ如キ協定ヲ爲シタル爲支那側ニテ往電第一一四五號ノ案ニ應セス引續キ交渉中ニシテ銀ハ未タ引渡シ居ラサル由

(ハ)「チャータード」ハ未タ本店ヨリ回訓ナキ爲措置ヲ控

金移入十二萬五千六百六十六瓦アリ(往電第一一三三號ノ(三)參照)
南京、北平ヘ轉電セリ

656 昭和10年12月31日 在中国有吉大使より 広田外務大臣宛(電報)

外国銀行の所有銀処分状況について

別電 十二月三十一日發在中國有吉大使より広田外務大臣宛第一一七四号

外国銀行所有銀の処分方法に関する孔祥熙の第二提案

上海 12月31日夜發
本省 12月31日夜着

第一一七三號

往電第一〇七一號ニ關シ

(一)三十日附回章ヲ以テ外國銀行協會ヨリ各銀行ニ對シ左ノ通り申越セリ

協會ノ會員銀行中ノ或モノハ先ノ「オルターネーティブ、アレンジメント」ニ依リ所有銀ヲ既ニ引渡シタル旨中央

ヘ居ルモ前記一ノ案ヨリハ往電第一〇六二號ノ案ノ方有利ニ付所要ノ「セキユリテイ」ヲ倫敦ニテ調達シ同地ニテ寄託シ得ヘキヤ等研究中ノ由

(三)更ニ三十一日附回章ヲ以テ要旨別電第一一七四號ノ如キ孔中央銀行總裁發外國銀行協會會長宛書面寫ヲ回付シ來レリ右ニ依ルモ明カナルカ如ク今次支那側提案ハ往電第一〇六二號ニ比シ「セキユリテイ」ノ調達ヲ必要トセサル點ニ於テ有利ナルモ若シ之ヲ調達シ得サレハ往電第一〇六二號ノ方資金ヲ自由ニ利用シ得ル(中央銀行ニ預金シテ利子ヲ五分ニ限ラレサル)利益アルカ如シ
本電別電ト共ニ在支各總領事、北平、厦門ヘ轉電セリ

(別電)

上海 12月31日後9時30分發
本省 12月31日後11時40分着

第一一七四號

Following arrangement is offered with view to simplify its procedure and as an alternative to the depositing of securities on the 60 per cent...40 per cent basis.

Central Bank is prepared to make arrangement providing for giving to respective foreign banks note and/or deposit credit (as they may prefer) equal to amount of silver delivered. And in addition proving for mutual deposits in The Central Bank and the foreign bank concerned. In view of deposit of securities, that is, a bank turning in its silver would at same time make deposit in The Central Bank of China for two years equal to two thirds amount of silver turned over i. e., on the 60 per cent--40 per cent basis), and in turn Central Bank would make deposit of like amount with

bank turning over silver. The difference in interest rates in the respective deposits would be at the rate of 5 per cent per annum in favour of bank turning over its silver.

Such arrangement you will note would give bank benefit of earning at rate of 3-1/3 per cent for one year or 6-2/3 per cent for two years on amount of silver which it hands over. In order to dispose of this matter, we would be glad if your members would give us their replies to proposals within brief period, say by January 7, 1936.

~~~~~

## 五 中国をめぐる列国との関係

657 昭和10年1月10日 在ニューヨーク沢田(廉三)総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

### 中国建設銀公司による外資誘導活動の現状に ついで

ニューヨーク 1月10日後発  
本省 1月11日後着

#### 第一二號

中國建設<sup>(銀公)</sup>公司ノ最近ノ活動狀況ニ關シ九日「ハウ」トノ會

談ニ基キ「ライト」ノ齎ス處左ノ通り

- 一、南京市ノ自働電話設備ニ關シ市俄古 Automatic Electric Equipment Co. 中國交通部、「ハウ」ノ三者間ニ於テ約二十五萬米弗ノ電話機械購入方交渉中ナルカ近ク成立ノ見込ニテ支拂ハ大體三年満期ノ手形ニ依ルヘク米國會社ハ二月初頃華府輸出入銀行ニ對シ右輸出形状額面ノ三分ノ一二對スル保證ヲ求ムルコトトナル筈右ハ輸出入銀行ノ對支輸出信用保證ノ「テスト、ケース」ナルカ「ハ

ウ」ハ銀行側ニテ保證引受ヲ爲スヘシト信シ居レリ

二、鐵道古材料、「モネ」ハ價格等ノ點ニ付「ブローカー」

及個々ノ鐵道會社ヨリ秘密裡ニ見積書ヲ徴シ居リ右ハ二月頃「モネ」カ渡支ノ際中國關係者ニ提示シ購入ノ見込アラハ支那人技師來米一應實物検査ノ上契約ヲ締結スルコトトナルヘク成立スルトシテモ數箇月ヲ要スル見込ナリ結局價格カ問題ニテ「モネ」等ハ先頃歸支セル「ジユリアン、アーノルド」カ米國各地ニテ支那政府カ鐵道古材料購入ノ計畫アリト觸レ廻リタル爲價格ヲ吊上ケタル嫌アルコトヲ喜ヒ居ラス

三、小麥、米國農務省側ニ於テ支那賣込ノ爲ニハ「ブツシエル」三十仙ノ補助金ヲ出ス必要アルモ米國中西部ノ旱魃地方ニ對スル家畜飼養ニ買上ケル場合ハ補助金一「ブツシエル」二十仙ニテ濟ムカ爲後者ヲ擇フコトニ傾キ居ル爲本計畫ハ差當リ望ナシ

四、比律賓ヨリノ砂糖、米本國政府ニテ右購入ニ付他ノ砂糖